

(案)

# 原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(令和元年度 第3四半期)

福島県

# 目次

第1	測定結果の概要	1
第2	測定項目	8
第3	測定方法	14
第4	測定結果	
4-1	空間放射線	
4-1-1	空間線量率	23
4-1-2	空間積算線量	24
4-2	環境試料	
4-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	25
4-2-2	環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種）	26
4-2-3	環境試料中の核種濃度（ベータ線放出核種）	29
4-2-4	環境試料中の核種濃度（アルファ線放出核種）	30
第5	原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表	
5-1	空間放射線	
5-1-1	空間線量率	32
5-1-2	空間積算線量	35
5-2	環境試料	
5-2-1	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	38
5-2-2	大気浮遊じんの核種濃度	40
5-2-3	大気中水分のトリチウム濃度	51
5-2-3	降下物の核種濃度	53
5-2-4	環境試料中の核種濃度	56
5-3	比較対照地点	
5-3-1	空間線量率（比較対照地点）	62
5-3-2	大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点）	63
5-3-3	大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点）	65
5-3-4	降下物の核種濃度（比較対照地点）	66
5-3-5	環境試料中の核種濃度（比較対照地点）	67
5-4	試料採取時の付帯データ集	68
第6	参考資料	
6-1	福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う 海水モニタリング結果（公表資料）	71

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html>

○または、

福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

# 第 1 測定結果の概要

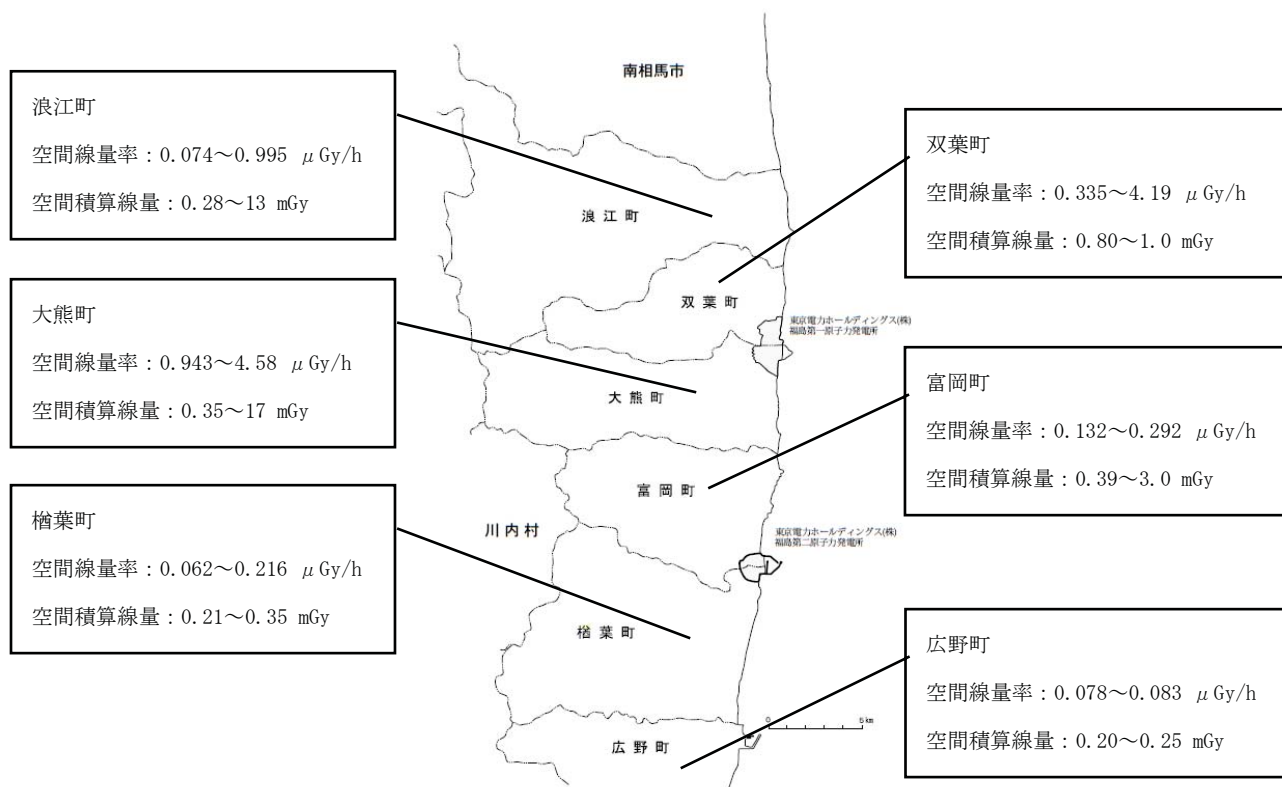
福島県が令和元年度第3四半期（令和元年10月～令和元年12月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

## 1 空間放射線

- 空間線量率について、今期の測定値（月間平均値 0.044～4.58  $\mu\text{Gy/h}$ ）は、事故前の測定値の範囲（月間平均値 0.033～0.054  $\mu\text{Gy/h}$ ）を上回っています。全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。
- 空間積算線量（90日換算値）については、今期の測定値（0.16～17 mGy）は事故前の測定値の範囲（0.10～0.14 mGy）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

### 【町別の空間線量率及び空間積算線量】

※ 空間線量率と空間積算線量の測定地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.9 図 2-1 環境放射能等測定地点を参照してください。



## 2 環境試料の核種濃度

○ 大気浮遊じん、降下物、土壌、上水、海水、海底土、松葉の7品目の試料からセシウム-134及びセシウム-137が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

降下物の浪江町浪江の地点でアンチモン-125が検出され、セシウム-137の測定値が平成26年度から前四半期までの測定値の範囲を上回りましたが、採取期間中、調査地点の南側で家屋解体が行われていたことから、家屋解体に伴う粉じんの舞い上がりが原因と考えられます。上水の一部からセシウム-134及びセシウム-137が検出されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。

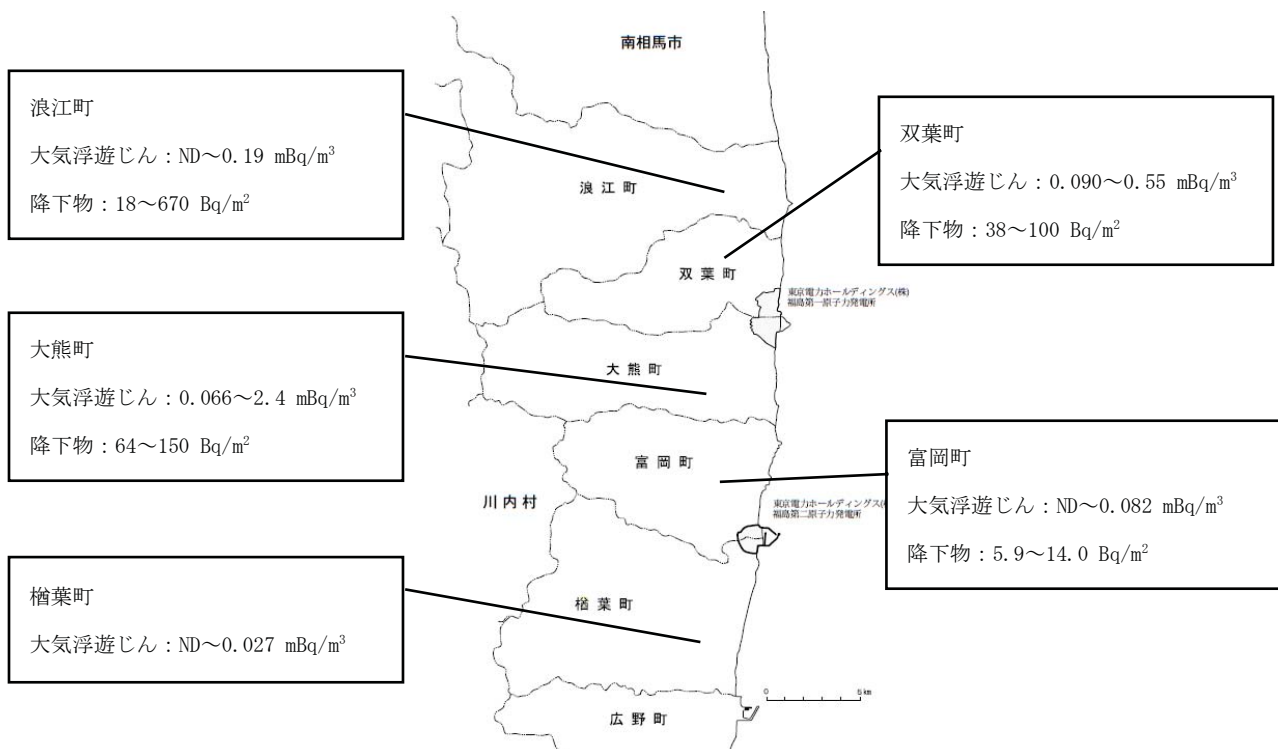
○ 大気中水分、上水及び海水の試料からトリチウムが検出され、大気中水分は事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。上水及び海水のトリチウムの測定値は事故前の測定値の範囲内でした。

○ 海水の試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。海底土の試料からストロンチウム-90が検出され、事故前の測定値の範囲を上回った試料がありましたが、平成26年度から前四半期までの測定値の範囲内でした。

○ 海水及び海底土の試料からプルトニウム-238は検出されませんでした。プルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

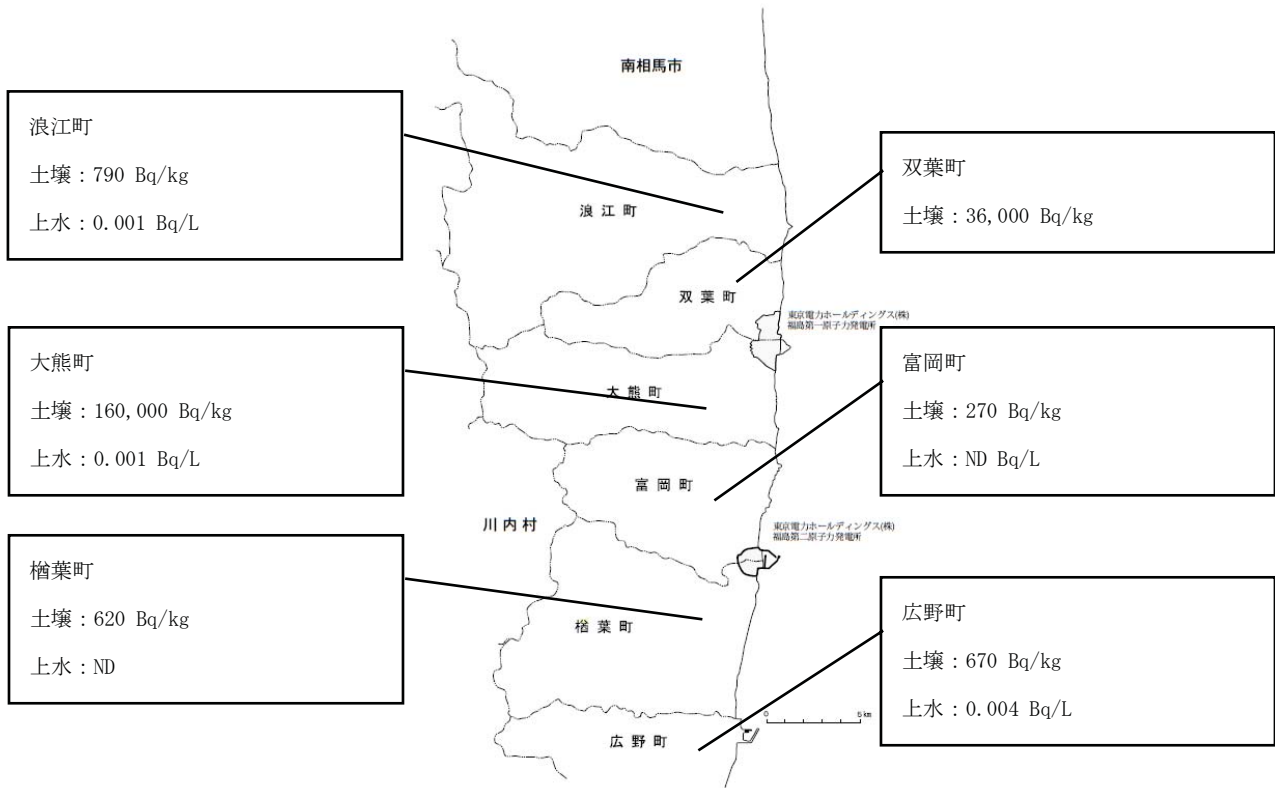
### 【町別の大気浮遊じん及び降下物のセシウム-137濃度】

※ 大気浮遊じんと降下物の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点はp.11図2-3 環境試料採取地点を参照してください。

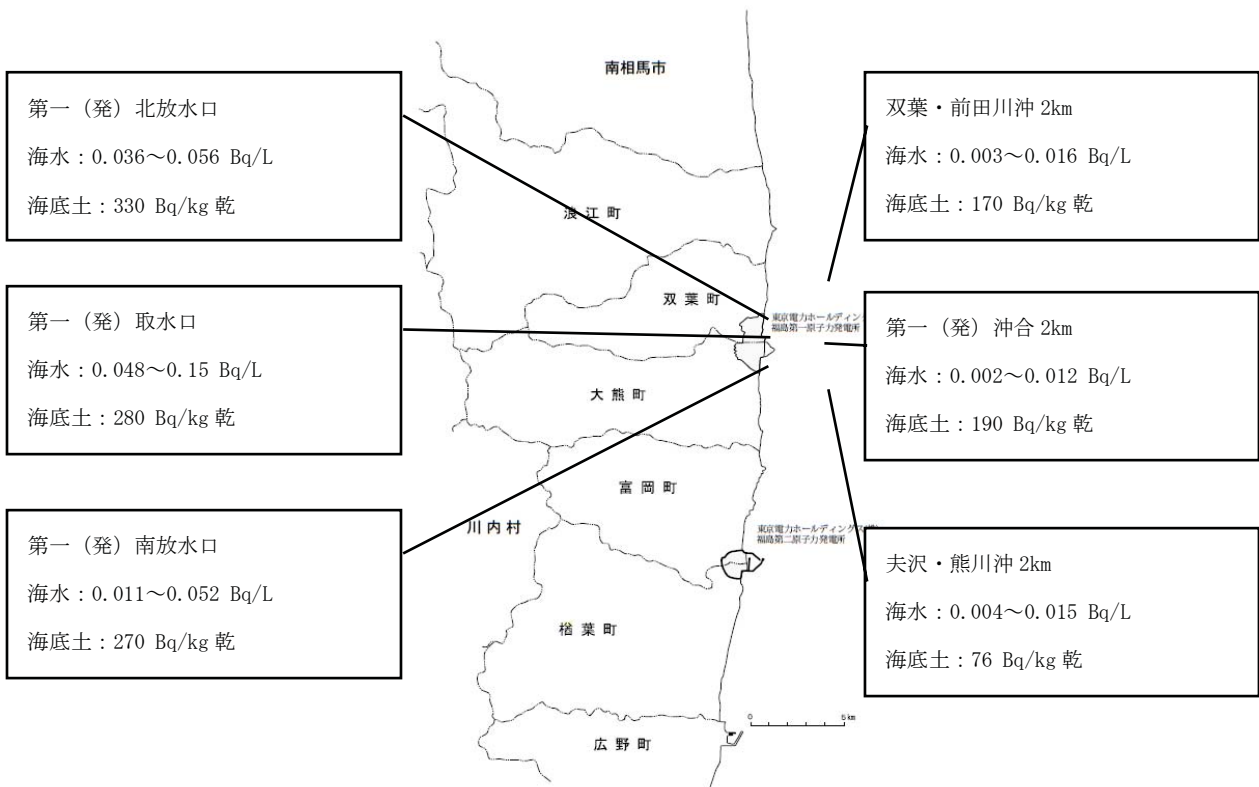


【町別の土壌及び上水のセシウム-137 濃度】（－は今期測定対象外）

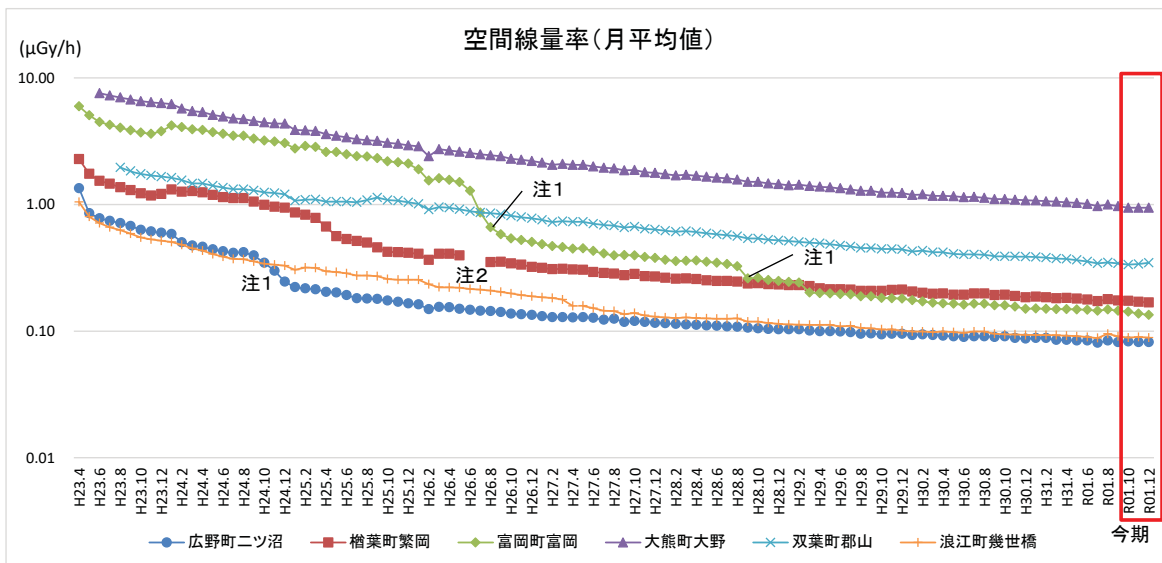
※ 土壌と上水の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p. 11 図 2-3 環境試料採取地点を参照してください。



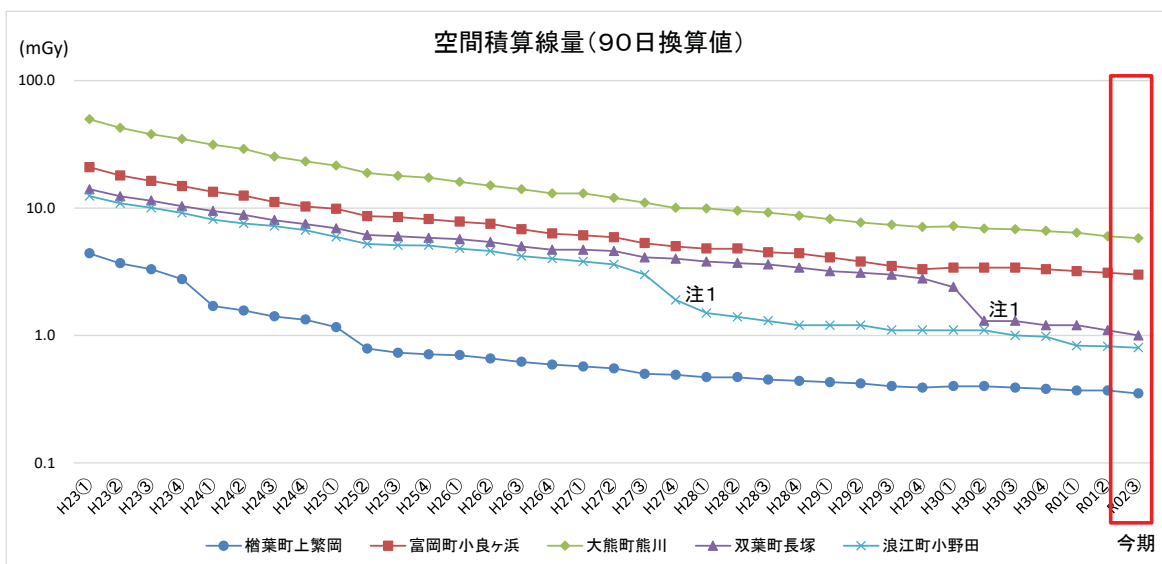
【海水及び海底土のセシウム-137 濃度】



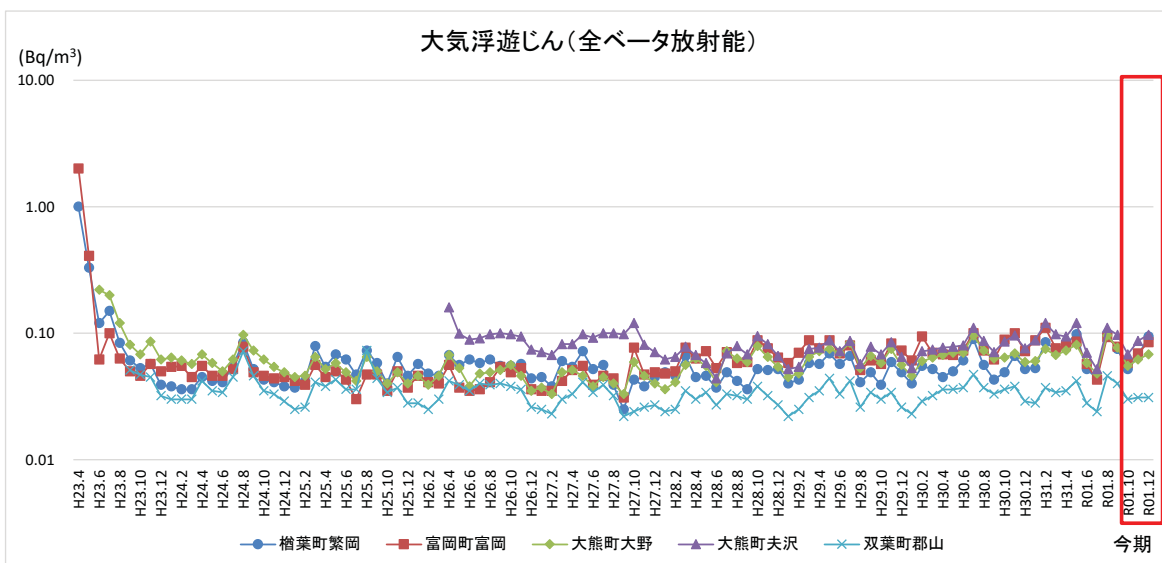
# 事故後の各項目毎のトレンドグラフ

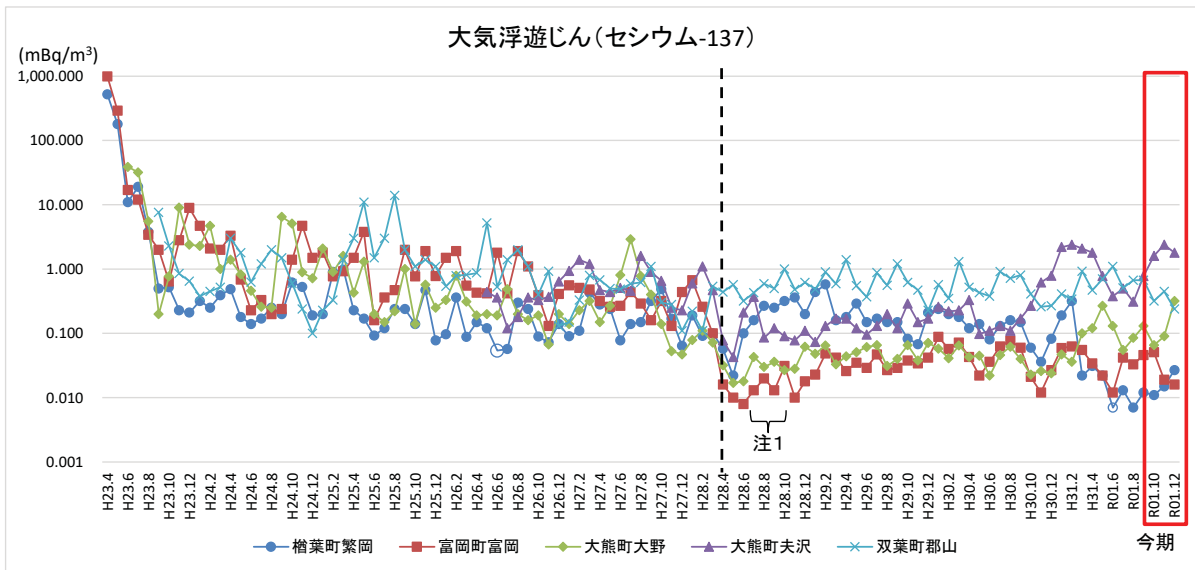


注1: 除染による減少、注2: 欠測

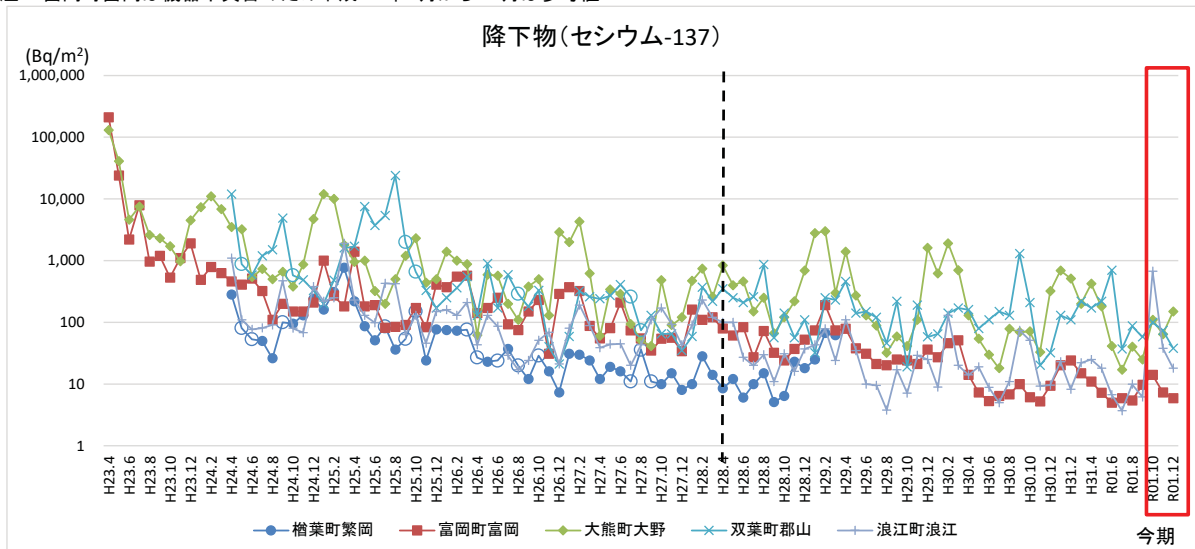


注1: 除染による減少

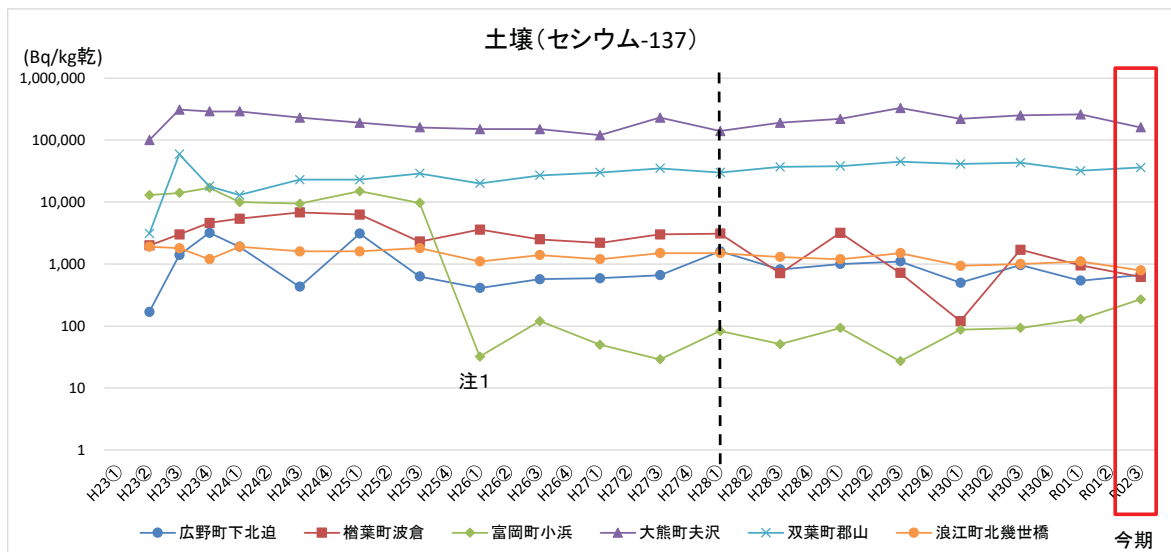




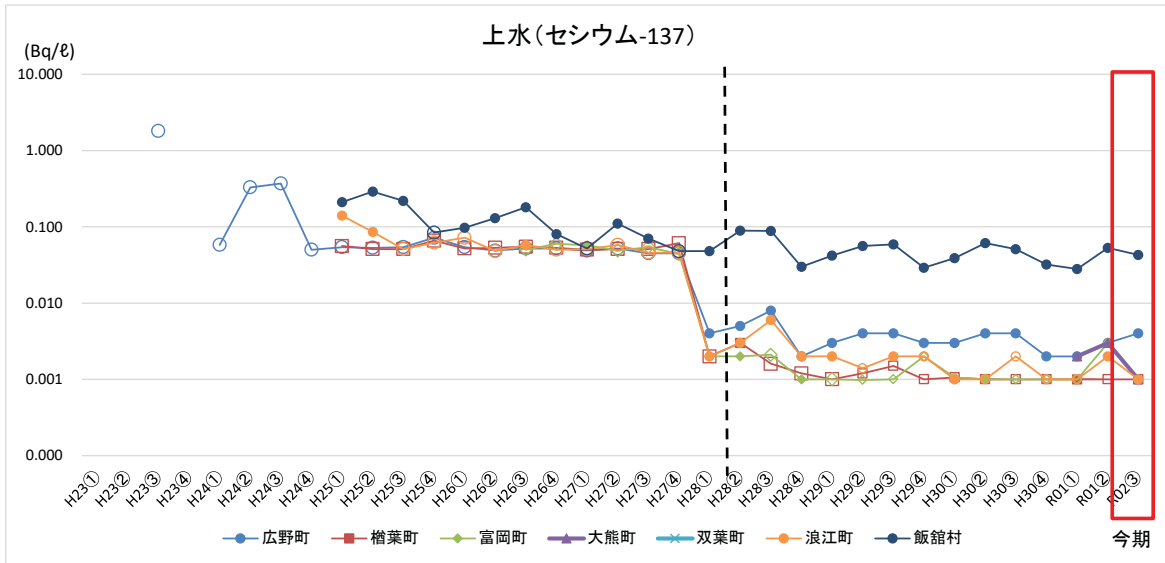
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。  
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。  
 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値



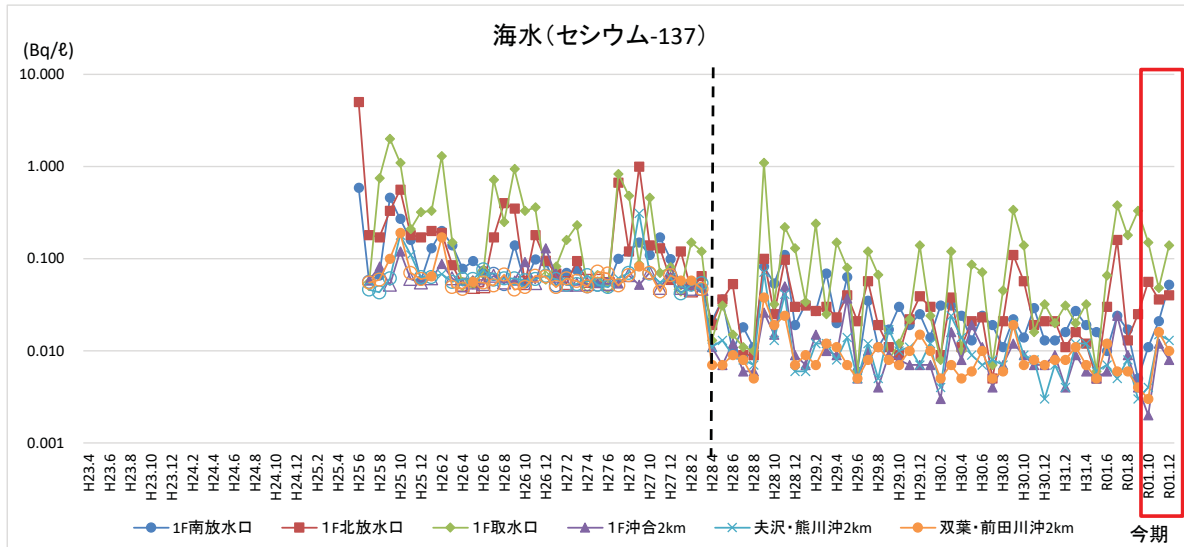
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。  
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



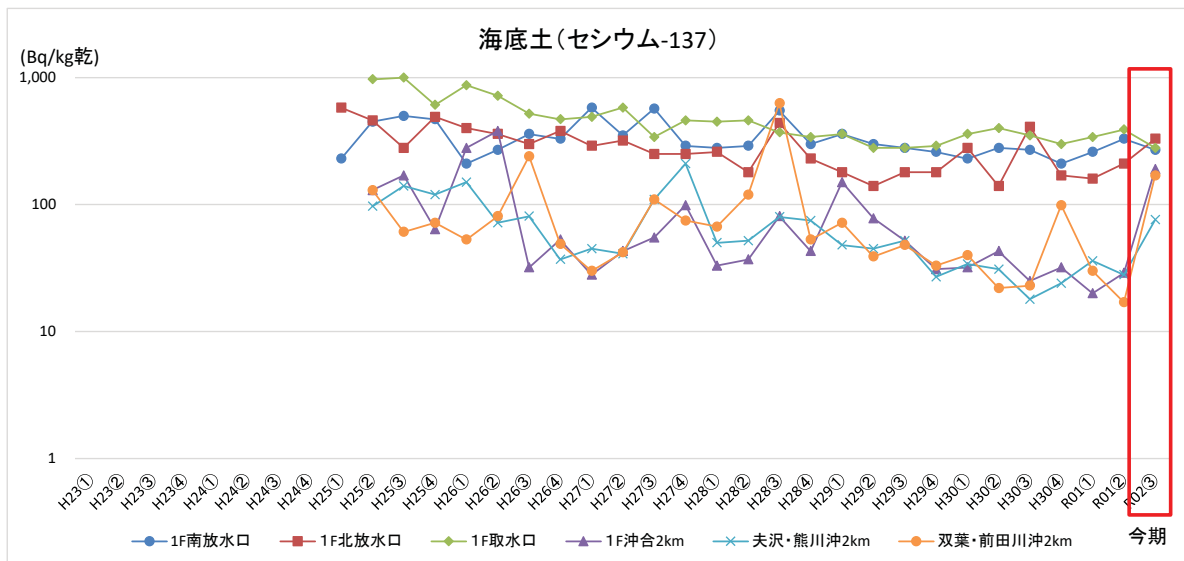
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。  
 注1: 除染による減少



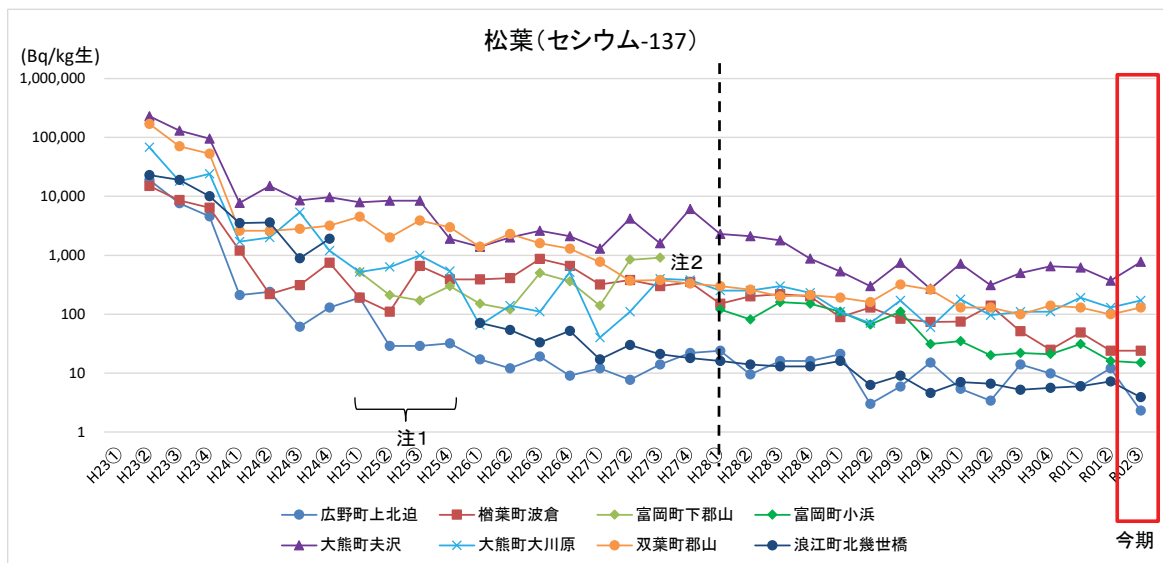
- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
- ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



- ・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
- ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。







・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。

注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施

注2: 富岡町下郡山は平成27年第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年第1四半期より富岡町小浜で試料採取を行っている。

## 第 2 測 定 項 目

令和元年度第3四半期（令和元年10月～令和元年12月）測定分

### 1 測定項目

#### (1) 空間放射線

項目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度	実施機関
空間線量率	39	39	連続	環境創造センター
空間積算線量	64	64	3ヵ月積算	

#### (2) 環境試料

区分	試料名	計画地点数	調査地点数 (今期)	採取回数 (今期)	採取頻度	測定試料数 (今期)							実施機関
						全β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	17	17	3	毎月	連続 全α全β	51						
		25	25	3			75						
	大気中水分	5	5	3	毎月				15				
降下物	降下物	10	10	3	毎月		30						
土 壤	土 壤	15	15	1	年2回		15						
			0	0	年1回					0	0	0	
陸 水	上 水	13	12	1	年4回		12		12				
			0	0	年1回					0	0		
海 水	海 水	6(*1)	6(*1)	3	毎月	18	18		18	18	18		
		2(*2)	2(*2)	1	年4回	2	2		2				
			0	0	年1回					0	0		
海 底 土	海 底 土	6(*1)	6(*1)	1	年4回		6			6	6		
		2(*2)	2(*2)	1	年4回		2						
			0	0	年1回					0	0		
指 標 植 物	松 葉	15	15	1	年4回		15	15					
指 標 海 洋 生 物	ほんだわら	2	0	0	年1回		0	0		0	0		

\*1 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所周辺海域

\*2 東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所周辺海域

### 2 測定項目（比較対照地点調査）

#### (1) 空間放射線

項目	計画地点数	調査地点数 (今期)	測定頻度	実施機関
空間線量率	3	3	連続	環境創造センター

#### (2) 環境試料

区分	試料名	計画地点数	調査地点数 (今期)	採取回数 (今期)	採取頻度	測定試料数 (今期)							実施機関
						全β	γ	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	7	7	3	毎月		21						
	大気中水分	1	1	3					3				
降下物	降下物	2	2	3	毎月		6						
土 壤	土 壤	7	0	0	年1回		0			0	0		
		1									0		
陸 水	上 水	2	0	0	年1回		0		0				
		1							0	0			
海 水	海 水	1	0	0	年1回	0	0		0	0	0		
海 底 土	海 底 土	1	0	0	年1回		0			0	0		
指 標 植 物	松 葉	5	5	1	年4回		5	5					

図2-1 環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

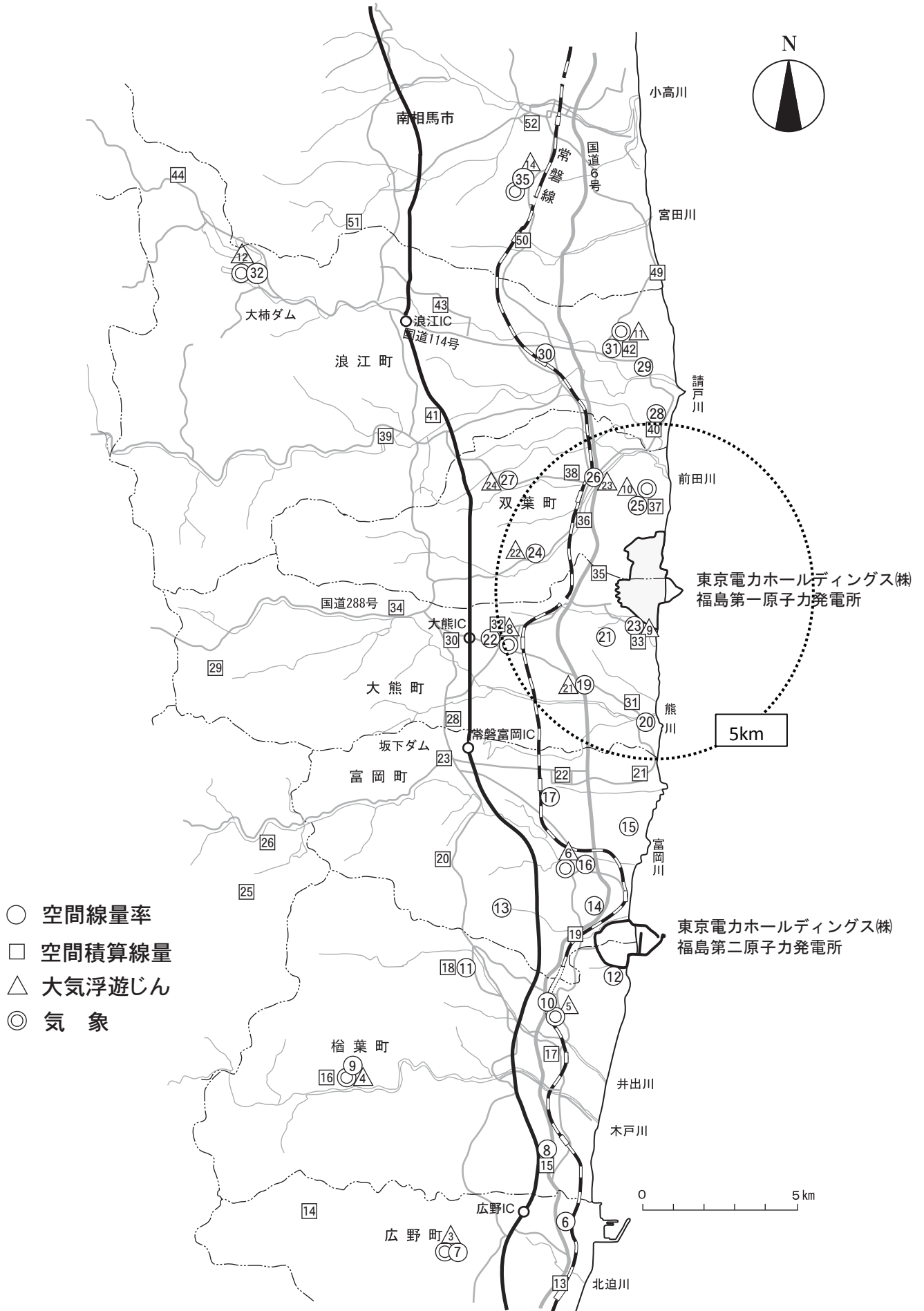


図2-2 環境放射能等測定地点（広域）

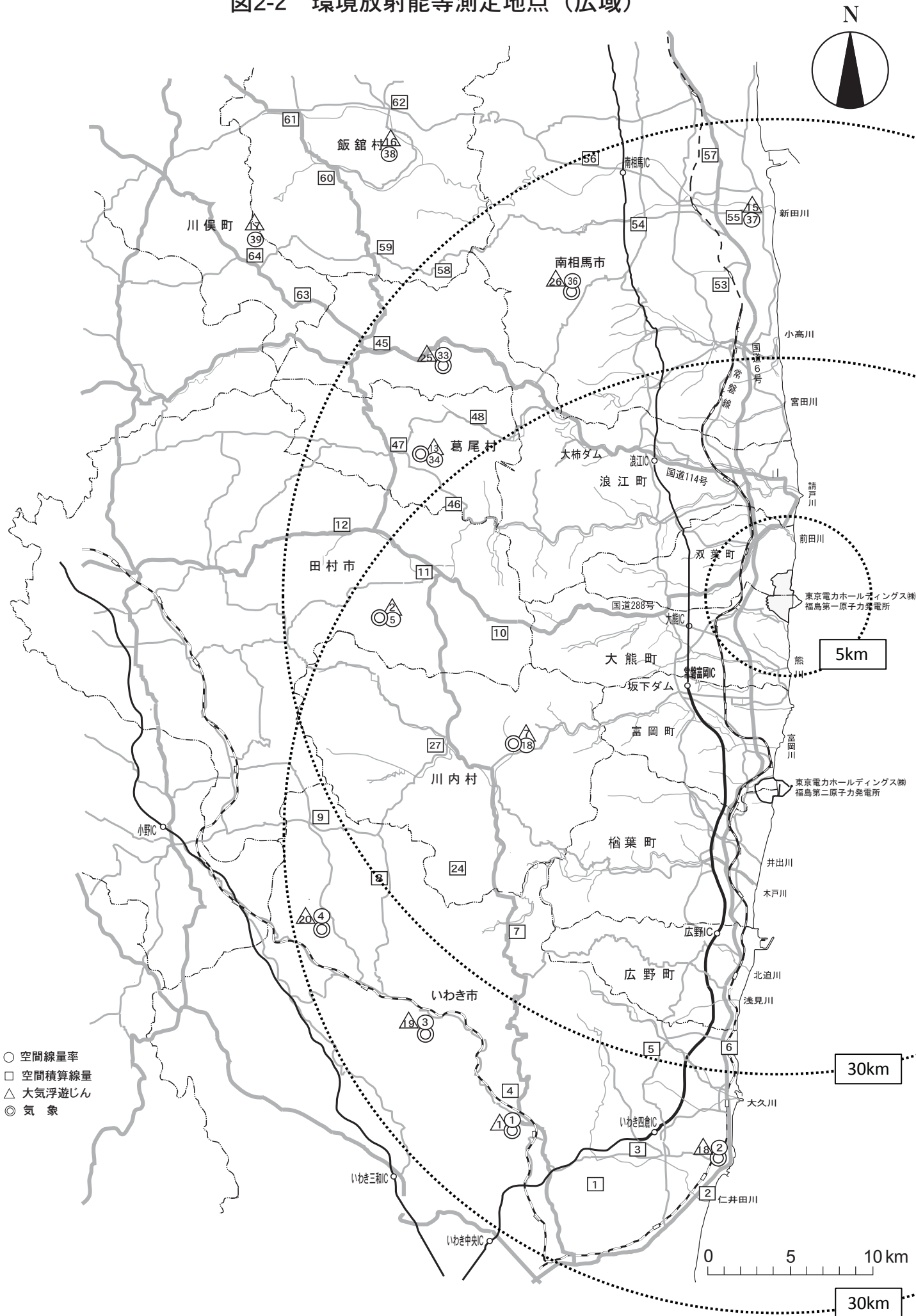


図2-3 環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

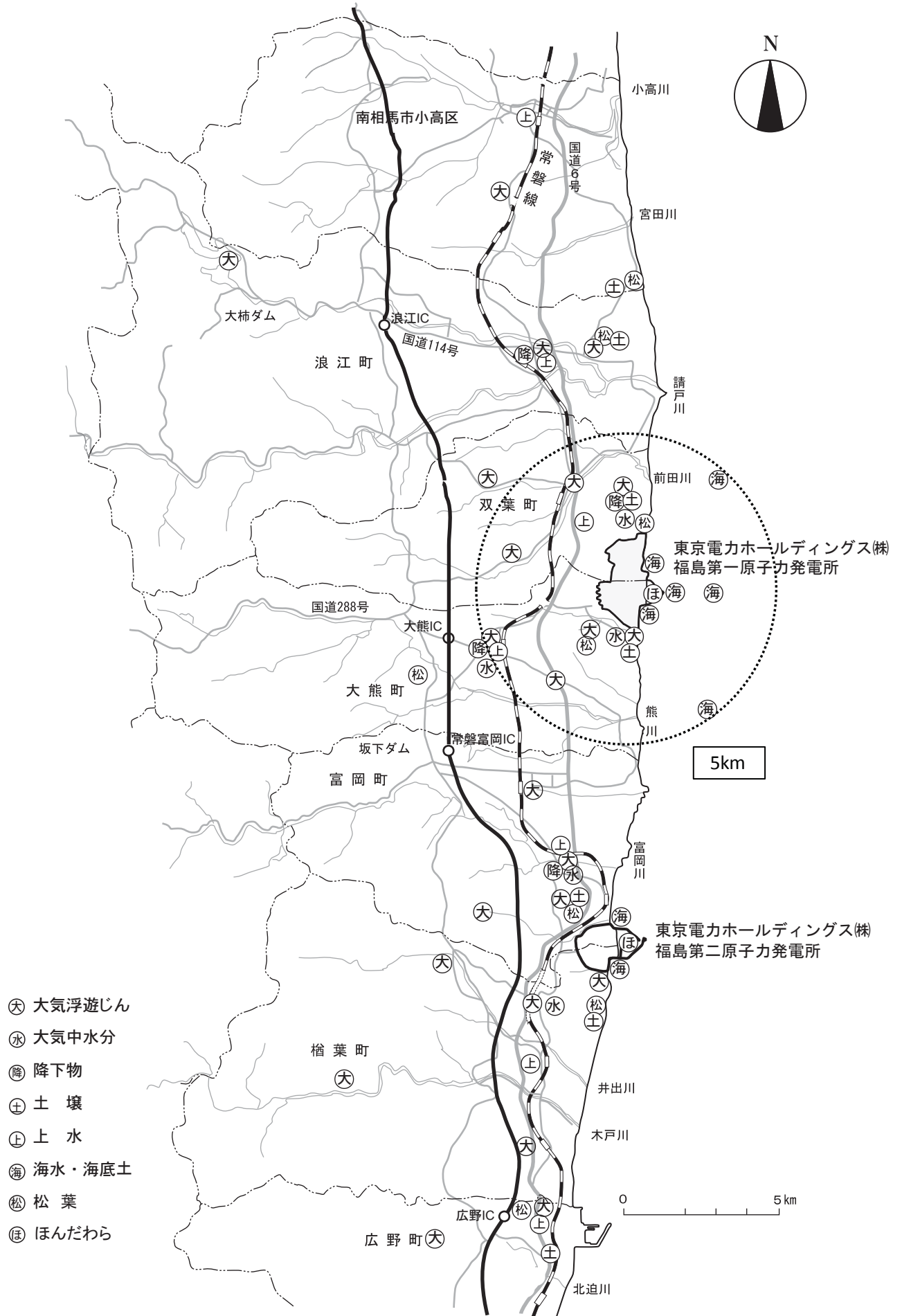
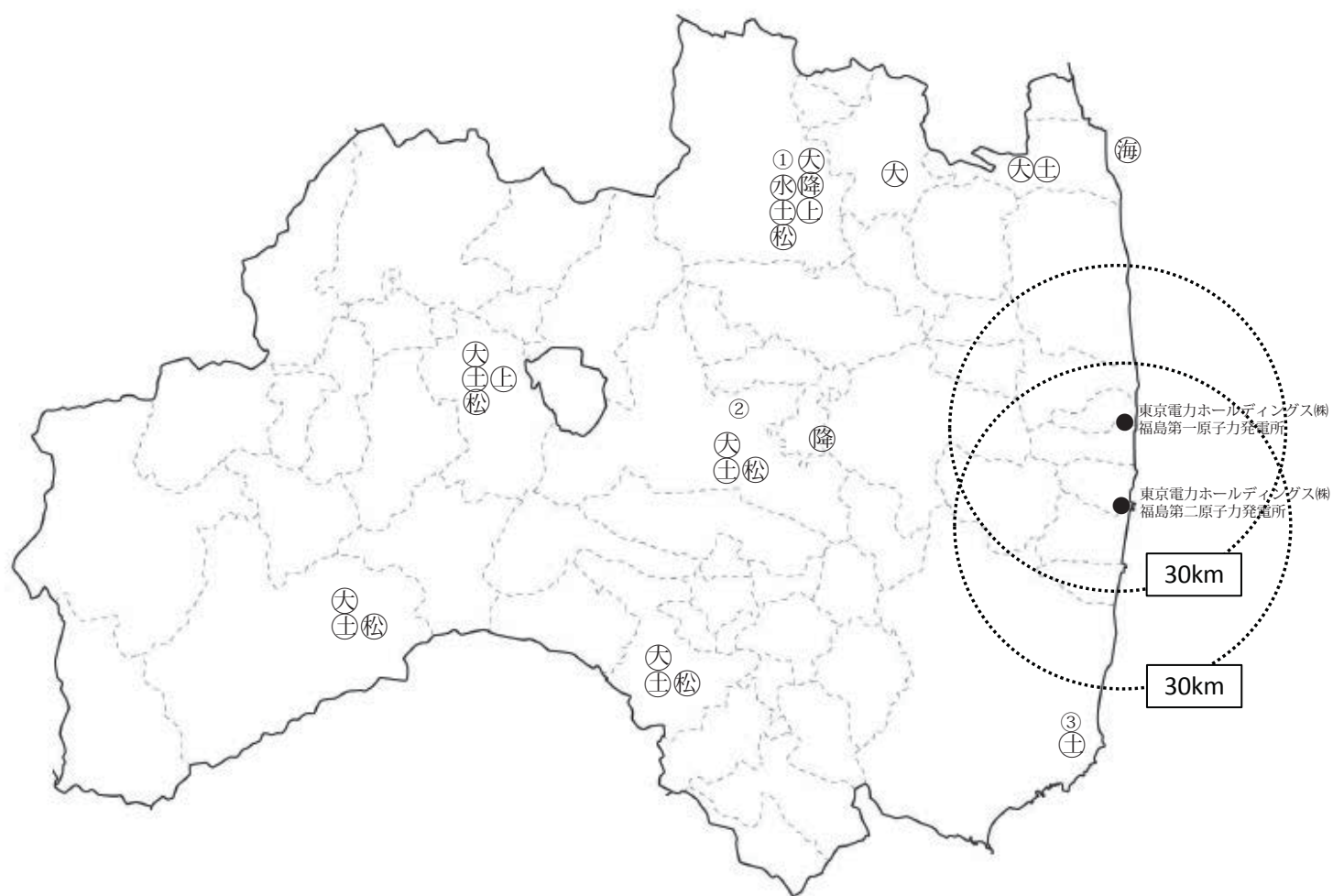


図2-4 環境試料採取地点（広域）



図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊙ 降水物
- ⊕ 土壌
- ⊕ 海水・海底土
- ⊕ 上水
- ⊕ 松葉

### 第 3 測 定 方 法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：低線量計 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (日立製作所製 ADP-1122型他) 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 (日立製作所製 RIC-348型他) 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源： <sup>60</sup> Co、 <sup>137</sup> Cs及び <sup>226</sup> Ra
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 線量計：蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス製 SC-1型) 測定器：蛍光ガラス線量計測装置 (AGCテクノグラス製 FGD-202型) 測定位置：地表上約1m 校正線源： <sup>137</sup> Cs
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式(吸引量：約90m <sup>3</sup> /6時間) 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼合せ検出器 (日立製作所製 ADC-121他) 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源： <sup>241</sup> Am及び <sup>85</sup> Kr
	全ベータ放射能	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 測定器：低バックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源：U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> (海水)
試料	核種濃度	γ線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 測定器：ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ製 GC3018型他) 多重波高分析器(キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他)
		β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂) 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (日立製作所製 LSC-LB7型他)
	放射性ストロンチウム濃度	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源： <sup>90</sup> Sr
アメリカシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度	α線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂)及び「アメリカシウム分析法」(平成2年)に定めるイオン交換法 測定器：シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 多重波高分析器(ORTEC デジタルMCA(ソフトウェア)他) 校正線源： <sup>239</sup> Np、 <sup>241</sup> Am及び <sup>244</sup> Cm	



環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(全β放射能、Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん			
		簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	簡易型ダストサンプラー(比較対象地点)	連続ダストサンプラー	連続ダストモニタ
	核種	Cs-134、Cs-137			
試料採取	採取方法	ハイボリウムエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリウムエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m
	採取容器等	ろ紙(GB-100R)		ろ紙(HE-40T)	
	採取量	約34,500m <sup>3</sup>	約1,150m <sup>3</sup>	約2,000m <sup>3</sup>	約11,000m <sup>3</sup>
	前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		試料毎に分けて採取している。	
前処理	方法	約1週間毎に回収したろ紙を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	約1週間毎に回収した集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1週間分の集じんろ紙(203×254mm)を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計52%を採取する。これを1ヶ月分まとめ週ごとのかたよりが出ないよう順にU8へ収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	50φmmの円の中心から46φmmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめU8容器底面に収納する。	灰にした試料全量をU8容器に充填する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。			・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置			
	測定試料状態	生			灰
	測定容器	U8容器			
	供試料量	約18,000m <sup>3</sup>	約1,150m <sup>3</sup>	約1,700m <sup>3</sup>	約11,000m <sup>3</sup>
	測定時間	12,000秒	80,000秒	15,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.03mBq/m <sup>3</sup>	約0.03~0.04mBq/m <sup>3</sup>	約0.03~0.1mBq/m <sup>3</sup>	約0.005~0.01mBq/m <sup>3</sup>
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施			
	BG測定頻度	月1回 試料測定時間の2倍以上			
備考	平成26年7月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒) 平成28年4月:測定時間変更(20,000秒→80,000秒)	平成28年4月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え	平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)、測定時間変更(21,600秒→80,000秒)	

項目	試料名	大気浮遊じん		大気中水分	
		リアルタイムダストモニタ	リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内)	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134, Cs-137		H-3	
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地上約2m		シリカゲルを充填したカラムに一定量の大气を通過させ、大気に含まれる水分を捕集する。	
	採取容器等	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(:ICAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	シリカゲルを充填した、ガラスカラム(φ55 mm×H400 mm)2本	
	採取量	約2,200m <sup>3</sup>	約1,250m <sup>3</sup>	約4.5~45m <sup>3</sup>	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	試料毎に分けて採取している。		シリカゲルを充填したガラスカラムは地点毎に専用としている。	
前処理	方法	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	減圧蒸留法	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	シリカゲルに吸着させた水分を全量回収し、十分に混合する。その後、所定量を減圧蒸留する。	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。</li> <li>・使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。</li> <li>・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。</li> </ul>	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置		ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	
	測定試料状態	灰	生	液体シンチレータ混合物	
	測定容器	U8容器		100 mLテフロンバイアル	
	供試料量	約2,200m <sup>3</sup>	約1,250m <sup>3</sup>	約50.00 mL	
	測定時間	80,000秒		30,000 秒	
	測定下限値	約0.02~0.06mBq/m <sup>3</sup>	約0.02~0.06mBq/m <sup>3</sup>	約1 mBq/m <sup>3</sup> ~10 mBq/m <sup>3</sup>	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的Ge半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		試料毎に新品のバイアル瓶を使用している。検出器の汚染確認は、毎測定時にBG測定で実施。	
校正	使用線源	Cd-109, Co-57.60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88		H-3	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(納入時) メーカーにて効率校正 (1年毎) メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。 精密点検時に、密封線源により効率確認。	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒		測定の都度	
備考	平成28年4月:測定開始	平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可	平成30年4月:測定開始		

項目	試料名	降下物	
		福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核種	Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ)	
	採取量	0.5m <sup>2</sup> (大型水盤) または 0.085m <sup>2</sup> (小型水盤)	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	採取後、降下物1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	採取試料全量を充填	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾固物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	0.5m <sup>2</sup> (大型水盤) または 0.085m <sup>2</sup> (小型水盤)	
	測定時間	80,000秒	
	測定下限値	大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km <sup>2</sup> 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km <sup>2</sup> 程度	
	測定におけるコンタミ防止 とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	8地点で大型水盤、4地点で小型水盤を使用している。 平成24年4月: 小型水盤による採取開始 平成27年6月: 比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月: 前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒)		

項目	試料名	土壌			
	核種	Cs-134、Cs-137	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240	Am-241、Cm-244
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。			
	採取容器等	採土器			
	採取量	3kg程度			
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。			
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。			
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)			
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用</li> <li>・試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点)</li> <li>・試料処理毎に汚染がないことを確認</li> </ul>			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド ガスフロー計数装置	Si半導体検出装置	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)	
	供試料量	約100g	約100g	約50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	
	測定下限値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bq/kg乾土	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90	Np-237、Am-241、Cm-244	Gd-148、Am-241、Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒	
備考	平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134、Cs-137の前処理変更(湿土→乾土)				

項目	試料名	上水			
	核種	Cs-134、Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240
試料採取	採取方法	各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取。			
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	20L	1L	100L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。			
前処理	方法	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし			
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認			
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置
	測定試料状態	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	100mLテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	20L	約50.00mL	100L	100L
	測定時間	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L	0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	H-3	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒
備考	平成28年4月：前処理変更(生→加熱濃縮法)				

項目	試料名	海水				
	核種	全ベータ放射能	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
試料採取	採取方法	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。				
	採取容器等	ポリビン	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	2L	40L	1L	60L	100L
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。				
前処理	方法	鉄・バリウム共沈法	リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし				
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認				
測定	測定装置	ローバックグラウンドガスフロー検出器	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置
	測定試料状態	鉄共沈物	リンモリブデン酸アンモニウムと二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	1L	20L以上	約50.00mL	50L	100L
	測定時間	3,600秒	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.02Bq/L	約0.001~0.002Bq/L	約0.3~0.5Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L	0.000003~0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	U <sub>3</sub> O <sub>8</sub>	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244
	線源校正頻度	測定の都度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 80,000秒
備考			平成28年4月:前処理変更(生→リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法)			

項目	試料名	海底土			松葉	
					福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240	Cs-134, Cs-137	
試料採取	採取方法	船上から採泥器にて採取する。			採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	
	採取容器等	採泥器			ビニール袋	
	採取量	3kg程度			200g程度	
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。			採取地点毎に新品の袋に採取	
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。			95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法)			乾燥後の試料から所定量を均等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認			・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Si半導体検出装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	乾燥物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)	U8容器	
	供試料量	約100g	約100g	100L	約50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80,000秒	
	測定下限値	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土	約0.01~0.2 Bq/L	約0.5~1Bq/kg生	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒	月1回 200,000秒	
備考	平成27年7月:比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月:前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。					

項目	試料名	ほんだわら		
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Pu-238, Pu-239+240
試料採取	採取方法	採取地点付近に生息しているほんだわらの葉基部を採取する。		
	採取容器等	ビニール袋		
	採取量	9kg程度		
	前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取地点毎に専用の器具を使用		
前処理	方法	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱乾燥に用いるバットは十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー検出器	Si半導体検出装置
	測定試料状態	乾燥物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	ステンレス板(25mmφ)
	供試料量	約100g	約30~40g(生試料1kg相当の灰試料量)	約20~40g(生試料500g~1kg相当の灰試料量)
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒
	測定下限値	約0.1~0.2Bq/kg生	約0.1~0.2Bq/kg生	約1~3 mBq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Np-237, Am-241, Cm-244
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒
備考				



## 第 4 測定結果

### 4-1 空間放射線

#### 4-1-1 空間線量率

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満及び福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 42 地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。詳細な測定値は 32～34、62 ページを参照。

#### (1) 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により事故前の月間平均値を上回っています。全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。事故直後の最大値と今期の測定値の最大値を比較すると、減少率の高い順から 1F・2F 周辺、1F 近傍、比較対象地点でした。今期の測定値は、いずれの月も数値の高い順から 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点でした。

各地点の空間線量率の月間平均値

(単位：nGy/h)

測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)		
		10 月	11 月	12 月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	335～4,540	339～4,580	347～4,570	342～	910～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/38 に減少			18,341	176,000	
1F・2F 周辺	31	45～946	44～995	45～939	44～	117～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/58 に減少			2,547	58,454	
比較対 照地点	3	62～120	61～120	62～119	61～	181～	39～42
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/30 に減少			220	3,716	

(注) \*1 「過去の月間平均値」の期間（次項以降も同じ）

H26～：平成 26 年度から前四半期まで。

事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 25 年度まで。

事故前：平成 13 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

## (2) 1時間値の変動状況

各測定地点における1時間値は、降雨等の影響による変動があるものの、原子力発電所等に由来する変動はありませんでした。

なお、1時間値は降雨による影響により、およそ300nGy/h以下の低線量地域では自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇し、300nGy/hを超える高線量地域では雨水による遮へい効果により一時的に低下するという傾向が見られます。

各地点の空間線量率の最大値（1時間値）（単位：nGy/h）

測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
		10月	11月	12月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	360～4,820	347～4,700	357～4,630	18,578	1,018,174	157
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/211に減少					
1F・2F 周辺	31	81～1,060	53～1,030	59～1,000	2,674	1,591,066	
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/1501に減少					
比較対 照地点	3	81～138	68～140	74～140	232	9,956	88
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/71に減少					

### 4-1-2 空間積算線量

1F近傍で7地点、1F・2F周辺で57地点、計64地点で空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は35～37ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値（単位：mGy/90日）

測定 エリア	測定 地点数	測定値	過去の測定値		
		(令和元年10月3日～ 令和2年1月9日)	H26～	事故直後	事故前(*1)
1F近傍	7	0.80～17	0.82～45	2.38～137.79	0.10～0.14
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/8に減少			
1F・2F周辺	57	0.16～13	0.15～31	0.18～35.84	
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/2に減少			

(注) \*1 事故前：事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期まで。

## 4-2 環境試料

### 4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

1F 近傍で3 地点、1F・2F 周辺で14 地点、計17 地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は38～39 ページを参照。

#### (1) 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、原子力発電所からの距離に関係なく、いずれの月も事故前の月間平均値の範囲内でした。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値

(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値		
			10 月	11 月	12 月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.012～ 0.015	0.013～ 0.020	0.014～ 0.023	0.004～ 0.059	0.007～ 0.039	0.007～ 0.076
	1F・2F 周辺	14	0.011～ 0.034	0.011～ 0.038	0.011～ 0.049	0.003～ 0.088	0.009～ 0.046	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.030～ 0.068	0.031～ 0.087	0.031～ 0.097	0.022～ 0.16	0.025～ 0.22	0.018～ 0.12
	1F・2F 周辺	14	0.031～ 0.077	0.032～ 0.078	0.034～ 0.094	0.017～ 0.13	0.030～ 2.0	

#### (2) 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値を下回りました。また、全アルファ・全ベータ放射能に良い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられました。なお、巻末のグラフ集(57～65 ページ)に相関図を示しております。

各地点の大気浮遊じんの最大値

(単位：Bq/m<sup>3</sup>)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
			10 月	11 月	12 月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.091～ 0.18	0.048～ 0.083	0.052～ 0.11	0.21	0.19	0.58
	1F・2F 周辺	14	0.081～ 0.24	0.045～ 0.15	0.044～ 0.18	0.41	0.34	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.15～ 0.55	0.087～ 0.28	0.090～ 0.37	0.62	1.3	0.78
	1F・2F 周辺	14	0.14～ 0.46	0.080～ 0.39	0.086～ 0.41	0.71	54	

#### 4-2-2 環境試料の核種濃度（ガンマ線放出核種）

今期に測定した環境試料は、大気浮遊じんが49地点147試料、降下物が12地点36試料、土壌15地点15試料、上水が12地点12試料、海水が8地点20試料、海底土が8地点8試料、松葉が20地点20試料の7品目で合計258試料でした。詳細な測定値は40～50、53～61、63～64、66～67ページを参照。

全7品目の76試料からセシウム-134が、全7品目の178試料からセシウム-137が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

降下物の浪江町浪江の地点でアンチモン-125が検出され、セシウム-137の測定値が平成26年度から前四半期までの測定値の範囲を上回りましたが、採取期間中、調査地点の南側で家屋解体が行われていたことから、家屋解体に伴う粉じんの舞い上がりが原因と考えられます。

上水の一部からセシウム-134及びセシウム-137が検出されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気浮遊じん (mBq/m <sup>3</sup> )	Cs-134	1F近傍	7	ND～0.16	ND～1.8	0.072～38	ND
		1F・2F周辺	35	ND	ND～0.65	ND～1,100	
		比較対照地点	7	ND	ND～0.13	ND～8.2	
	Cs-137	1F近傍	7	0.066～2.4	ND～5.2	0.14～39	ND
		1F・2F周辺	35	ND～0.19	ND～2.1	ND～990	
		比較対照地点	7	ND～0.048	ND～0.45	ND～10	
降下物 (Bq/m <sup>2</sup> ) (MBq/km <sup>2</sup> )	Co-60	1F近傍	2	ND	ND～0.54	ND	ND
		1F・2F周辺	8	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	
	Sb-125	1F近傍	2	ND	ND～2.0	ND	ND
		1F・2F周辺	8	ND～3.1	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	
	Cs-134	1F近傍	2	2.4～10	ND～1,200	76～5,000,000	ND
		1F・2F周辺	8	ND～42	ND～110	ND～940,000	
		比較対照地点	2	ND～0.79	ND～180	ND～140,000	
	Cs-137	1F近傍	2	38～150	17～4,300	170～5,600,000	ND～0.15
		1F・2F周辺	8	0.71～670	ND～340	ND～1,000,000	
		比較対照地点	2	0.21～11	ND～620	ND～150,000	

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*1)	事故直後	事故前
土 壤 (Bq/kg 乾 (事故直後及び H26～H27は Bq/kg 湿))	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～5.3	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND～1.9	ND	
		比較対照地点	7	—	ND	ND	ND
	Sb-125	1F 近傍	2	ND	ND～130	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	
		比較対照地点	7	—	ND～28	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	2,300～11,000	2,500～49,000	2,700～230,000	ND
		1F・2F 周辺	13	ND～540	3.1～7,800	32～12,000	
		比較対照地点	7	—	2.9～690	14～9,200	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	36,000～160,000	20,000～330,000	3,100～310,000	ND～16
		1F・2F 周辺	13	7.7～8,200	27～52,000	75～26,000	
		比較対照地点	7	—	37～4,500	18～14,000	ND～30
上 水 (Bq/L)	Cs-134	1F 近傍	1	ND	ND	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.004	ND～0.062	ND～0.17	
		比較対照地点	1	—	ND～0.002	ND	ND
	Cs-137	1F 近傍	1	0.001	0.002～0.003	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.043	ND～0.18	ND～0.29	
海 水 (Bq/L)	Cs-134	1F 放取水口	3	ND～0.009	ND～0.35	ND～2.4	ND
		1F 沖合	3	ND	ND～0.067	ND～0.094	
		2F 放水口	2	0.003～0.005	ND～0.012	ND～0.20	
		松川浦	1	—	ND～0.005	ND	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	0.011～0.15	ND～1.1	ND～5.0	ND～ 0.003
		1F 沖合	3	0.002～0.016	ND～0.31	ND～0.19	
		2F 放水口	2	0.044～0.074	ND～0.12	0.12～0.42	
		松川浦	1	—	ND～0.028	ND	

(注)「—」は今期測定対象外。

\*1 上水の 1F 近傍は平成 31 年度から再開。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底土 (Bq/kg 乾)	Mn-54	1F 放取水口	3	ND	ND～1.1	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND～0.62	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Co-60	1F 放取水口	3	ND	ND～1.0	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 放取水口	3	18～23	12～320	120～450	ND
		1F 沖合	3	5.0～12	ND～130	25～72	
		2F 放水口	2	5.7～6.9	4.2～68	47～230	
		松川浦	1	—	ND～4.4	1.3	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	270～330	140～870	230～1,000	ND～ 0.97
		1F 沖合	3	76～190	17～630	61～170	
		2F 放水口	2	95～97	55～200	100～470	
		松川浦	1	—	1.8～13	2.6	ND～2.3
松葉 (Bq/kg 生)	I-131	1F 近傍	2	ND	ND	ND～380	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND	ND
		比較対照地点	5	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	8.6～51	7.2～1,200	740～210,000	ND
		1F・2F 周辺	13	ND～12	ND～280	ND～61,000	
		比較対照地点	5	ND	ND～91	ND～33,000	—
	Cs-137	1F 近傍	2	130～770	99～6,100	1,900～230,000	ND～1.2
		1F・2F 周辺	13	0.93～170	ND～910	ND～68,000	
		比較対照地点	5	ND～4.0	ND～290	ND～52,000	—
ほんだわら (Bq/kg 生)	Cs-134	1F 海域	1	—	0.40	—	ND
		2F 海域	1	—	ND	—	ND
	Cs-137	1F 海域	1	—	3.5	—	ND
		2F 海域	1	—	0.47	—	ND

(注)「—」は今期測定対象外。

#### 4-2-3 環境試料の核種濃度（ベータ線放出核種）

大気中水分 6 地点 18 試料、上水 12 地点 12 試料、海水 8 地点 20 試料の合計 50 試料について、トリチウムを調査した結果、大気中水分全試料、上水 3 地点 3 試料、海水 1 地点から 2 試料から検出されました。詳細な測定値は 51～52、57～59、65 ページを参照。

トリチウムは、大気中水分の大熊町夫沢の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。上水及び海水のトリチウムの測定値は事故前の測定値の範囲内でした。

海水 6 地点 18 試料、海底土 6 地点 6 試料の合計 24 試料について、ストロンチウム-90 を調査した結果、海水 6 地点 17 試料、海底土 3 地点 3 試料から検出されました。詳細な測定値は 50～52、57 ページを参照。

ストロンチウム-90 は、海水の第一（発）取水口付近（港湾出入口の外側）の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。海底土のストロンチウム-90 の測定値は 1 F 放水口及び 1 F 沖合の一部の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値の範囲内でした。

環境試料のベータ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*1)	事故直後	事故前
大気中水分 (mBq/m <sup>3</sup> )	H-3	1F 近傍	3	2.6～20*2	1.3～64*2	—	ND～23
		1F・2F 周辺	2	2.4～6.3	ND～14	—	ND～14
		比較対照地点	1	4.0～14	ND～21	ND～41	ND～12
土壌 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 近傍	2	—	19～61	15～81	ND～3.5
		1F・2F 周辺	13	—	ND～17	ND～14	
		比較対照地点	7	—	ND～16	ND～32	1.8～4.3
上水 (Bq/L)	H-3	1F 近傍	1	ND	0.45～0.48	—	ND～1.2
		1F・2F 周辺	11	ND～0.60	ND～0.94	ND～0.96	
		比較対照地点	1	—	ND～0.85	ND～1.4	ND～1.3
	Sr-90	1F 近傍	1	—	0.0012	—	0.001～0.002
		1F・2F 周辺	11	—	ND～0.002	ND～0.002	
		比較対照地点	1	—	0.001～0.0015	0.001～0.002	0.001～0.002

(注)「—」は今期測定対象外。

\*1 大気中水分の 1F 近傍、1F・2F 周辺は平成 30 年度から再開。

上水の 1F 近傍は平成 31 年度から再開。

\*2 大熊町夫沢の地点は、平成 31 年 4 月 3 日～6 月 3 日のいずれかの時点で大気導入配管内結露水トラップの破損が発生し、同年 11 月 19 日に交換するまでの期間中、局舎内大気を吸引していたため、平成 31 年 4 月から令和元年 11 月までを参考値とし、上表から除外している。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*1)	事故直後	事故前
海水 (Bq/L)	H-3	1F 放取水口	3	ND～0.83	ND～2.6	ND～6.2	ND～2.9
		1F 沖合	3	ND	ND～0.91	ND～0.58	
		2F 放水口	2	ND	ND～0.86	ND～0.56	
		松川浦	1	—	ND	ND	
	Sr-90	1F 放取水口	3	0.0008～0.0045	ND～0.76	0.005～2.9	ND～0.002
		1F 沖合	3	ND～0.0014	ND～0.031	0.001～0.26	
		2F 放水口	2	—	0.0008～0.003	0.033～0.034	
		松川浦	1	—	0.001～0.0011	0.001	
海底土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 放取水口	3	ND～0.35	ND～4.6	ND～1.2	ND
		1F 沖合	3	ND～0.33	ND～0.71	ND～0.19	
		2F 放水口	2	—	ND～0.32	ND～0.21	
		松川浦	1	—	ND～0.21	ND	
ほんだわら (Bq/kg 生)	Sr-90	1F 海域	1	—	0.12	—	0.04～0.13
		2F 海域	1	—	0.026	—	0.05～0.19

(注)「—」は今期測定対象外。

#### 4-2-4 環境試料の核種濃度 (アルファ線放出核種)

海水 6 地点 18 試料、海底土 6 地点 6 試料の合計 24 試料について、プルトニウム-238 及びプルトニウム-239+240 を調査した結果、プルトニウム-238 は検出されませんでした。海水 1 地点 1 試料、海底土全試料からプルトニウム-239+240 が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。詳細な測定値は 58～59 ページを参照。

環境試料のアルファ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*1)	事故直後	事故前
土壌 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 近傍	2	—	ND～0.09	ND～0.03	ND～0.03
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.05	ND～0.05	
		比較対照地点	7	—	ND～0.03	ND～0.18	
	Pu-239+240	1F 近傍	2	—	0.05～0.37	0.20～0.34	ND～0.44
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.97	ND～0.66	
		比較対照地点	7	—	ND～1.2	ND～4.8	
	Am-241	1F 近傍	2	—	0.02～0.18	0.02～0.16	—
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.44	ND～0.25	
		比較対照地点	1	—	0.06～0.41	0.11	
	Cm-244	1F 近傍	2	—	ND～0.02	ND	—
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.03	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	



(注)「-」は今期測定対象外。

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～(*1)	事故直後	事故前
上水 (mBq/L)	Pu-238	1F 近傍	1	—	ND	—	—
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 近傍	1	—	ND	—	ND
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	ND
海水 (mBq/L)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND～0.010	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	—	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	ND～0.009	ND～0.016	ND～0.014	ND～0.013
		1F 沖合	3	ND	ND～0.010	ND～0.010	
		2F 放水口	2	—	ND～0.020	ND～0.011	
		松川浦	1	—	ND	ND	
海底土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND～0.01	ND～0.02	
		2F 放水口	2	—	ND	ND	
		松川浦	1	—	ND	ND	—
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	0.15～0.29	0.09～0.43	0.08～0.32	0.15～0.61
		1F 沖合	3	0.43～0.45	0.21～0.61	0.33～0.52	
		2F 放水口	2	—	0.14～0.31	0.21～0.25	
		松川浦	1	—	0.18～0.31	0.20	
ほんだわら (Bq/kg 生)	Pu-238	1F 海域	1	—	ND	—	—
		2F 海域	1	—	ND	—	—
	Pu-239+240	1F 海域	1	—	0.0038	—	0.0035～ 0.021
		2F 海域	1	—	ND	—	0.0067～ 0.022

(注)「-」は今期測定対象外。

\*1 上水の 1F 近傍は平成 31 年度から開始。

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覽表

5-1 空間放射線

單位 線量率:μSv/h 測定時間:h  
上段:平均値 (下段):最大値

No.	測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	いわき市 小川	54 (62)	720	49 (65)	744	49 (77)	720	48 (62)	744	49 (62)	744	51 (77)	720	53 (84)	744	53 (61)	720	53 (72)	738						
2	いわき市 久之浜	77 (88)	720	76 (85)	744	75 (96)	720	74 (83)	744	76 (88)	744	74 (93)	720	74 (107)	744	74 (86)	720	73 (89)	738						
3	いわき市 千桶 売	54 (63)	720	54 (66)	744	54 (86)	720	53 (67)	744	54 (71)	744	53 (77)	720	53 (81)	732	53 (61)	720	51 (67)	738						
4	いわき市 川前	66 (73)	720	65 (81)	744	65 (103)	720	64 (87)	744	66 (92)	744	65 (100)	720	64 (108)	744	65 (78)	720	64 (78)	738						
5	田村市 都路馬洗戸	83 (97)	720	84 (96)	744	83 (115)	720	81 (98)	744	85 (102)	744	82 (111)	720	82 (102)	744	82 (89)	720	80 (91)	738						
6	広野町 二ツ沼	85 (107)	720	84 (102)	744	84 (118)	720	81 (95)	741	84 (99)	744	82 (110)	720	83 (133)	744	82 (91)	714	82 (102)	744						
7	広野町 小滝 平	83 (92)	720	82 (94)	744	81 (113)	720	78 (91)	744	82 (94)	744	79 (101)	720	79 (118)	744	79 (87)	720	78 (93)	739						
8	楡葉町 山田 岡	65 (77)	720	65 (79)	744	65 (99)	720	64 (79)	740	65 (78)	744	64 (85)	714	64 (107)	744	62 (71)	720	62 (81)	744						
9	楡葉町 木戸 夕 入	98 (106)	720	98 (123)	744	97 (131)	720	95 (113)	744	100 (112)	744	97 (121)	720	95 (139)	744	95 (109)	720	94 (109)	739						
10	楡葉町 繁 岡	183 (196)	720	180 (198)	744	177 (205)	720	172 (187)	744	178 (192)	744	174 (199)	720	173 (227)	744	170 (184)	714	168 (185)	744						
11	楡葉町 松 館	167 (176)	720	163 (183)	744	162 (191)	720	156 (173)	742	158 (171)	744	154 (178)	720	152 (193)	744	150 (158)	713	149 (165)	744						
12	楡葉町 波 倉	234 (244)	720	230 (245)	744	228 (249)	720	222 (236)	744	226 (238)	744	223 (245)	713	215 (256)	744	215 (223)	720	216 (230)	744						

No.	測定年月	測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
			繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率	測定 時間	繰量 率
13		富岡町 上郡山	256 (265)	720	250 (263)	744	243 (261)	720	231 (243)	744	245 (254)	744	238 (256)	720	233 (255)	744	234 (245)	714	233 (245)	744	233 (245)						
14		富岡町 下郡山	179 (189)	720	172 (185)	744	167 (198)	720	162 (179)	741	167 (181)	744	163 (190)	720	162 (212)	744	160 (174)	714	154 (170)	744	154 (170)						
15		富岡町 深谷*	145 (162)	720	143 (164)	744	141 (177)	720	136 (158)	744	147 (166)	744	139 (167)	720	135 (187)	744	133 (149)	720	132 (153)	744	132 (153)						
16		富岡町 富岡	149 (160)	720	148 (164)	744	147 (175)	720	145 (160)	744	148 (161)	744	145 (169)	720	142 (191)	744	137 (151)	715	134 (151)	744	134 (151)						
17		富岡町 夜の森	315 (323)	720	313 (323)	744	306 (323)	720	305 (322)	741	316 (326)	744	304 (320)	720	292 (320)	744	286 (296)	713	267 (281)	744	267 (281)						
18		川内村 下川内	131 (140)	720	132 (145)	744	129 (157)	720	126 (145)	744	130 (141)	744	128 (153)	720	127 (171)	744	129 (141)	720	126 (138)	739	126 (138)						
19		大熊町 向畑	1,210 (1260)	720	1,190 (1230)	744	1,150 (1,220)	720	1,110 (1150)	744	1,150 (1190)	744	1,120 (1180)	714	1,120 (1190)	744	1,120 (1160)	720	1,160 (1200)	744	1,160 (1200)						
20		大熊町 熊川*	1,690 (1800)	720	1,700 (1830)	744	1,680 (1,850)	720	1,650 (1790)	744	1,790 (1910)	743	1,820 (1720)	720	1,560 (1730)	744	1,550 (1640)	720	1,510 (1600)	744	1,510 (1600)						
21		大熊町 南台*	5,060 (5190)	720	4,960 (5080)	744	4,800 (5,050)	720	4,550 (4740)	744	4,750 (4900)	744	4,660 (4780)	720	4,540 (4820)	744	4,580 (4700)	713	4,570 (4630)	744	4,570 (4630)						
22		大熊町 大野	1,040 (1070)	720	1,030 (1050)	744	1,010 (1,050)	720	971 (997)	742	998 (1020)	744	971 (997)	720	943 (986)	744	945 (967)	714	943 (955)	744	943 (955)						
23		大熊町 夫沢*	4,960 (5130)	720	4,840 (4970)	744	4,590 (4,890)	720	4,260 (4430)	742	4,450 (4590)	744	4,160 (4390)	720	3,690 (3990)	744	3,630 (3730)	714	3,500 (3570)	744	3,500 (3570)						
24		双葉町 山田*	4,550 (4800)	720	4,450 (4690)	744	4,250 (4,660)	720	3,840 (4230)	739	4,430 (4650)	744	4,200 (4440)	720	3,890 (4510)	744	4,190 (4390)	720	4,030 (4210)	740	4,030 (4210)						
25		双葉町 郡山	371 (381)	720	364 (376)	744	355 (369)	720	342 (355)	742	349 (361)	744	342 (359)	720	335 (360)	744	339 (347)	714	347 (357)	744	347 (357)						
26		双葉町 新山	1,140 (1180)	720	1,120 (1170)	744	1,060 (1,140)	720	1,000 (1060)	741	1,060 (1140)	744	1,010 (1070)	720	896 (1070)	744	786 (815)	715	771 (788)	744	771 (788)						
27		双葉町 上羽鳥	499 (516)	720	488 (502)	744	471 (493)	720	448 (468)	742	472 (488)	744	459 (472)	720	448 (482)	744	445 (462)	712	438 (447)	744	438 (447)						

No.	測定年月 測定項目 測定地点名	H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
28	浪江町 請 <sup>リ</sup> 戸 <sup>シ</sup> *1	110 (126)	720	111 (136)	744	110 (137)	720	106 (124)	744	113 (128)	744	108 (134)	720	104 (144)	744	104 (117)	720	102 (121)	744						
29	浪江町 棚 <sup>な</sup> 塩 <sup>しお</sup> *1	76 (91)	720	76 (95)	744	76 (105)	720	74 (91)	744	77 (102)	743	78 (101)	720	74 (118)	744	76 (88)	720	75 (95)	744						
30	浪江町 浪 <sup>な</sup> 江 <sup>え</sup>	141 (149)	720	140 (159)	744	138 (155)	720	137 (146)	740	146 (161)	744	141 (159)	720	136 (163)	744	118 (126)	715	117 (129)	744						
31	浪江町 幾 <sup>よ</sup> 世 <sup>よ</sup> 橋 <sup>はし</sup>	92 (102)	720	91 (108)	744	90 (112)	720	88 (102)	739	95 (109)	744	91 (112)	720	89 (127)	744	90 (98)	716	89 (104)	744						
32	浪江町 大 <sup>お</sup> 柵 <sup>さし</sup> ダ <sup>た</sup> ム	699 (720)	720	705 (725)	744	698 (720)	720	689 (717)	744	709 (731)	744	697 (721)	720	678 (712)	744	682 (700)	720	661 (688)	739						
33	浪江町 南 <sup>なん</sup> 津 <sup>つ</sup> 島 <sup>しま</sup>	1,020 (1080)	720	1,050 (1100)	744	1,010 (1,070)	720	984 (1030)	744	1,040 (1100)	744	1,010 (1040)	720	946 (1060)	744	995 (1030)	720	939 (1000)	739						
34	葛尾村 賀 <sup>が</sup> 湯 <sup>ゆ</sup>	135 (145)	720	136 (154)	744	133 (162)	720	131 (145)	744	135 (149)	744	132 (161)	720	131 (148)	744	132 (142)	720	130 (142)	737						
35	南相馬市 泉 <sup>い</sup> 次 <sup>じ</sup>	113 (125)	720	113 (133)	744	110 (136)	720	106 (128)	744	110 (129)	744	106 (133)	720	105 (145)	744	105 (113)	720	104 (115)	737						
36	南相馬市 横 <sup>よ</sup> 川 <sup>が</sup> ダ <sup>た</sup> ム	219 (227)	720	220 (239)	744	215 (229)	720	209 (222)	744	217 (224)	744	213 (229)	720	210 (256)	744	212 (221)	720	206 (219)	739						
37	南相馬市 萱 <sup>い</sup> 浜 <sup>ま</sup>	45 (60)	720	45 (69)	744	45 (80)	720	44 (66)	744	45 (69)	744	44 (76)	712	45 (93)	744	44 (53)	720	45 (59)	744						
38	飯館村 伊 <sup>い</sup> 丹 <sup>に</sup> 次 <sup>じ</sup>	151 (164)	720	153 (175)	744	149 (175)	720	145 (157)	744	150 (174)	744	146 (168)	712	143 (160)	744	145 (152)	720	139 (151)	744						
39	川俣町 山 <sup>やま</sup> 木 <sup>き</sup> 屋 <sup>や</sup>	131 (143)	720	132 (153)	744	128 (154)	720	124 (138)	744	128 (149)	744	124 (146)	713	121 (145)	744	124 (135)	720	121 (134)	744						

注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 \*1 可搬型モニタリングポストによる測定

3 \*2 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaIシンチレーション検出器、単位：ナノグレイ/時) により行ったが、概ね10,000nGy/h (10 $\mu$ Gy/h)を超えた場合は、

併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器、単位：ナノグレイ/時) の測定値で補完した。

5-1-2 空間積算線量

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定項目		H31. 4. 4 ~R1. 7. 4		R1. 7. 4 ~R1. 10. 3		R1. 10. 3 ~R2. 1. 9	
		測定期間	測定項目	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	いわき市 石森			0.20 (0.20)	91	0.20 (0.20)	91	0.21 (0.19)	98
2	いわき市 西倉			0.25 (0.24)	91	0.25 (0.25)	91	0.27 (0.25)	98
3	いわき市 大野			0.21 (0.21)	91	0.21 (0.21)	91	0.23 (0.21)	98
4	いわき市 福岡			0.23 (0.23)	91	0.23 (0.23)	91	0.25 (0.23)	98
5	いわき市 大久			0.22 (0.22)	91	0.22 (0.22)	91	0.23 (0.21)	98
6	いわき市 末続			0.27 (0.27)	91	0.27 (0.27)	91	0.29 (0.26)	98
7	いわき市 上小川			0.32 (0.32)	91	0.32 (0.32)	91	0.34 (0.31)	98
8	いわき市 志田名			0.35 (0.35)	91	0.35 (0.35)	91	0.38 (0.35)	98
9	いわき市 小白井			0.20 (0.20)	91	0.21 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98
10	田村市 場々			0.33 (0.32)	91	0.32 (0.32)	91	0.34 (0.32)	98
11	田村市 古道			0.24 (0.24)	91	0.25 (0.25)	91	0.27 (0.24)	98
12	田村市 岩井沢			0.20 (0.20)	91	0.20 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98
13	広野町 下浅見川			0.21 (0.20)	91	0.21 (0.20)	91	0.22 (0.20)	98
14	広野町 簪平			0.25 (0.25)	91	0.25 (0.25)	91	0.27 (0.25)	98
15	檜葉町 山田岡			0.21 (0.21)	91	0.21 (0.21)	91	0.23 (0.21)	98
16	檜葉町 乙次郎			0.25 (0.25)	91	0.25*2 (0.25*2)	91	0.27 (0.25)	98
17	檜葉町 井出			0.27 (0.27)	91	0.27 (0.27)	91	0.29 (0.27)	98
18	檜葉町 上繁岡			0.38 (0.37)	91	0.37 (0.37)	91	0.38 (0.35)	98
19	富岡町 大田			0.50 (0.49)	91	0.49 (0.48)	91	0.51 (0.46)	98
20	富岡町 赤木			0.41 (0.41)	91	0.41 (0.40)	91	0.43 (0.39)	98
21	富岡町 小良ヶ浜			3.2 (3.2)	91	3.1 (3.1)	91	3.3 (3.0)	98
22	富岡町 夜の森北			0.63 (0.62)	91	0.59 (0.58)	91	0.62 (0.57)	98

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定期間		H31. 4. 4 ~ R1. 7. 4		R1. 7. 4 ~ R1. 10. 3		R1. 10. 3 ~ R2. 1. 9	
		測定項目	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量
23	富岡町 上手岡		0.59 (0.59)	91	0.59 (0.58)	91	0.62 (0.57)	98	
24	川内村 三ツ石		0.57 (0.56)	91	0.58 <sup>*2</sup> (0.57 <sup>*2</sup> )	91	0.59 (0.55)	97 <sup>*3</sup>	
25	川内村 貝ノ坂		0.85 (0.84)	91	0.82 (0.81)	91	0.87 (0.80)	98	
26	川内村 五枚沢		0.26 (0.26)	91	0.26 (0.26)	91	0.28 (0.26)	98	
27	川内村 上川内		0.21 (0.21)	91	0.21 (0.21)	91	0.23 (0.21)	98	
28	大熊町 大川原		0.36 (0.36)	91	0.36 (0.36)	91	0.38 (0.35)	98	
29	大熊町 旭ヶ丘		0.42 (0.41)	91	0.43 (0.43)	91	0.46 (0.42)	98	
30	大熊町 野上		1.5 (1.5)	91	1.5 (1.4)	91	1.5 (1.4)	98	
31	大熊町 熊川		6.4 (6.4)	91	6.1 (6.0)	91	6.3 (5.8)	98	
32	大熊町 犬野		7.7 (7.6)	91	7.5 (7.4)	91	7.8 (7.1)	98	
33	大熊町 夫沢		19 (19)	91	18 (18)	91	18 (17)	98	
34	大熊町 湯の神		2.0 (2.0)	91	2.0 (1.9)	91	2.1 (1.9)	98	
35	大熊町 長者原		5.8 (5.7)	91	5.5 (5.5)	91	5.8 (5.4)	98	
36	双葉町 清戸追		0.94 <sup>*1</sup> (0.93 <sup>*1</sup> )	91	0.90 <sup>*2</sup> (0.89 <sup>*2</sup> )	91	0.88 (0.82)	97 <sup>*3</sup>	
37	双葉町 郡山		0.86 (0.85)	91	0.83 (0.82)	91	0.87 (0.80)	98	
38	双葉町 長塚		1.2 (1.2)	91	1.1 (1.1)	91	1.1 (1.0)	97 <sup>*3</sup>	
39	浪江町 井手		14 (14)	91	13 (13)	91	14 (13)	98	
40	浪江町 請戸		0.29 (0.29)	91	0.29 (0.28)	91	0.30 (0.28)	98	
41	浪江町 小野田		0.84 <sup>*1</sup> (0.83 <sup>*1</sup> )	91	0.83 (0.82)	91	0.87 (0.80)	98	
42	浪江町 幾世橋		0.31 (0.31)	91	0.31 (0.31)	91	0.34 (0.31)	98	
43	浪江町 荻宿		0.65 (0.64)	91	0.64 (0.63)	91	0.69 (0.63)	98	
44	浪江町 昼曽根		4.6 (4.6)	91	4.4 (4.4)	91	4.7 (4.3)	98	

(単位 mGy)

No.	測定地点名	測定期間		H31. 4. 4 ~R1. 7. 4		R1. 7. 4 ~R1. 10. 3		R1. 10. 3 ~R2. 1. 9		
		測定項目	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
45	浪江町 津島	3.1	(3.1)	91	2.0 <sup>*1</sup>	(2.0 <sup>*1</sup> )	91	1.4 <sup>*1</sup>	(1.3 <sup>*1</sup> )	98
46	葛尾村 大放	0.39	(0.38)	91	0.39	(0.38)	91	0.39	(0.36)	98
47	葛尾村 落合	0.48	(0.47)	91	0.48	(0.47)	91	0.51	(0.46)	98
48	葛尾村 野行	2.6	(2.6)	91	2.5	(2.5)	91	2.4 <sup>*1</sup>	(2.2 <sup>*1</sup> )	98
49	南相馬市 浦尻	0.24	(0.23)	91	0.23	(0.23)	91	0.25	(0.23)	98
50	南相馬市 耳谷	0.27	(0.27)	91	0.27	(0.26)	91	0.29	(0.27)	98
51	南相馬市 川房	1.0	(1.0)	91	0.99	(0.98)	91	0.93 <sup>*1</sup>	(0.85 <sup>*1</sup> )	98
52	南相馬市 関場	0.50	(0.50)	91	0.49	(0.49)	91	0.50	(0.46)	98
53	南相馬市 高	0.23	(0.23)	91	0.23	(0.22)	91	0.25	(0.23)	98
54	南相馬市 大木	0.18	(0.18)	91	0.18	(0.18)	91	0.19	(0.18)	98
55	南相馬市 菅	0.16	(0.16)	91	0.16	(0.15)	91	0.17	(0.16)	98
56	南相馬市 大原	0.36	(0.36)	91	0.35	(0.35)	91	0.37	(0.34)	98
57	南相馬市 川子	0.25	(0.25)	91	0.24	(0.24)	91	0.26	(0.24)	98
58	飯館村 蔵平	0.81	(0.80)	91	0.80	(0.79)	91	0.82	(0.75)	98
59	飯館村 長泥	2.4 <sup>*1</sup>	(2.4 <sup>*1</sup> )	91	1.5 <sup>*1</sup>	(1.4 <sup>*1</sup> )	91	1.2 <sup>*1</sup>	(1.1 <sup>*1</sup> )	98
60	飯館村 飯種	0.57	(0.56)	91	0.57	(0.56)	91	0.60	(0.55)	98
61	飯館村 白右	1.0	(1.0)	91	1.0	(0.99)	91	1.1	(0.97)	98
62	飯館村 草野	0.88	(0.88)	91	0.87	(0.86)	91	0.93	(0.85)	98
63	川俣町 山木屋坂下	0.87	(0.86)	91	0.87	(0.86)	91	0.90	(0.83)	98
64	川俣町 山木屋	0.32	(0.32)	91	0.32	(0.31)	91	0.34	(0.31)	98

注) 1 ( ) 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

\* 1 周辺の除染作業による低下

\* 2 収納箱の支柱が倒れた全ての地点の測定結果は前回の測定結果と同程度であったが、測定期間中適切な高さを維持できなかったため、今回の測定結果は参考値とした。

\* 3 倒れた収納箱の支柱の修繕等により、RPLDの設置を翌日実施したため、測定日数が1日短くなった。

\* 4 令和元年10月の大雨の際、RPLD設置地点及び周辺の畑に水が溜まり、土壌等からの放射線が遮蔽されたことにより低下した。

5-2 環境資料

5-2-1 大気汚染物質の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:放射能濃度: Bq/m<sup>3</sup> 測定時間: h  
上段: 平均値 (下段): 最大値

No.	測定地点名	R1.4		R1.5		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	
1	いわき市 <small>いわき市</small> 小川	全アルファ放射能	0.040 (0.25)	720	0.039 (0.19)	744	0.025 (0.12)	660	0.023 (0.12)	744	0.038 (0.16)	720	0.028 (0.17)	732	0.034 (0.15)	720	0.036 (0.14)	744						
		全ベータ放射能	0.065 (0.33)	720	0.063 (0.26)	744	0.044 (0.17)	660	0.041 (0.15)	744	0.061 (0.21)	720	0.049 (0.24)	732	0.057 (0.21)	720	0.059 (0.20)	744						
2	田村市 <small>たむら市</small> 都賀馬場	全アルファ放射能	0.013 (0.072)	720	0.016 (0.069)	744	0.010 (0.063)	648	0.009 (0.060)	744	0.018 (0.086)	708	0.013 (0.084)	744	0.011 (0.045)	720	0.013 (0.050)	744						
		全ベータ放射能	0.035 (0.12)	720	0.040 (0.12)	744	0.030 (0.11)	648	0.028 (0.099)	744	0.042 (0.15)	708	0.034 (0.14)	744	0.032 (0.085)	720	0.034 (0.088)	744						
3	広野町 <small>ひろの町</small> 小瀬	全アルファ放射能	0.014 (0.064)	720	0.017 (0.078)	684	0.016 (0.092)	720	0.012 (0.065)	744	0.022 (0.085)	708	0.015 (0.11)	714	0.015 (0.048)	720	0.014 (0.044)	744						
		全ベータ放射能	0.038 (0.12)	720	0.042 (0.14)	684	0.039 (0.14)	720	0.033 (0.10)	744	0.049 (0.15)	708	0.038 (0.19)	714	0.038 (0.094)	720	0.036 (0.086)	744						
4	楢葉町 <small>のばた町</small> 水戸ダム	全アルファ放射能	0.022 (0.11)	720	0.026 (0.11)	744	0.016 (0.085)	660	0.020 (0.096)	744	0.029 (0.090)	720	0.021 (0.11)	744	0.022 (0.083)	720	0.022 (0.087)	744						
		全ベータ放射能	0.044 (0.16)	720	0.051 (0.16)	744	0.036 (0.13)	660	0.040 (0.14)	744	0.054 (0.13)	720	0.043 (0.17)	744	0.045 (0.13)	720	0.044 (0.13)	744						
5	楢葉町 <small>のばた町</small> 繁田	全アルファ放射能	0.021 (0.23)	720	0.026 (0.16)	744	0.012 (0.10)	720	0.009 (0.081)	732	0.019 (0.11)	720	0.011 (0.14)	744	0.016 (0.12)	708	0.024 (0.13)	744						
		全ベータ放射能	0.083 (0.71)	720	0.098 (0.53)	744	0.052 (0.36)	720	0.044 (0.26)	732	0.075 (0.35)	720	0.052 (0.46)	744	0.066 (0.39)	708	0.094 (0.41)	744						
6	郡山町 <small>ぐんま町</small> 雷	全アルファ放射能	0.021 (0.12)	720	0.024 (0.13)	744	0.014 (0.12)	720	0.010 (0.070)	744	0.021 (0.098)	720	0.015 (0.15)	744	0.018 (0.065)	720	0.024 (0.099)	744						
		全ベータ放射能	0.079 (0.38)	720	0.086 (0.40)	744	0.057 (0.35)	720	0.043 (0.22)	744	0.078 (0.32)	720	0.058 (0.46)	744	0.069 (0.22)	720	0.085 (0.31)	744						
7	川内村 <small>かわうち村</small> 川内	全アルファ放射能	0.028 (0.16)	696	0.033 (0.18)	744	0.024 (0.13)	660	0.021 (0.11)	744	0.035 (0.12)	720	0.030 (0.19)	732	0.030 (0.15)	720	0.031 (0.15)	744						
		全ベータ放射能	0.052 (0.22)	696	0.058 (0.24)	744	0.046 (0.18)	660	0.042 (0.16)	744	0.061 (0.19)	720	0.054 (0.27)	732	0.054 (0.21)	720	0.055 (0.19)	744						
8	大南町 <small>おほなん町</small> 大	全アルファ放射能	0.017 (0.089)	720	0.019 (0.11)	744	0.012 (0.070)	720	0.009 (0.069)	744	0.019 (0.092)	720	0.012 (0.12)	744	0.014 (0.061)	720	0.016 (0.059)	744						
		全ベータ放射能	0.073 (0.31)	720	0.081 (0.36)	744	0.058 (0.23)	720	0.048 (0.22)	744	0.077 (0.31)	720	0.055 (0.40)	744	0.062 (0.20)	720	0.068 (0.20)	744						



No.	測定地点名	測定年月																								
		R1.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	測定 値	測定 時間	
9	大瀬町 夫 <small>とよ</small> 次	全アルファ 放射能	0.022 (0.15)	720	0.083 (0.20)	744	0.016 (0.16)	720	0.111 (0.12)	744	0.031 (0.15)	684	0.025 (0.15)	720	0.015 (0.18)	744	0.020 (0.083)	720	0.023 (0.11)	744						
		全ベータ 放射能	0.094 (0.52)	720	0.12 (0.62)	744	0.070 (0.49)	720	0.052 (0.38)	744	0.11 (0.45)	684	0.097 (0.47)	720	0.068 (0.55)	744	0.087 (0.28)	720	0.097 (0.37)	744						
10	双葉町 山 <small>やま</small>	全アルファ 放射能	0.015 (0.13)	720	0.020 (0.12)	744	0.011 (0.078)	672	0.010 (0.082)	720	0.024 (0.11)	744	0.019 (0.071)	708	0.012 (0.091)	744	0.013 (0.048)	720	0.014 (0.052)	744						
		全ベータ 放射能	0.035 (0.20)	720	0.042 (0.19)	744	0.028 (0.13)	672	0.024 (0.13)	720	0.046 (0.17)	744	0.040 (0.12)	708	0.030 (0.15)	744	0.031 (0.087)	720	0.030 (0.090)	744						
11	浪江町 世 <small>よ</small> 世 <small>よ</small> 種 <small>むね</small>	全アルファ 放射能	0.024 (0.16)	720	0.032 (0.22)	744	0.020 (0.13)	660	0.012 (0.072)	744	0.038 (0.15)	744	0.032 (0.17)	720	0.019 (0.16)	744	0.023 (0.091)	696	0.025 (0.081)	744						
		全ベータ 放射能	0.046 (0.23)	720	0.054 (0.27)	744	0.038 (0.18)	660	0.027 (0.11)	744	0.059 (0.21)	744	0.052 (0.21)	720	0.038 (0.22)	744	0.043 (0.14)	696	0.046 (0.13)	744						
12	浪江町 大 <small>おほ</small> 種 <small>むね</small> ダ <small>た</small> ム <small>む</small>	全アルファ 放射能	0.034 (0.20)	720	0.039 (0.17)	732	0.027 (0.12)	648	0.025 (0.10)	732	0.053 (0.16)	744	0.040 (0.15)	720	0.026 (0.12)	744	0.028 (0.080)	720	0.031 (0.11)	744						
		全ベータ 放射能	0.079 (0.35)	720	0.087 (0.30)	732	0.066 (0.20)	648	0.061 (0.19)	732	0.11 (0.28)	744	0.087 (0.26)	720	0.064 (0.22)	744	0.069 (0.16)	720	0.072 (0.21)	744						
13	郡尾村 夏 <small>なつ</small> ッ <small>つ</small> 場 <small>ば</small>	全アルファ 放射能	0.048 (0.31)	720	0.055 (0.28)	744	0.033 (0.20)	660	0.026 (0.12)	744	0.058 (0.24)	744	0.050 (0.23)	672	0.034 (0.24)	744	0.038 (0.12)	720	0.049 (0.18)	744						
		全ベータ 放射能	0.082 (0.43)	720	0.091 (0.38)	744	0.060 (0.28)	660	0.049 (0.18)	744	0.093 (0.33)	744	0.084 (0.33)	672	0.062 (0.34)	744	0.067 (0.17)	720	0.080 (0.25)	744						
14	藤相馬市 菜 <small>な</small> ッ <small>つ</small> 次 <small>じ</small>	全アルファ 放射能	0.019 (0.11)	720	0.022 (0.14)	732	0.013 (0.087)	720	0.009 (0.045)	678	0.025 (0.10)	744	0.020 (0.088)	720	0.013 (0.093)	732	0.016 (0.045)	720	0.018 (0.084)	744						
		全ベータ 放射能	0.042 (0.17)	720	0.045 (0.21)	732	0.032 (0.13)	720	0.026 (0.071)	678	0.047 (0.15)	744	0.041 (0.13)	720	0.031 (0.15)	732	0.036 (0.080)	720	0.039 (0.13)	744						
15	藤相馬市 置 <small>おき</small> イ <small>い</small> ッ <small>つ</small> 池 <small>いけ</small>	全アルファ 放射能	0.019 (0.12)	720	0.022 (0.14)	744	0.012 (0.089)	720	0.007 (0.049)	744	0.019 (0.10)	744	0.017 (0.11)	720	0.012 (0.081)	744	0.016 (0.068)	672	0.023 (0.091)	744						
		全ベータ 放射能	0.079 (0.40)	720	0.088 (0.47)	744	0.055 (0.31)	720	0.040 (0.16)	744	0.076 (0.33)	744	0.069 (0.35)	720	0.056 (0.27)	744	0.071 (0.23)	672	0.091 (0.30)	744						
16	飯館村 伊 <small>い</small> ッ <small>つ</small> 丹 <small>に</small> 次 <small>じ</small>	全アルファ 放射能	0.011 (0.10)	720	0.017 (0.12)	744	0.009 (0.074)	720	0.006 (0.031)	744	0.017 (0.084)	732	0.015 (0.089)	720	0.013 (0.12)	744	0.013 (0.062)	702	0.011 (0.062)	744						
		全ベータ 放射能	0.060 (0.32)	720	0.076 (0.35)	744	0.053 (0.23)	720	0.045 (0.12)	744	0.074 (0.28)	732	0.072 (0.33)	720	0.068 (0.37)	744	0.065 (0.22)	702	0.059 (0.20)	744						
17	川俣町 山 <small>やま</small> 木 <small>き</small>	全アルファ 放射能	0.014 (0.15)	720	0.022 (0.16)	744	0.011 (0.10)	720	0.006 (0.035)	744	0.019 (0.14)	732	0.016 (0.079)	720	0.015 (0.13)	744	0.015 (0.075)	720	0.012 (0.053)	744						
		全ベータ 放射能	0.071 (0.44)	720	0.095 (0.48)	744	0.062 (0.31)	720	0.049 (0.13)	744	0.087 (0.42)	732	0.078 (0.27)	720	0.077 (0.43)	744	0.078 (0.26)	720	0.069 (0.19)	744						

(注) 1 No.の欄は部分江東電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km圏内の地域







No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )																			
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>125</sup> Sb	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce								
13	葛尾村 夏湯 (連続ダストモニタ)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 9. 1 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 12. 1 ~ R2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
14	南相馬市 泉沢 (連続ダストモニタ)	R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 9. 1 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 12. 1 ~ R2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
15	南相馬市 豊浜 (連続ダストモニタ)	R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 9. 1 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 12. 1 ~ R2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
16	飯沼村 伊丹沢 (連続ダストモニタ)	R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 9. 1 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 12. 1 ~ R2. 1. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 1 ~ R1. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 1 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND













No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )																
			<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>125</sup> Sb	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce					
37	田村市 船引 (簡易型ダスト サンブラー)	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 012	ND
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 9. 2 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND*1	ND
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 12. 2 ~ R2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND
38	田村市 上移 (簡易型ダスト サンブラー)	R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 014	ND
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 012	ND
		R1. 9. 2 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 011	ND
		R1. 12. 2 ~ R2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 026	ND
		39	川内村 上川内 (簡易型ダスト サンブラー)	R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 011	ND
R1. 9. 2 ~ R1. 10. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 015	ND
R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 011	ND
R1. 11. 1 ~ R1. 12. 2	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
R1. 12. 2 ~ R2. 1. 6	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 062	ND
R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 079	ND
R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 067	ND
R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 059	ND
40	南相馬市 馬場 (簡易型ダスト サンブラー)			R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R1. 9. 2 ~ R1. 10. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 097	ND
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 050*2	ND
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 035	ND
		R1. 12. 2 ~ R2. 1. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 014	ND



5-2-3 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	檜葉町 繁岡	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5.2	0.73	大気中水分量 (g/m <sup>3</sup> ) 7.1
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	4.3	0.42	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	10	0.73	14
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	16
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	10	0.60	17
		R1. 9. 2 ~ R1.10. 1	10	0.62	17
		R1.10. 1 ~ R1.11. 1	5.9	0.41	15
		R1.11. 1 ~ R1.12. 2	3.6	0.49	7.3
		R1.12. 2 ~ R2. 1. 6	2.4	0.48	5.0
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	3.6	0.52	6.9
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	6.5	0.63	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	10	0.71	14
2	富岡町 富岡	R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	ND	ND	17
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	14	0.75	18
		R1. 9. 2 ~ R1.10. 1	8.4	0.46	18
		R1.10. 1 ~ R1.11. 1	6.3	0.48	13
		R1.11. 1 ~ R1.12. 2	3.9	0.55	7.0
		R1.12. 2 ~ R2. 1. 6	3.0	0.58	5.2
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5.3	0.75	7.1
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	10	1.0	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	12	0.80	15
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	11	0.57	19
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	18	0.82	22
		R1. 9. 2 ~ R1.10. 1	12	0.71	18
3	大熊町 大野	R1.10. 1 ~ R1.11. 1	7.9	0.64	12
		R1.11. 1 ~ R1.12. 2	4.0	0.56	7.1
		R1.12. 2 ~ R2. 1. 6	2.6	0.51	5.1

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
4	大熊町 おつと さん 沢	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7 <sup>*1</sup>	42	6.0	大気中水分量 (g/m <sup>3</sup> ) 6.9
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3 <sup>*1</sup>	29	2.8	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1 <sup>*1</sup>	59	5.7	10
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1 <sup>*1</sup>	57	5.0	11
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2 <sup>*1</sup>	41	3.9	10
		R1. 9. 2 ~ R1.10. 1 <sup>*1</sup>	43	3.9	11
		R1.10. 1 ~ R1.11. 1 <sup>*1</sup>	50	4.4	11
		R1.11. 1 ~ R1.12. 2 <sup>*1</sup>	38	4.6	8.3
		R1.12. 2 ~ R2. 1. 6	20	4.1	5.0
		H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	26	3.5	7.5
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	47	4.3	11
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	46	2.7	17
5	双葉町 こおのり さん 山	R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	45	2.2	20
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	56	2.5	23
		R1. 9. 2 ~ R1.10. 1	25	1.3	19
		R1.10. 1 ~ R1.11. 1	16	1.1	14
		R1.11. 1 ~ R1.12. 2	9.7	1.2	7.9
		R1.12. 2 ~ R2. 1. 6	6.3	1.1	5.7

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 検出限界値はおおむね5mBq/m<sup>3</sup>以下

4 \*1 平成31年4月3日～6月3日のいずれかの時点で大気導入配管内結露水トラップの破損が発生し、同年11月19日に交換するまでの期間中、局舎内大

気を吸引していたため、参考値とする。









試料名	種類 又は 部位	採取地点番号 及び採取地名	採取 年月日	単位	全 <sup>α,γ</sup> - 放射能 濃度	核 種 濃 度															天然 核種																													
						<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>59</sup> Fe	<sup>60</sup> Co	<sup>90</sup> Zr	<sup>93</sup> Nb	<sup>100</sup> Ru	<sup>125</sup> Sb	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Co	<sup>3</sup> H	<sup>131</sup> I	<sup>89</sup> Sr		<sup>90</sup> Sr	<sup>237</sup> Pu	<sup>239,240</sup> Pu	<sup>241</sup> Am	<sup>241</sup> Am																								
土壌	土壌	いわき市 久之浜 田村市 古道 広野町 下北迫 檜葉町 波書 富岡町 小浜 川内村 上川内 大塚町 天沢 双葉町 郡山 浪江町 北浅沼 葛尾村 相原 樽相馬市 蒲尻 樽相馬市 馬場 飯盛村 飯平 飯盛村 長尾 川俣町 山本屋	RI. 5. 7	Bq/kg乾	/	<sup>51</sup> Cr	ND	<sup>54</sup> Mn	ND	<sup>58</sup> Co	ND	<sup>59</sup> Fe	ND	<sup>60</sup> Co	ND	<sup>90</sup> Zr	ND	<sup>93</sup> Nb	ND	<sup>100</sup> Ru	ND	<sup>125</sup> Sb	ND	<sup>137</sup> Cs	29	<sup>137</sup> Cs	360	<sup>144</sup> Co	ND	<sup>3</sup> H	/	<sup>131</sup> I	/	<sup>89</sup> Sr	/	<sup>90</sup> Sr	0.63	<sup>237</sup> Pu	ND	<sup>239,240</sup> Pu	0.02	<sup>241</sup> Am	ND	<sup>241</sup> Am	ND	500				
			RI. 11. 7		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.1	63	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	690						
			RI. 5. 7		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	69	840	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	710			
			RI. 11. 21		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	51	820	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	730		
			RI. 5. 7		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	42	540	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	660	
			RI. 11. 7		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	44	670	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	550	
			RI. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	76	950	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	530	
			RI. 11. 13		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	39	620	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	430	
			RI. 5. 20		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	130	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	260	
			RI. 11. 13		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18	270	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	250	
			RI. 5. 23		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50	660	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	880
			RI. 11. 21		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	53	790	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	970
			RI. 5. 13		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	20,000	250,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	490	
			RI. 11. 5		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11,000	160,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	490
			RI. 5. 13		/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2,500	32,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	330
RI. 11. 19	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2,300	36,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	340				
RI. 5. 14	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	80	1100	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	360				
RI. 11. 6	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	51	790	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	340			
RI. 5. 23	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2,200	28,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	750			
RI. 11. 20*2	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7. 7	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	560			
RI. 5. 14	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	67	950	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	360				
RI. 11. 6	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	220	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	380				
RI. 5. 14	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	810	10,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	750				
RI. 12. 11*3	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	310	4,900	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	290				
RI. 5. 8	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	260	3,600	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	760				
RI. 11. 18	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	260	4,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	750					
RI. 5. 8	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1,900	24,000	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	650				
RI. 11. 18*3	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	400	6,100	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	560				
RI. 5. 8	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	730	9,200	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	540				
RI. 11. 18	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	540	8,200	ND	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	560				











5-3 比較対照地点

5-3-1 空間線量率 (比較対照地点)

No.	測定地点名	測定年月		H31.4		R1.5		6		7		8		9		10		11		12		R2.1		2		3		
		測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	
																												線量率
1	福島市 紅葉山 <sup>*1</sup>	70 (81)	720	70 (92)	744	69 (100)	720	66 (83)	742	68 (92)	744	67 (78)	720	69 (81)	287	117 (128)	441	119 (140)	720	117 (135)	744							
	福島市 紅葉山 <sup>*2</sup>																											
2	郡山市 日和田	123 (136)	720	124 (137)	744	123 (151)	720	119 (133)	744	124 (149)	740	121 (141)	720	120 (138)	741	120 (138)	741	120 (128)	720	119 (140)	744							
3	いわき市 白根	61 (74)	720	61 (71)	744	61 (84)	720	61 (74)	744	62 (81)	738	62 (84)	720	62 (82)	744	62 (82)	744	61 (68)	718	62 (74)	744							

(注) \*1 10月12日以降は令和元年台風第19号に伴う河川増水による局舎増水による局舎増水のため欠測  
\*2 10月13日より紅葉山局から南西に約200mの場所で可搬型モニタリングポストにより代替測定







5-3-3 大気中水分のトリチウム濃度 (比較対照地点)

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	福島市 方 <sup>ほう</sup> 木 <sup>き</sup> 田 <sup>だ</sup>	H31. 4. 1 ~ R1. 5. 7	5. 0	0. 81	大気中水分量 (g/m <sup>3</sup> ) 6. 2
		R1. 5. 7 ~ R1. 6. 3	5. 0	0. 50	10
		R1. 6. 3 ~ R1. 7. 1	ND	ND	13
		R1. 7. 1 ~ R1. 8. 1	6. 7	0. 40	17
		R1. 8. 1 ~ R1. 9. 2	ND	ND	19
		R1. 9. 2 ~ R1. 10. 1	ND	ND	14
		R1. 10. 1 ~ R1. 11. 1	14	1. 3	11
		R1. 11. 1 ~ R1. 12. 2	4. 0	0. 63	6. 3
		R1. 12. 2 ~ R2. 1. 6	6. 2	1. 4	4. 3

(注) 「ND」：検出限界未満  
数値は有効数字2桁にて表記





5-4 試料採取時の付帯データ集  
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H
1	いわき市	H31. 4. 11	10.1	10.0	7.5
		R1. 7. 2	29.3	21.2	7.1
		R1.10. 2	25.0	23.5	7.7
2	田村市	H31. 4. 16	13.6	12.5	7.8
		R1. 7. 11	18.4	19.2	7.9
		R1.10. 8	21.6	23.4	7.2
3	広野町	H31. 4. 11	11.2	10.5	7.6
		R1. 7. 2	24.6	19.5	7.2
		R1.10. 2	25.5	22.0	7.5
4	檜葉町	H31. 4. 11	9.2	10.2	7.1
		R1. 7. 3	24.5	21.5	7.1
		R1.10. 2	24.3	24.0	7.2
5	富岡町	H31. 4. 15	15.2	14.5	7.3
		R1. 7. 3	28.4	22.2	7.0
		R1.10. 2	24.7	23.2	7.1
6	川内村	H31. 4. 16	15.1	13.5	7.4
		R1. 7. 11	19.6	17.5	7.6
		R1.10. 8	23.2	21.9	7.4
7	大熊町	R1. 5. 14	20.1	19.0	7.2
		R1. 7. 8	20.5	21.2	7.6
		R1. 10. 9	21.4	19.6	7.6
8	双葉町	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
9	浪江町	H31. 4. 15	19.1	18.9	7.6
		R1. 7. 4	24.5	21.5	7.1
		R1.10. 9	22.4	20.7	7.5
10	葛尾村	H31. 4. 16	10.9	10.5	7.3
		R1. 7. 8	15.8	19.0	7.5
		R1.10. 8	21.0	20.0	7.1
11	南相馬市	H31. 4. 15	16.1	13.0	7.2
		R1. 7. 4	23.4	23.9	7.1
		R1.10. 9	19.8	20.8	7.4
12	飯舘村	H31. 4. 17	20.2	12.5	7.5
		R1. 7. 10	19.4	19.8	7.5
		R1.10. 8	19.5	21.2	6.8
13	川俣町	H31. 4. 17	20.6	11.1	7.3
		R1. 7. 10	18.4	18.3	7.5
		R1.10. 8	19.2	20.4	6.9

## 2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H	C $\ell$ <sup>-</sup> (‰)
1	第一(発)南放水口付近	H31. 4. 17	12.0	9.6	7.9	19.2
		R1. 5. 10	21.0	11.3	8.1	19.1
		R1. 6. 4	16.0	10.8	7.9	18.6
		R1. 7. 2	25.5	20.2	8.2	16.7
		R1. 8. 1	27.5	21.3	8.1	18.6
		R1. 9. 20	22.0	23.2	8.0	16.4
		R1. 10. 2	25.0	23.0	8.1	17.2
		R1. 11. 21	12.0	15.2	8.2	19.0
		R1. 12. 11	12.5	12.7	8.0	18.2
2	第一(発)北放水口付近	H31. 4. 17	11.5	9.9	7.9	18.9
		R1. 5. 10	22.0	11.4	8.1	18.4
		R1. 6. 4	16.0	10.9	7.9	18.6
		R1. 7. 2	23.5	20.1	8.1	16.9
		R1. 8. 1	28.5	21.7	8.1	18.3
		R1. 9. 20	21.8	23.0	7.9	18.1
		R1. 10. 2	25.0	23.3	8.1	17.4
		R1. 11. 21	11.5	15.3	8.2	19.4
		R1. 12. 11	12.1	12.8	8.0	18.6
3	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	H31. 4. 17	12.5	10.0	7.9	18.4
		R1. 5. 10	22.0	11.6	8.1	18.2
		R1. 6. 4	16.0	11.1	8.0	18.4
		R1. 7. 2	23.0	19.8	8.1	16.9
		R1. 8. 1	28.5	20.7	8.0	18.2
		R1. 9. 20	22.9	23.2	7.9	17.5
		R1. 10. 2	25.0	23.5	8.1	17.5
		R1. 11. 21	12.0	15.0	8.1	20.9
		R1. 12. 11	12.2	12.5	8.1	18.4
4	第一(発)沖合 2 km	H31. 4. 17	11.0	10.0	7.9	18.4
		R1. 5. 10	22.0	12.0	8.1	18.4
		R1. 6. 4	17.0	11.0	7.9	18.6
		R1. 7. 2	22.5	19.9	8.2	16.5
		R1. 8. 1	27.0	21.8	8.1	18.5
		R1. 9. 20	22.0	23.2	7.9	17.8
		R1. 10. 2	25.5	22.5	8.1	17.6
		R1. 11. 21	9.0	15.2	8.1	19.6
		R1. 12. 11	12.0	13.1	8.0	17.9
5	夫沢・熊川沖 2 km	H31. 4. 17	11.0	9.7	7.9	19.0
		R1. 5. 10	20.0	12.5	8.1	18.5
		R1. 6. 4	17.0	11.2	7.9	18.9
		R1. 7. 2	21.5	20.2	8.2	16.5
		R1. 8. 1	26.0	21.6	8.0	18.3
		R1. 9. 20	21.0	23.0	7.9	18.0
		R1. 10. 2	26.0	22.9	8.1	18.0
		R1. 11. 21	9.0	15.3	8.1	20.4
		R1. 12. 11	14.5	13.1	8.0	18.6

6	双葉・前田川沖 2 km	H31. 4. 17	11. 5	9. 9	7. 9	18. 8
		R1. 5. 10	21. 0	11. 9	8. 1	18. 6
		R1. 6. 4	17. 0	10. 8	8. 0	18. 9
		R1. 7. 2	23. 0	20. 2	8. 2	16. 3
		R1. 8. 1	28. 0	22. 2	8. 1	18. 1
		R1. 9. 20	21. 0	23. 3	8. 0	17. 8
		R1. 10. 2	25. 5	22. 9	8. 1	18. 0
		R1. 11. 21	10. 0	15. 2	8. 2	18. 0
		R1. 12. 11	11. 0	13. 1	8. 1	18. 9
7	第二(発)南放水口	R1. 5. 16	18. 0	11. 2	8. 1	19. 0
		R1. 8. 26	27. 3	24. 4	7. 9	18. 6
		R1. 11. 15	11. 3	14. 3	8. 0	18. 8
8	第二(発)北放水口	R1. 5. 16	14. 7	12. 7	8. 1	18. 8
		R1. 8. 26	26. 4	24. 2	7. 9	18. 6
		R1. 11. 15	12. 0	16. 3	8. 0	18. 5

(比較対照地点環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H
1	福島市	R1. 7. 11	26. 4	14. 5	6. 4
2	会津若松市	H31. 4. 4	12. 0	5. 5	7. 0

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	p H	C l <sup>-</sup> (‰)
1	相馬市松川浦沖	R1. 9. 4	28. 5	20. 5	7. 6	17



## 第6 参考資料

### 6-1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果（公表資料）

#### 【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近（T-2）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和2年1月30日公表資料

#### 【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、5・6号機放水口北側（T-1）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和2年1月30日公表資料

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の  
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（12月調査分）

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、海水モニタリングを定期的実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所南放水口付近（T-2）の海域1地点における、地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が0.02、放射性セシウムが不検出、トリチウムが8.6でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値及び告示濃度限度<sup>※1</sup>及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

○12月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻9時57分～17時05分、排出量1,995m<sup>3</sup>

採取日時	全ベータ放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計 <sup>※2</sup>	
12月18日 10:40	0.02 (不検出 ～0.22)	不検出 (不検出 ～0.54)	不検出 (不検出 ～1.6)	不検出 (不検出 ～2.14)	8.6 (不検出 ～8.8)

( )内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
東京電力の運用目標値	5	1	1	—	1,500
告示濃度限度 <sup>※1</sup>	30 <sup>※3</sup>	60	90	—	60,000
WHO飲料水水質ガイドライン	10 <sup>※3</sup>	10	10	—	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

## 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和2年1月30日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	南放水口付近 (T-2) (地下水排出中)	R1. 12. 18	0.02	ND (0.055)	ND (0.051)	8.6
		R1. 9. 5	0.02	ND (0.049)	ND (0.049)	ND (0.35)
		R1. 6. 20	0.02	ND (0.055)	0.059	1.9
		平成30年度	0.02~0.03	ND	ND	ND~7.9
		平成29年度	ND~0.04	ND	ND~0.13	ND~8.8
		平成28年度	0.03~0.15	ND	0.061~0.19	ND~3.0
		平成27年度	0.03~0.13	ND~0.11	0.080~0.40	ND~0.86
		平成26年度	0.04~0.22	ND~0.54	0.12~1.6	ND~3.5

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 ( ) 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

○平成30年3月採水分から、防波堤の本設化工事完了に伴い、採水地点が排出地点の北約10m地点から排出地点の南約30m地点へと変更となりました。

## 平成26年5月21日(初回排出日)以前のモニタリング結果

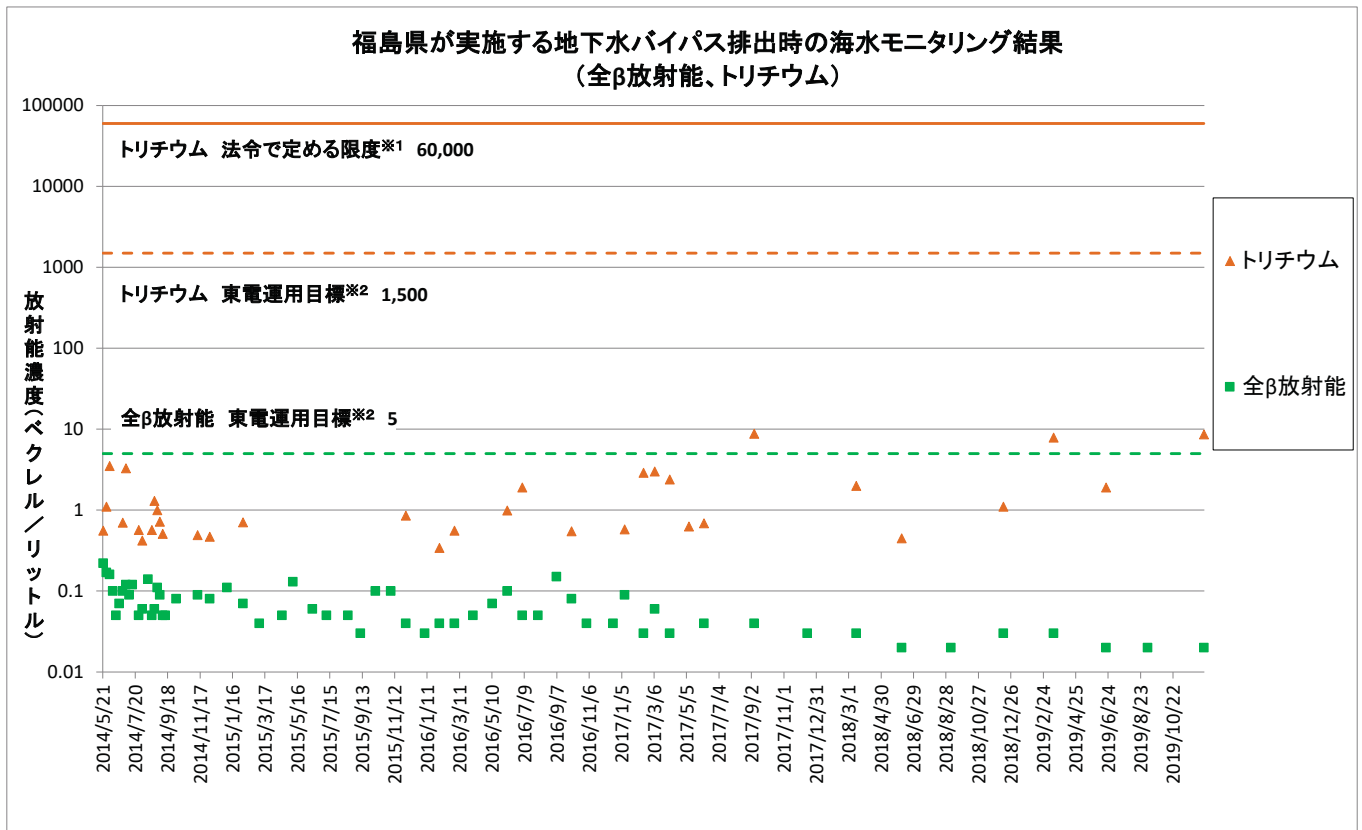
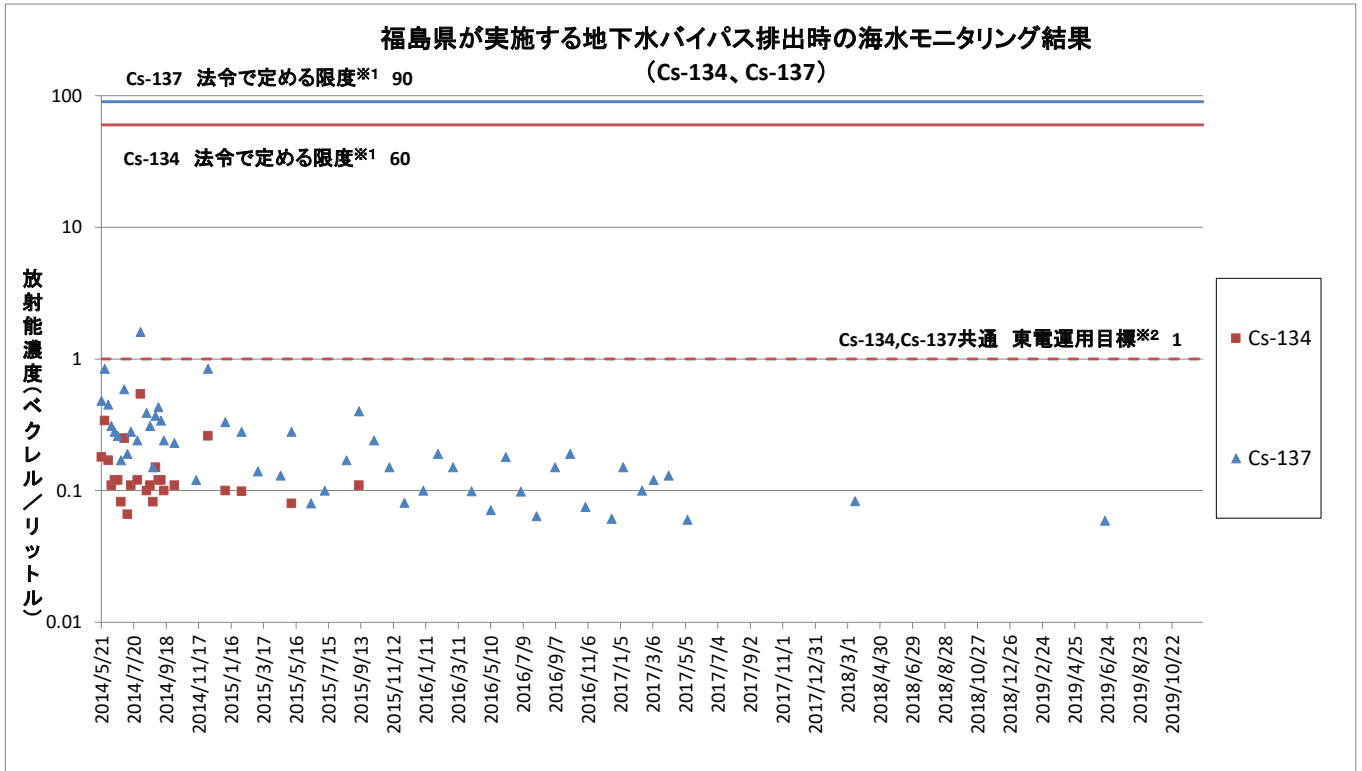
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全β放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25年度以降に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	南放水口付近 (T-2) (陸側から採取)	H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25	0.16~0.48	0.082~0.80	0.33~1.8	ND~0.69
	南放水口付近 (T-2-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27 H27. 2. 25	0.07	0.31~0.36	0.59~1.2	0.32~0.91
	南放水口付近 (F-P01) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H28. 12. 12	0.02~0.64	ND~0.35	ND~0.71	ND~2.4
(参考) 県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

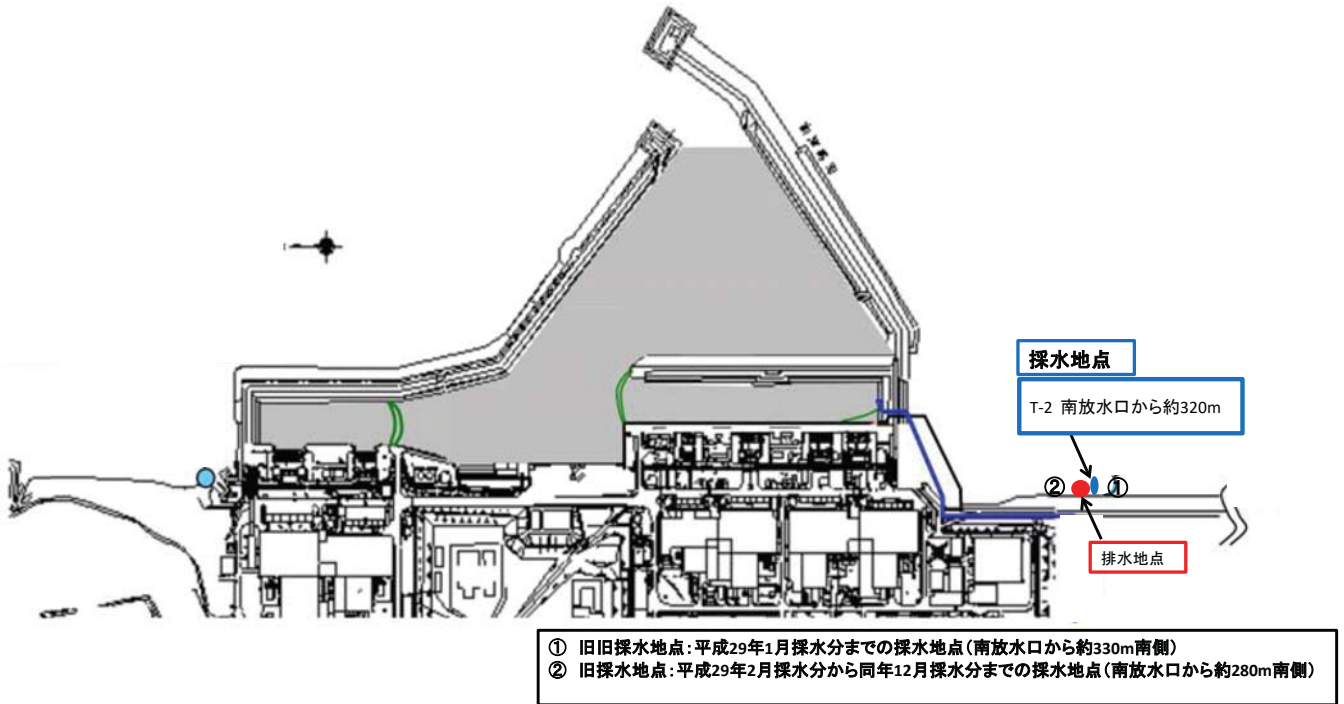
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度  
 ※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値  
 ※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。  
 平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の  
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（12月調査分）

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を継続的に監視するため、海水モニタリングを毎月の初回排出時に実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所北放水口付近（T-1）の海域1地点における、サブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が0.03、放射性セシウムが0.14、トリチウムが0.42でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値及び告示濃度限度<sup>※1</sup>及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

○12月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻10時43分～16時23分、排出量844m<sup>3</sup>

採取日時	全ベータ放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計 <sup>※2</sup>	
12月18日 11:20	0.03 (0.02 ～0.10)	不検出 (不検出 ～0.10)	0.14 (不検出 ～0.44)	0.14 (不検出 ～0.51)	0.42 (不検出 ～2.3)

( )内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

(参考)	全ベータ放射能	放射性セシウム			トリチウム
		Cs-134	Cs-137	合計	
東京電力の運用目標値	3	1	1	—	1,500
告示濃度限度 <sup>※1</sup>	30 <sup>※3</sup>	60	90	—	60,000
WHO飲料水水質ガイドライン	10 <sup>※3</sup>	10	10	—	10,000

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

## 福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和2年1月30日 福島県放射線監視室

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全ベータ 放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
海水	北放水口付近 (T-1) (処理済み水排出中)	R1. 12. 18	0.03	ND (0.053)	0.14	0.42
		R1. 9. 5	0.02	ND (0.048)	0.27	0.70
		R1. 6. 20	0.03	ND (0.055)	0.23	0.34
		平成30年度	0.02~0.04	ND	ND~0.22	ND~0.55
		平成29年度	0.02~0.04	ND~0.068	ND~0.36	ND~1.5
		平成28年度	0.04~0.10	ND~0.068	0.064~0.44	ND~2.3
		H27. 9. 14~H28. 3. 2	0.03~0.09	ND~0.10	0.14~0.41	ND~1.7

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 ( ) 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

### 平成27年9月14日(初回排出日)以前のモニタリング結果

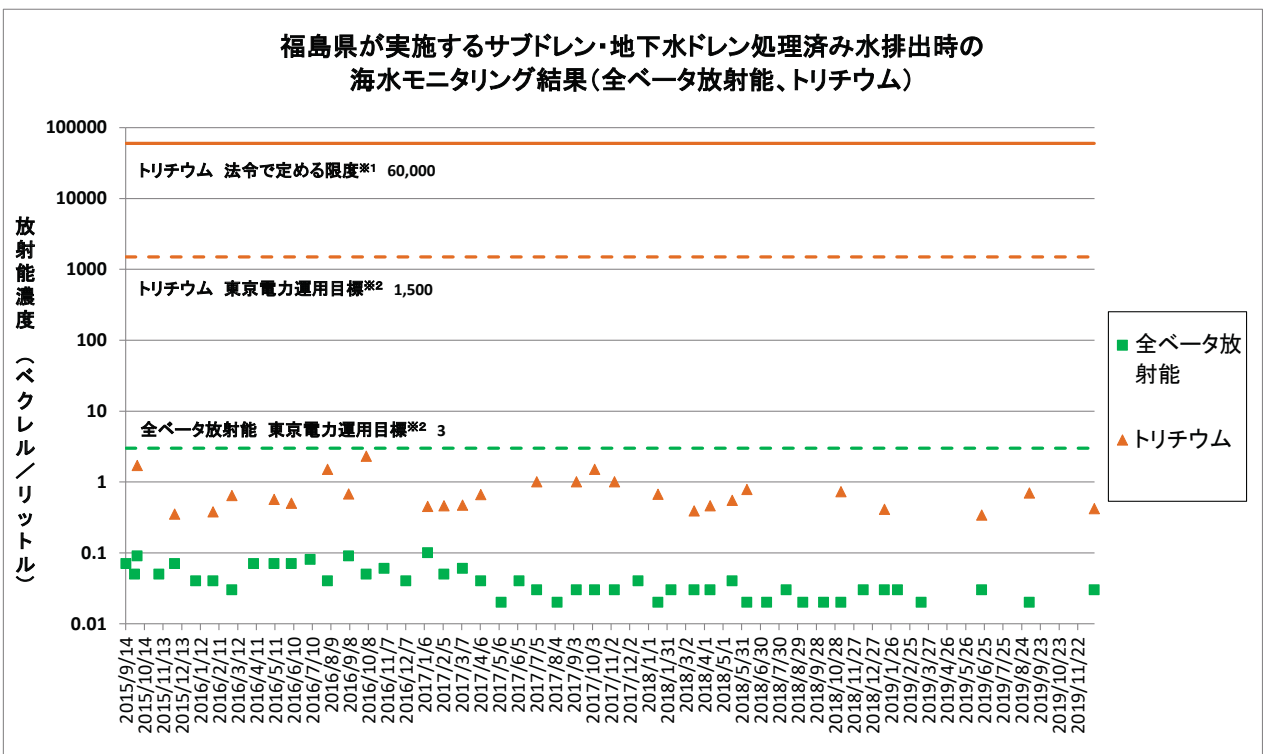
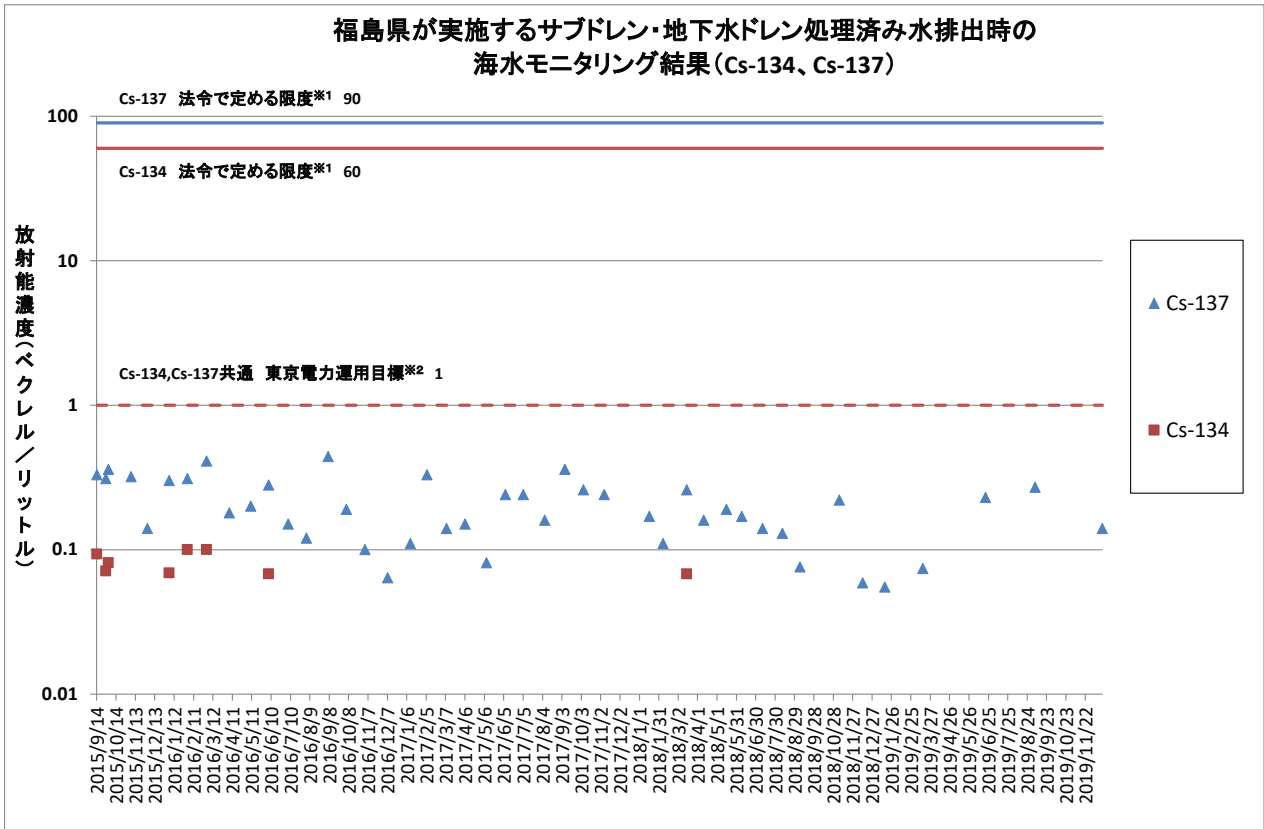
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果 (Bq/l)			
			全ベータ 放射能※	Cs-134	Cs-137	トリチウム
(参考) 県が平成25~26年 度に実施した海域 モニタリングにお ける測定値の範囲	北放水口付近 (T-1) (陸側から採取)	H25. 6. 27、H25. 9. 27 H26. 4. 4、H27. 2. 25	0.10~0.49	0.26~2.4	0.84~5.0	0.61~1.1
	北放水口付近 (F-P02) (船舶から採取)	H25. 7. 31~H27. 3. 3	0.03~0.51	ND~0.24	ND~0.56	ND~2.5
(参考) 県が測定し た原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13~22年度	ND~0.05	ND	ND~0.003	ND~2.9

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

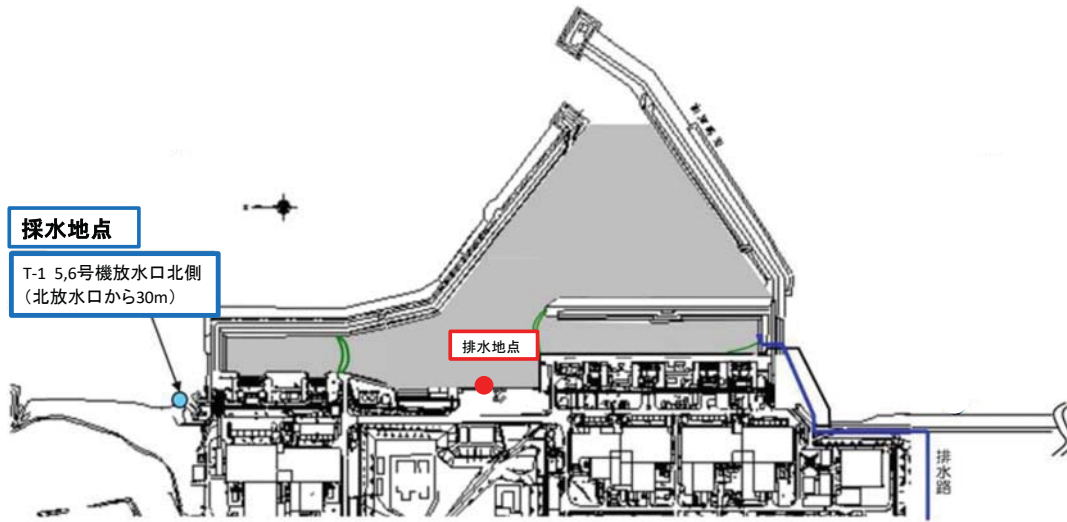
注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度  
 ※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値



採水地点及び排水地点 (東京電力資料より)



# 各地点の空間線量率等の変動グラフ

令和元年10月～令和元年12月

福島県

# 目次

## 空間線量率

1 いわき市小川	1
2 いわき市久之浜	2
3 いわき市下桶売	3
4 いわき市川前	4
5 田村市都路馬洗戸	5
6 広野町二ツ沼	6
7 広野町小滝平	7
8 檜葉町山田岡	8
9 檜葉町木戸ダム	9
10 檜葉町繁岡	10
11 檜葉町松館	11
12 檜葉町波倉	12
13 富岡町上郡山	13
14 富岡町下郡山	14
15 富岡町深谷	15
16 富岡町富岡	16
17 富岡町夜の森	17
18 川内村下川内	18
19 大熊町向畑	19
20 大熊町熊川	20
21 大熊町南台	21
22 大熊町大野	22
23 大熊町夫沢	23
24 双葉町山田	24
25 双葉町郡山	25
26 双葉町新山	26
27 双葉町上羽鳥	27
28 浪江町請戸	28
29 浪江町棚塩	29
30 浪江町浪江	30
31 浪江町幾世橋	31
32 浪江町大柿ダム	32
33 浪江町南津島	33
34 葛尾村夏湯	34
35 南相馬市泉沢	35
36 南相馬市横川ダム	36
37 南相馬市萱浜	37
38 飯舘村伊丹沢	38
39 川俣町山木屋	39

## 大気浮遊じん(推移)

1 いわき市小川	40
2 田村市都路馬洗戸	41
3 広野町小滝平	42
4 檜葉町木戸ダム	43
5 檜葉町繁岡	44
6 富岡町富岡	45
7 川内村下川内	46
8 大熊町大野	47
9 大熊町夫沢	48
10 双葉町郡山	49
11 浪江町幾世橋	50
12 浪江町大柿ダム	51
13 葛尾村夏湯	52
14 南相馬市泉沢	53
15 南相馬市萱浜	54
16 飯舘村伊丹沢	55
17 川俣町山木屋	56

## 大気浮遊じん(相関図)

1 いわき市小川	57
2 田村市都路馬洗戸	57
3 広野町小滝平	58
4 檜葉町木戸ダム	58
5 檜葉町繁岡	59
6 富岡町富岡	59
7 川内村下川内	60
8 大熊町大野	60
9 大熊町夫沢	61
10 双葉町郡山	61
11 浪江町幾世橋	62
12 浪江町大柿ダム	62
13 葛尾村夏湯	63
14 南相馬市泉沢	63
15 南相馬市萱浜	64
16 飯舘村伊丹沢	64
17 川俣町山木屋	65

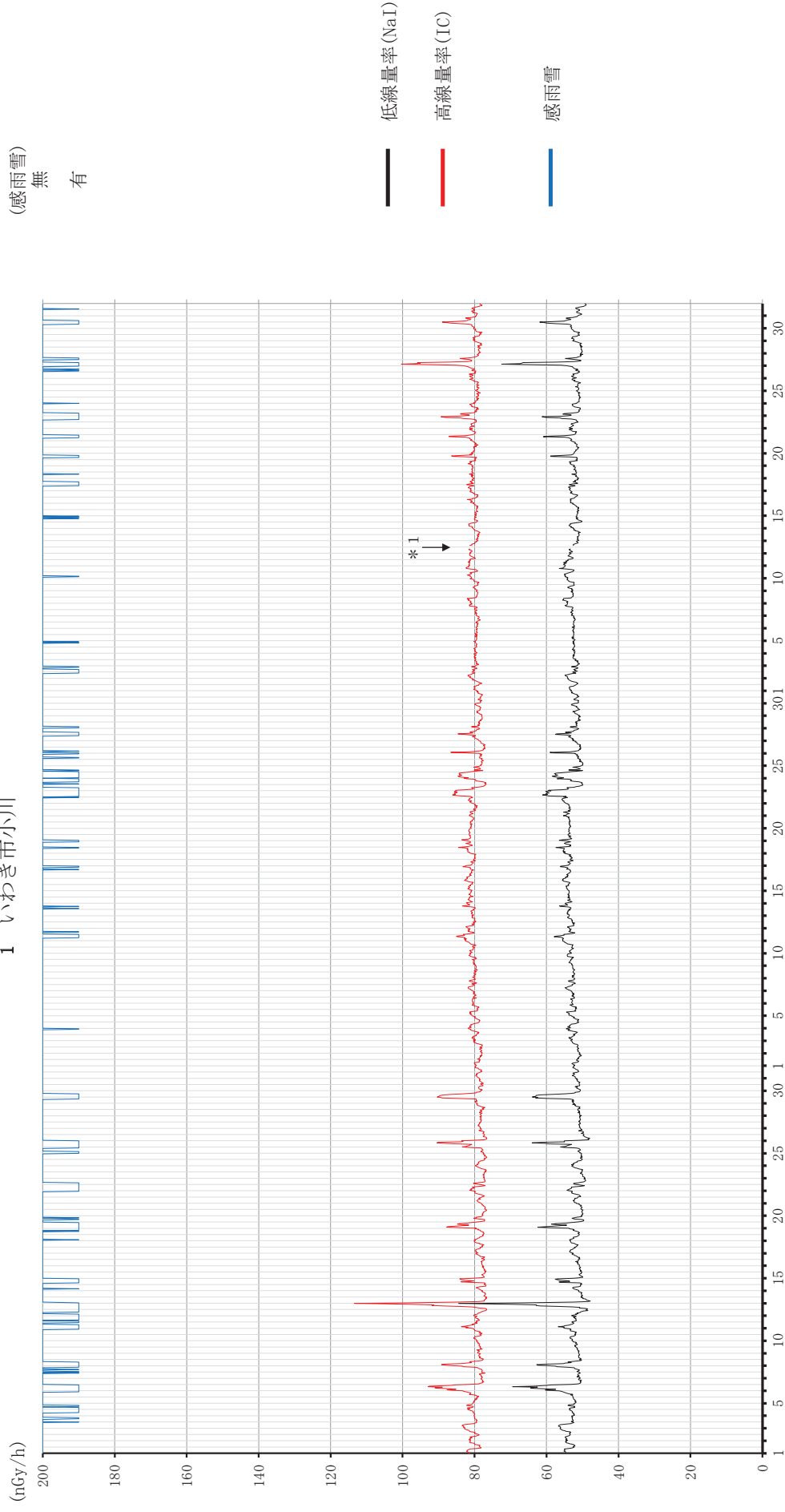
## 空間線量率(比較対照)

1-1 福島市紅葉山	66
1-2 福島市紅葉山	67
2 郡山市日和田	68
3 いわき市平	69

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

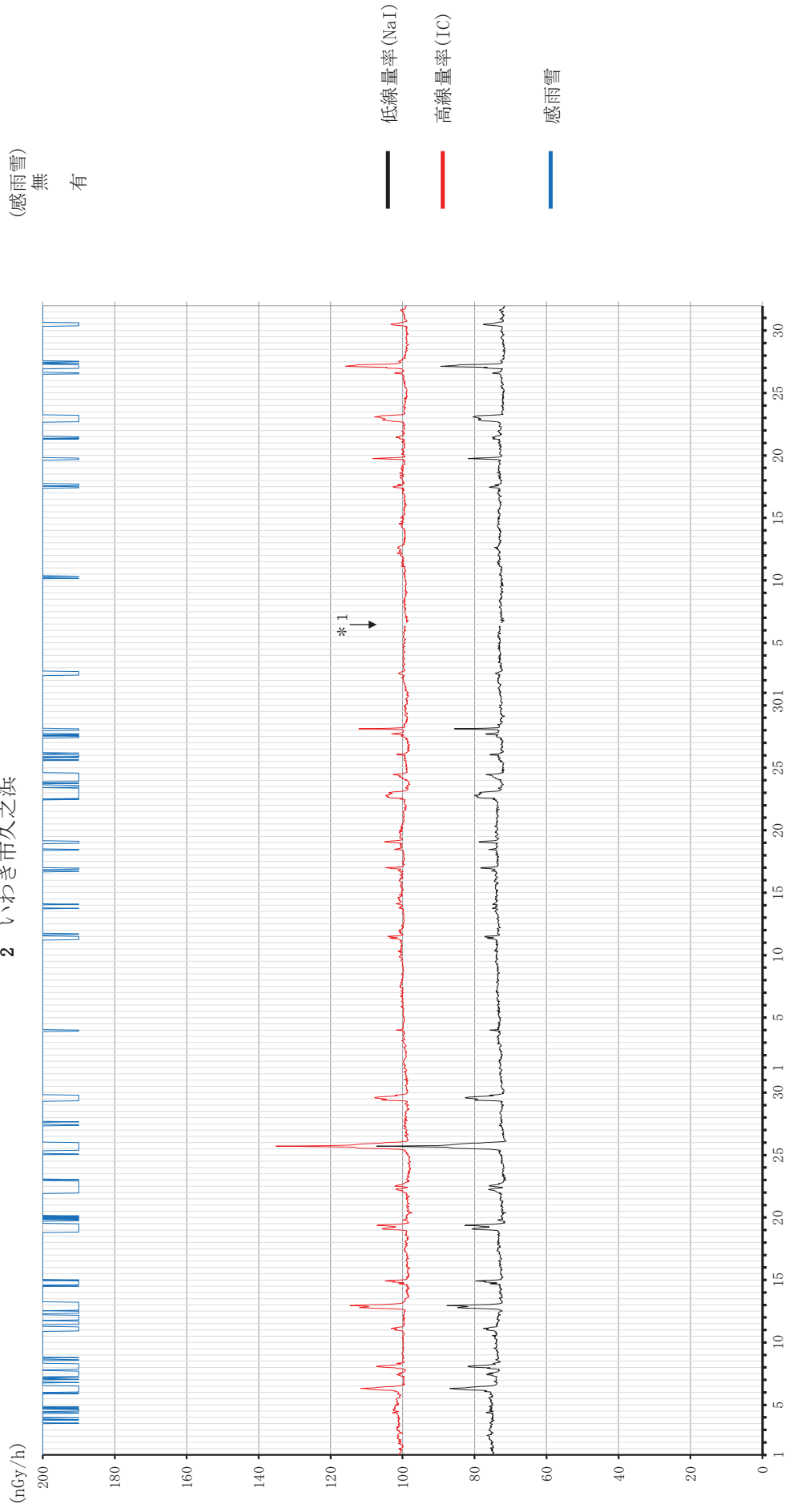
### 空間線量率の変動グラフ

#### 1 いわき市小川



### 空間線量率の変動グラフ

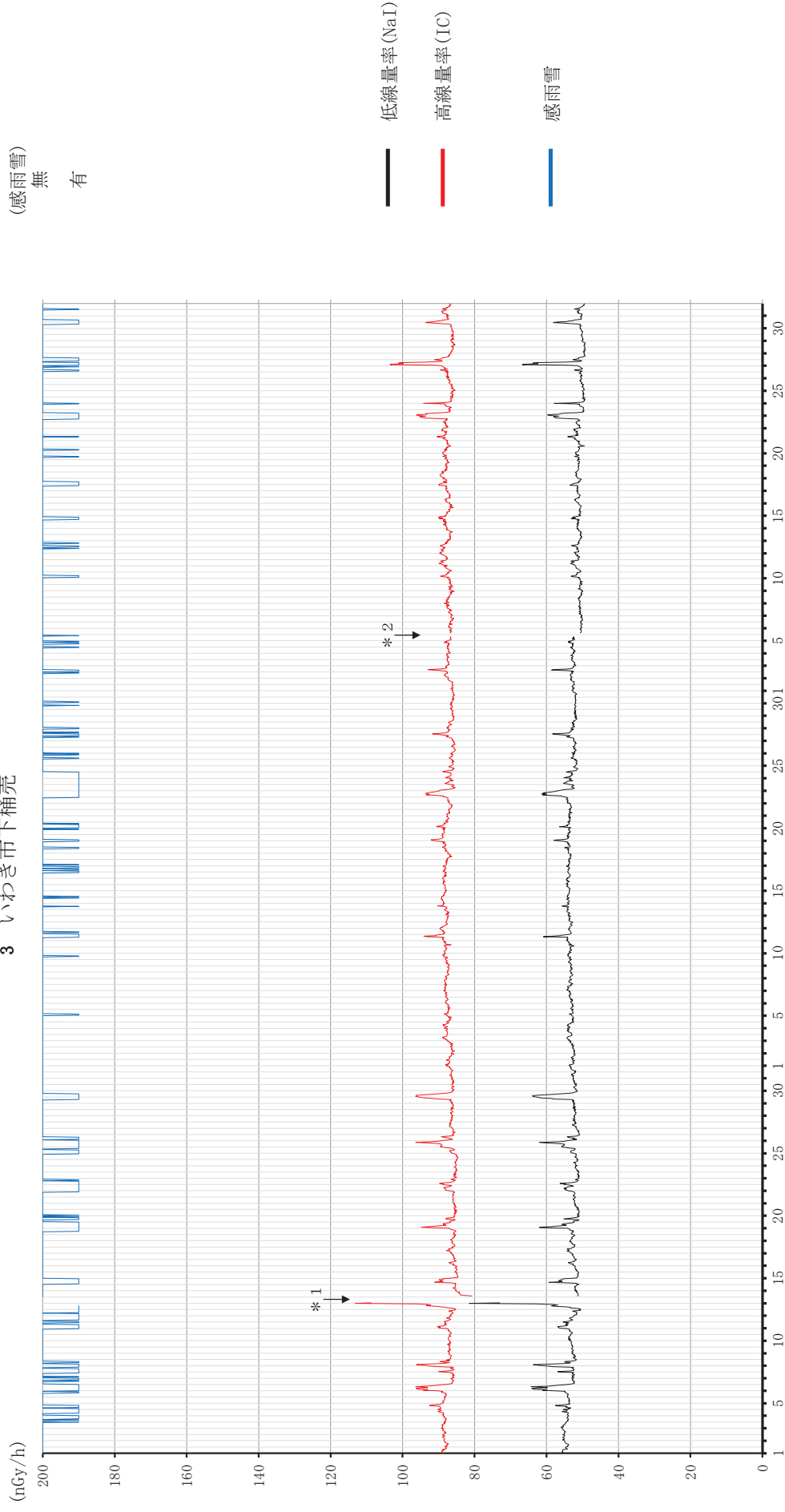
#### 2 いわき市久之浜



\* 1 12月6日は点検のため欠測

### 空間線量率の変動グラフ

#### 3 いわき市下桶売



10月

11月

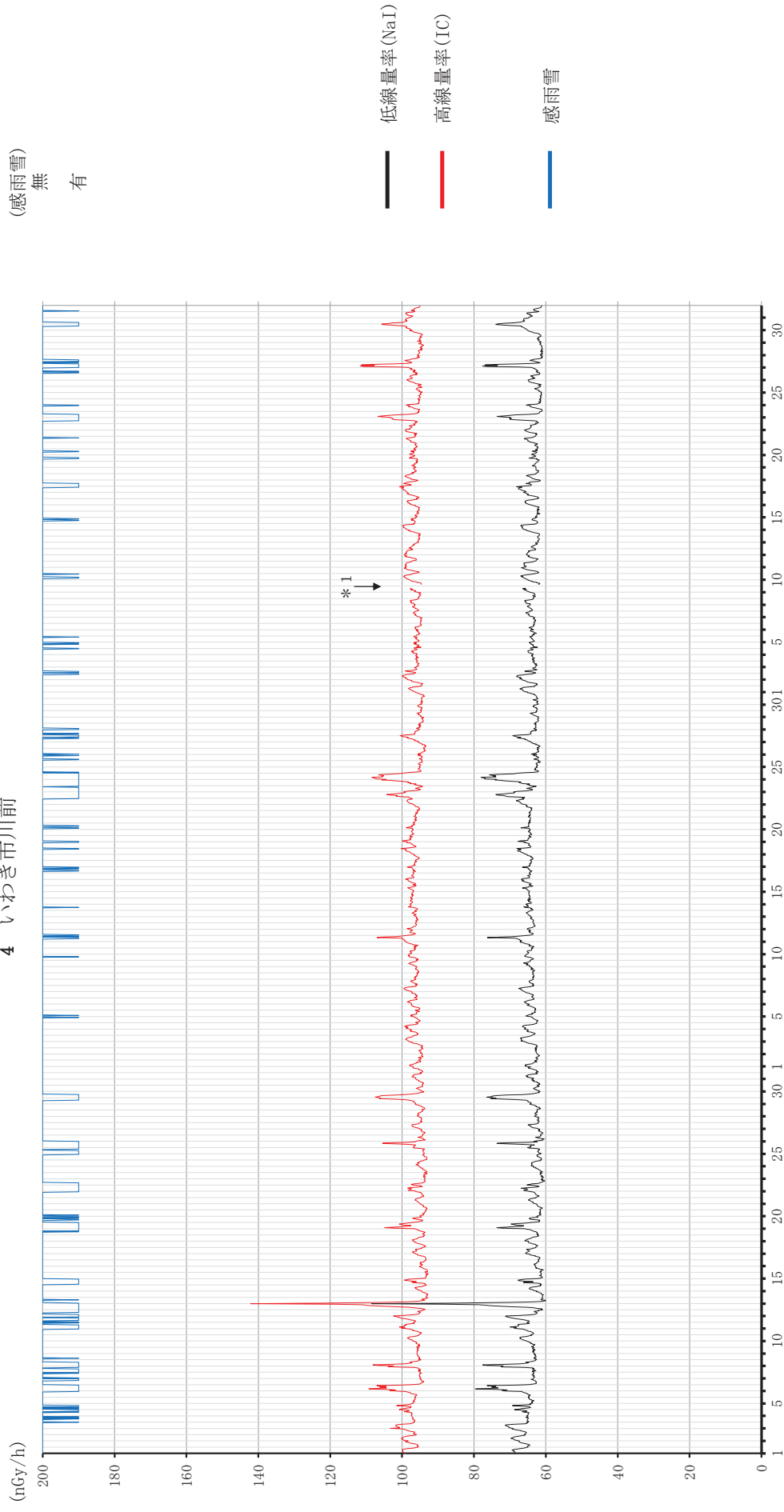
12月

\* 1 10月13日は停電のため欠測

\* 2 12月5日は点検のため欠測

### 空間線量率の変動グラフ

#### 4 いわき市川前



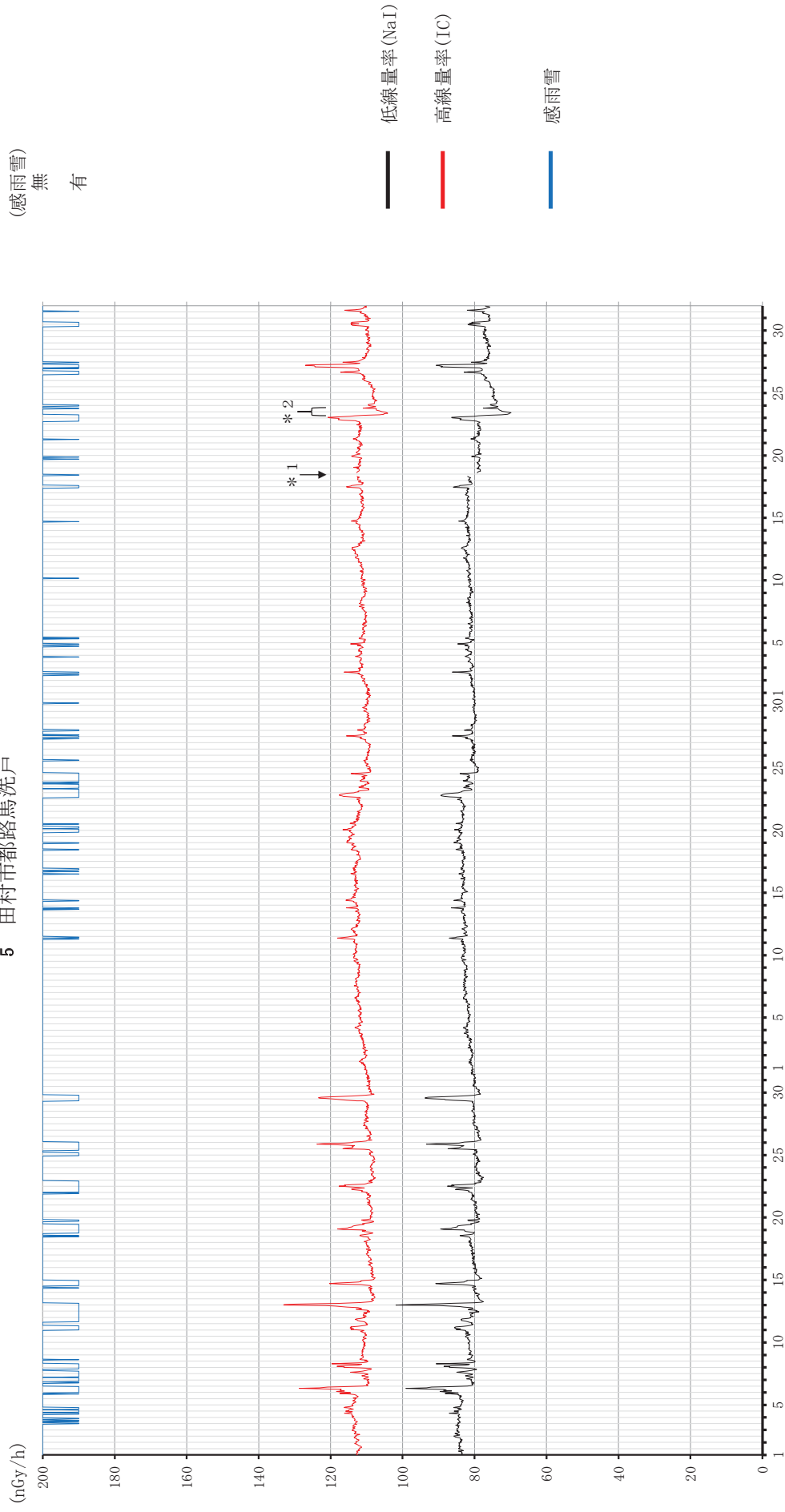
10月

11月

12月

\*1 12月9日は点検のため欠測

### 空間線量率の変動グラフ 5 田村市都路馬洗戸

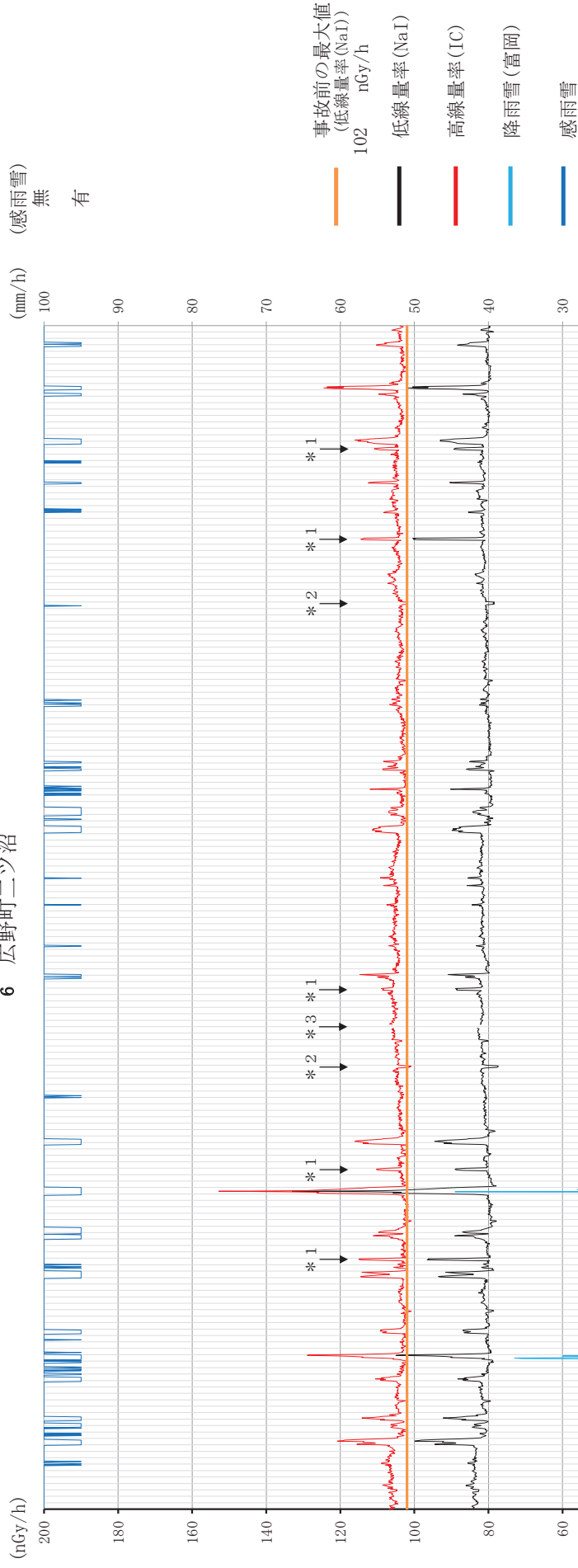


\* 1 12月18日は点検のため欠測  
\* 2 12月23日は積雪のため線量率低下



空間線量率の変動グラフ

6 広野町二ツ沼



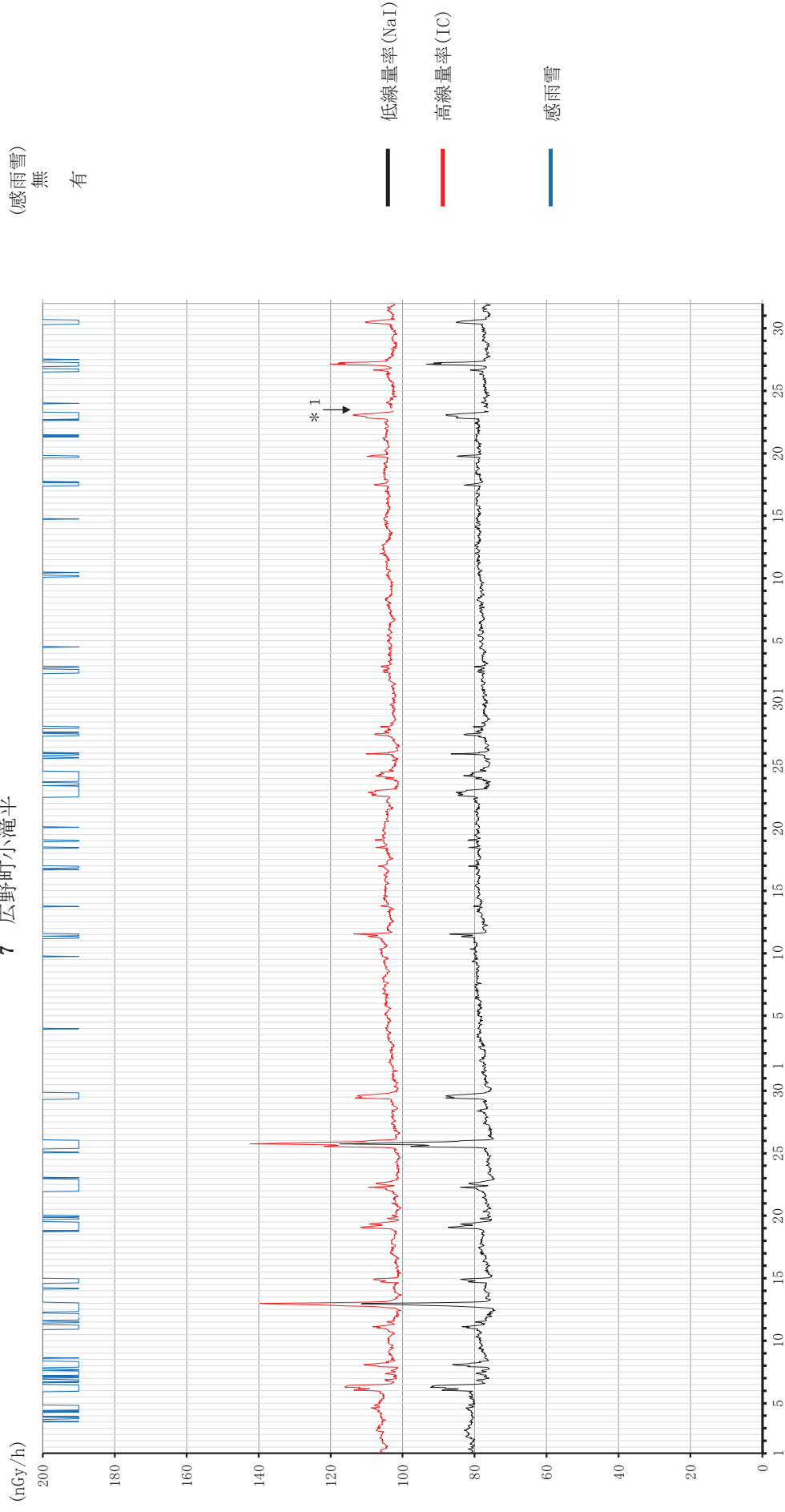
10月

11月

12月

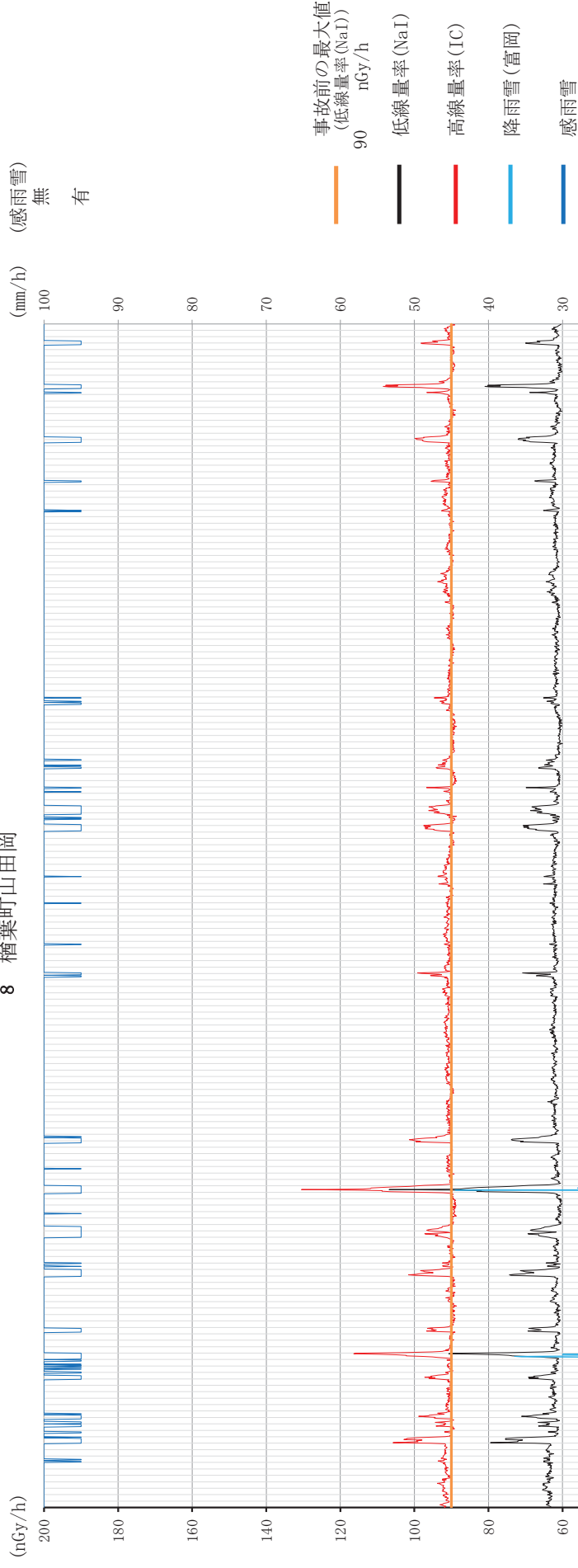
\* 1 10月20、27日、11月10日、12月15、22日は馬金岡辺への汚染車両駐車により線量率上昇  
 \* 2 11月4日、12月10日は馬金岡辺への駐車車両による遮へい効果により線量率低下  
 \* 3 11月7日は点検のため欠測

### 空間線量率の変動グラフ 7 広野町小滝平

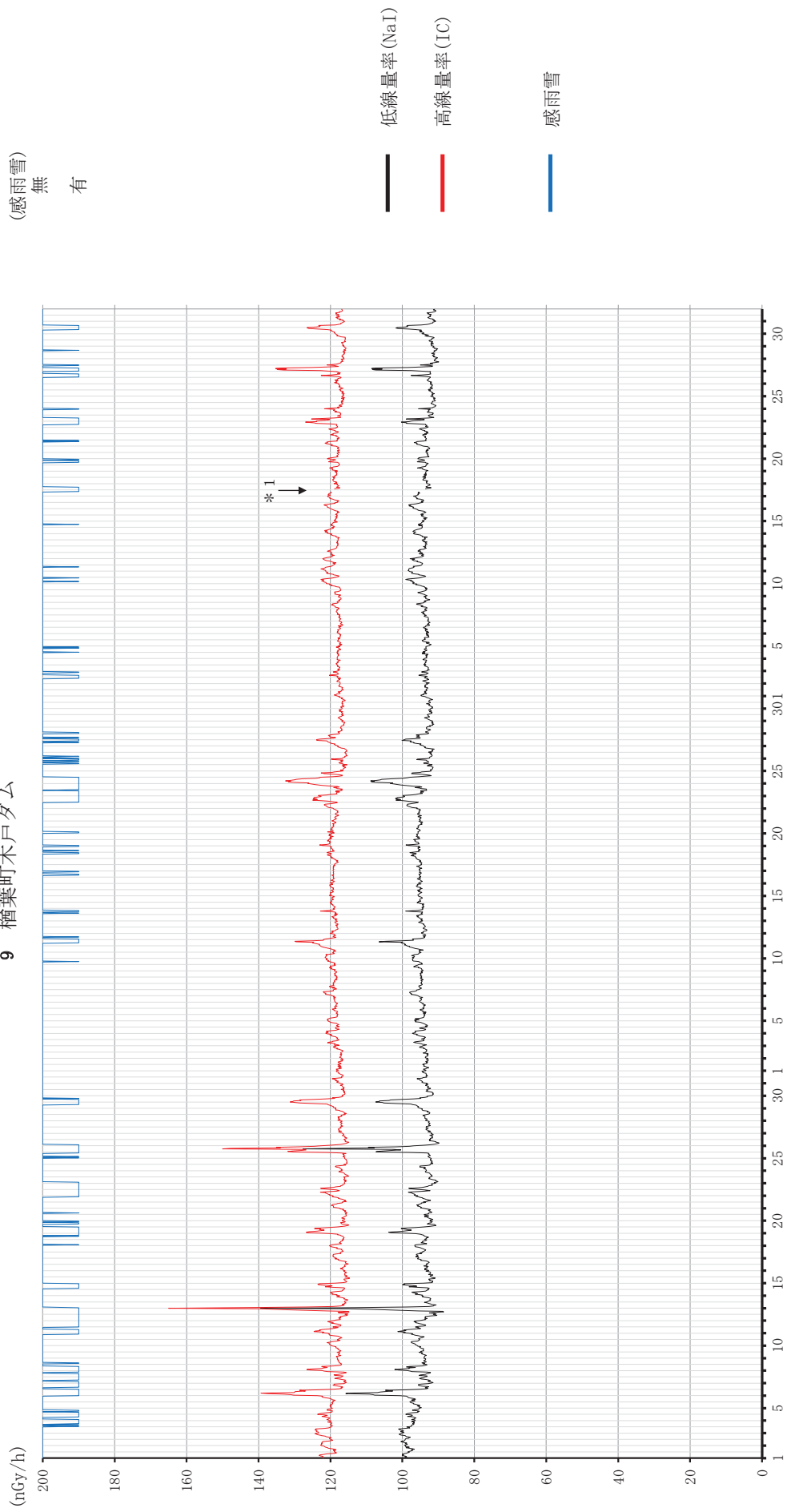


空間線量率の変動グラフ

8 榑葉町山田岡



空間線量率の変動グラフ  
9 榎葉町木戸ダム



12月

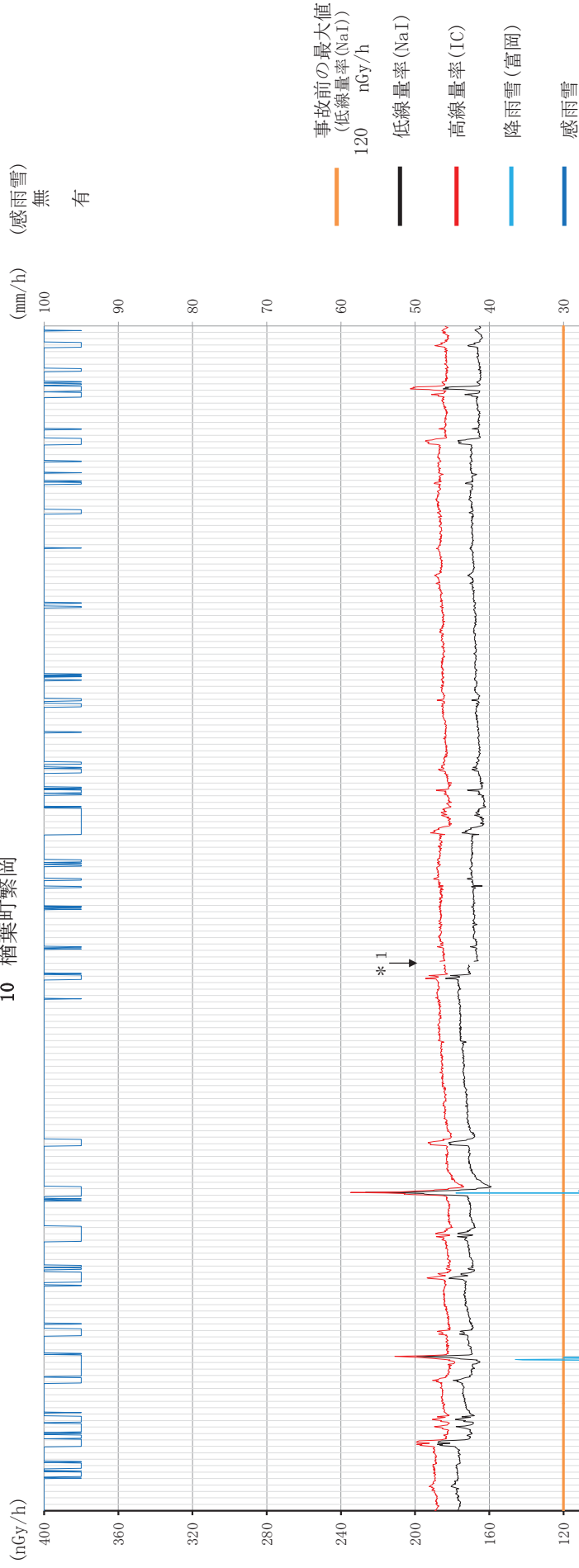
11月

10月

\* 1 12月17日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

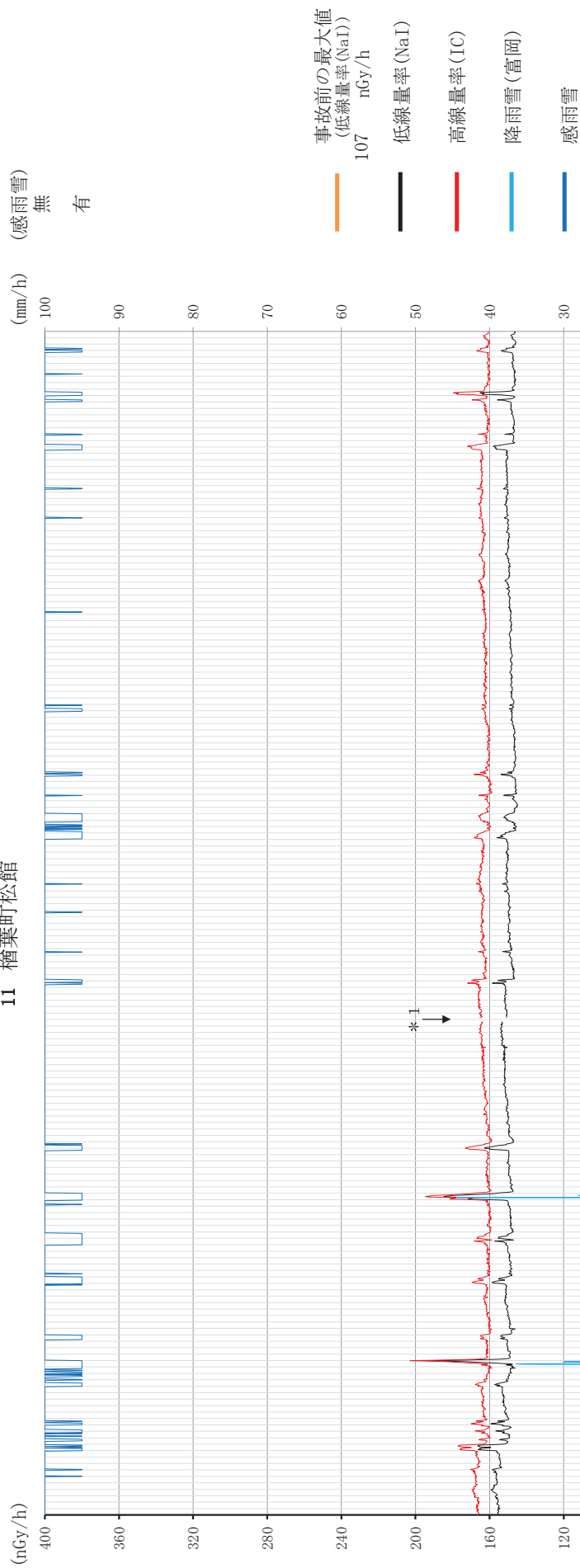
10 楡葉町繁岡



10月 11月 12月

\*1 11月12日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
11 榎葉町松館



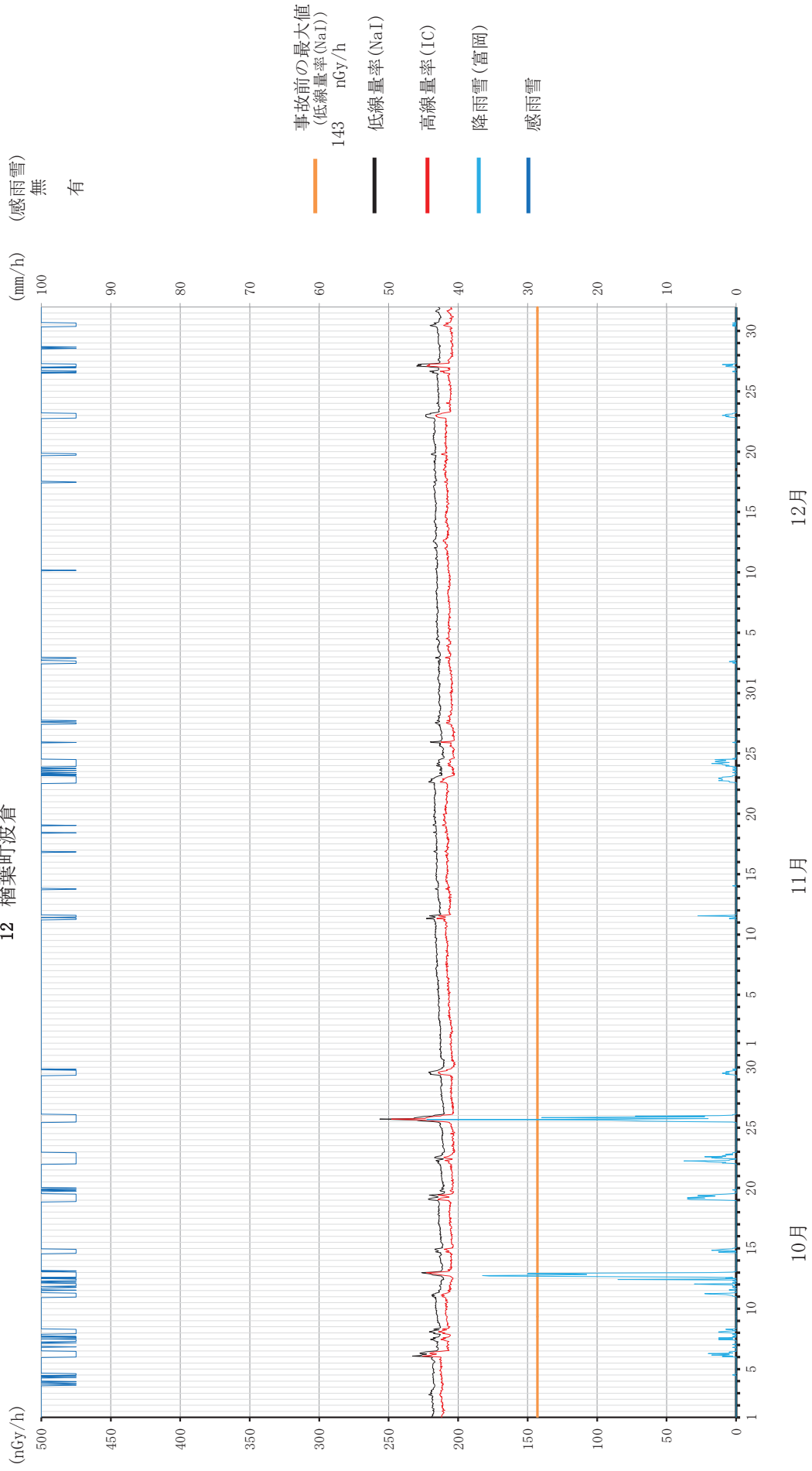
12月

11月

10月

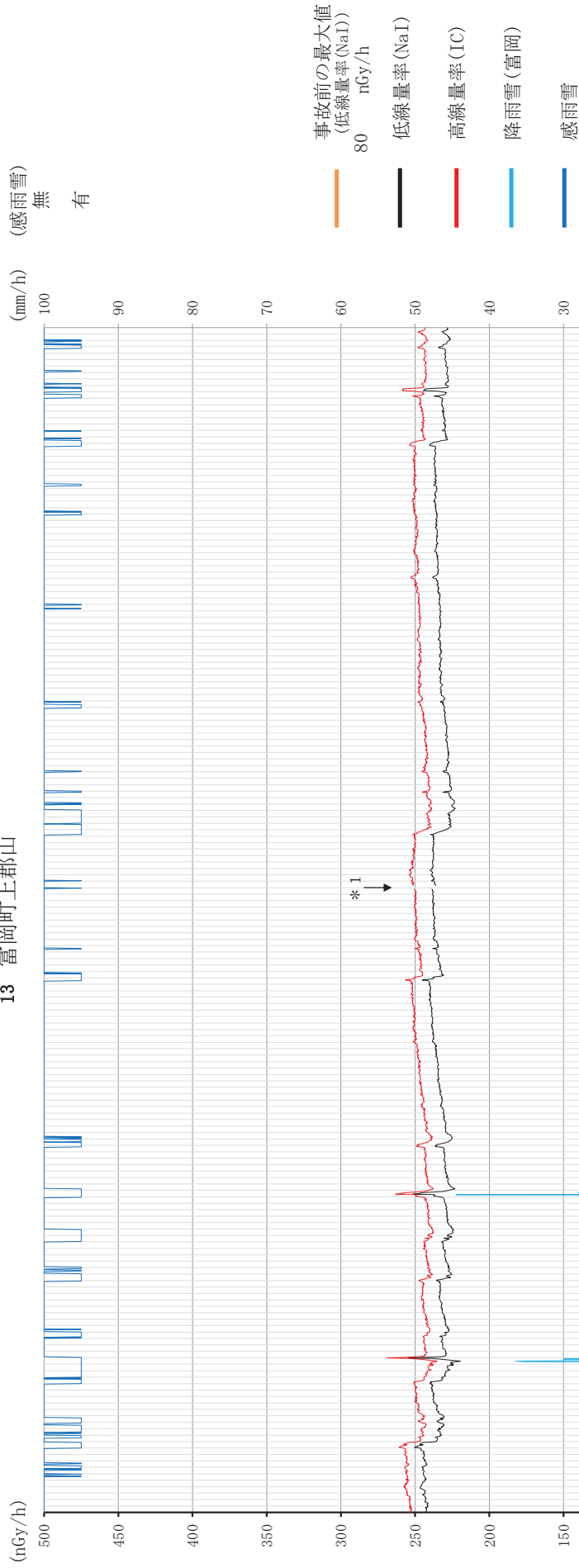
\*1 11月8日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
12 桧葉町波倉



空間線量率の変動グラフ

13 富岡町上郡山



12月

11月

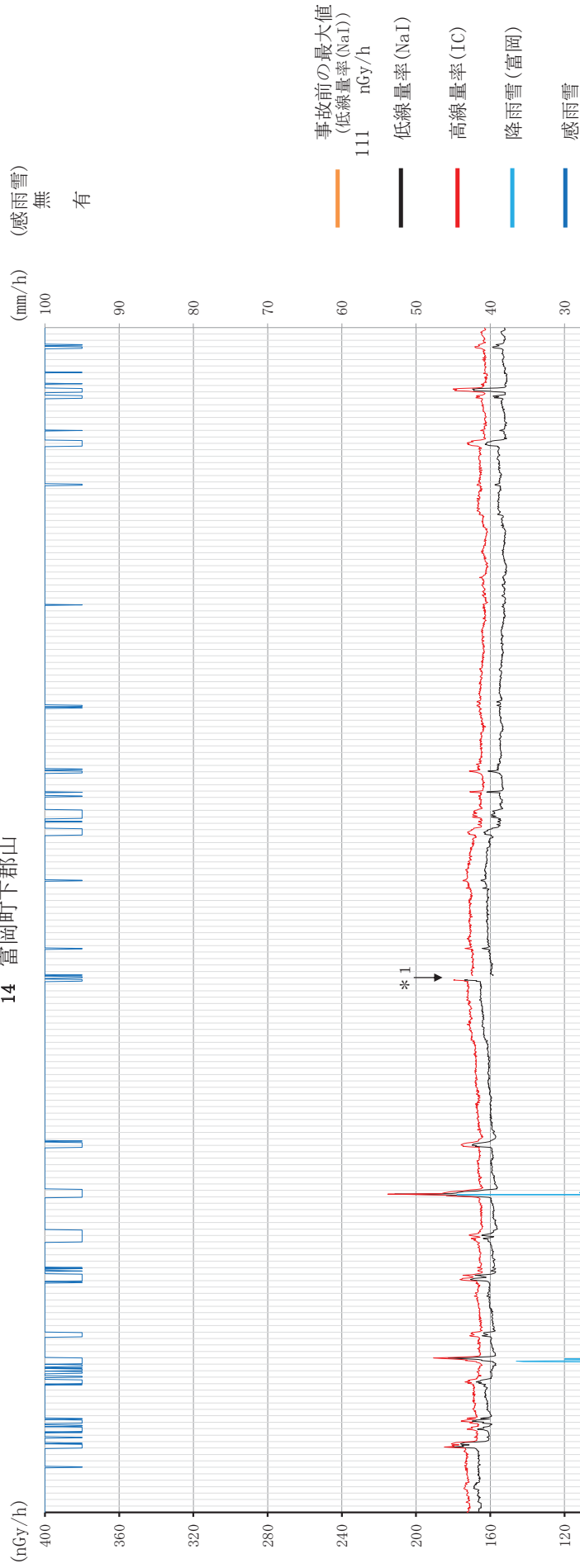
10月

\*1 11月18日は点検のため欠測



空間線量率の変動グラフ

14 富岡町下郡山



10月

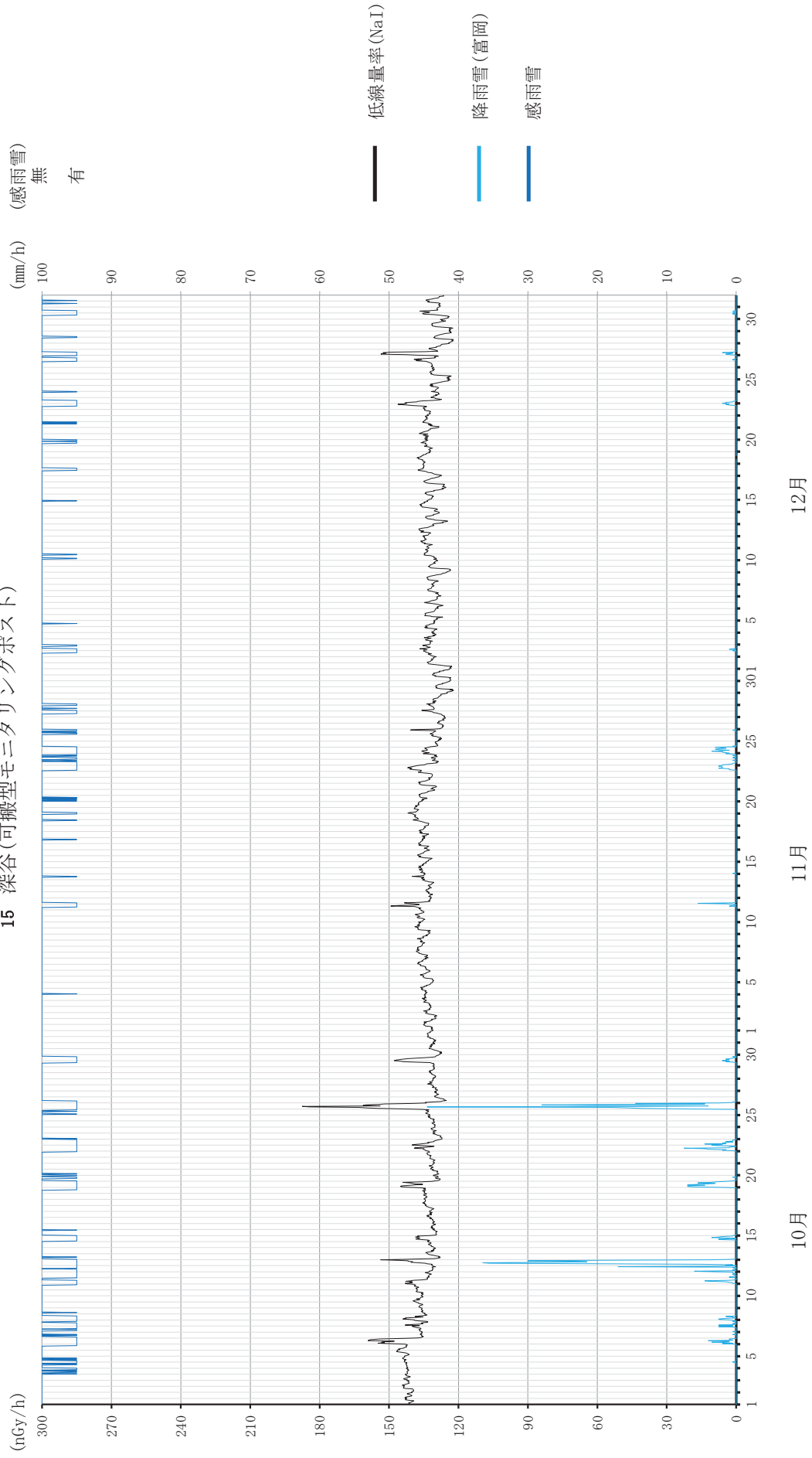
11月

12月

\*1 11月11日は点検のため欠測

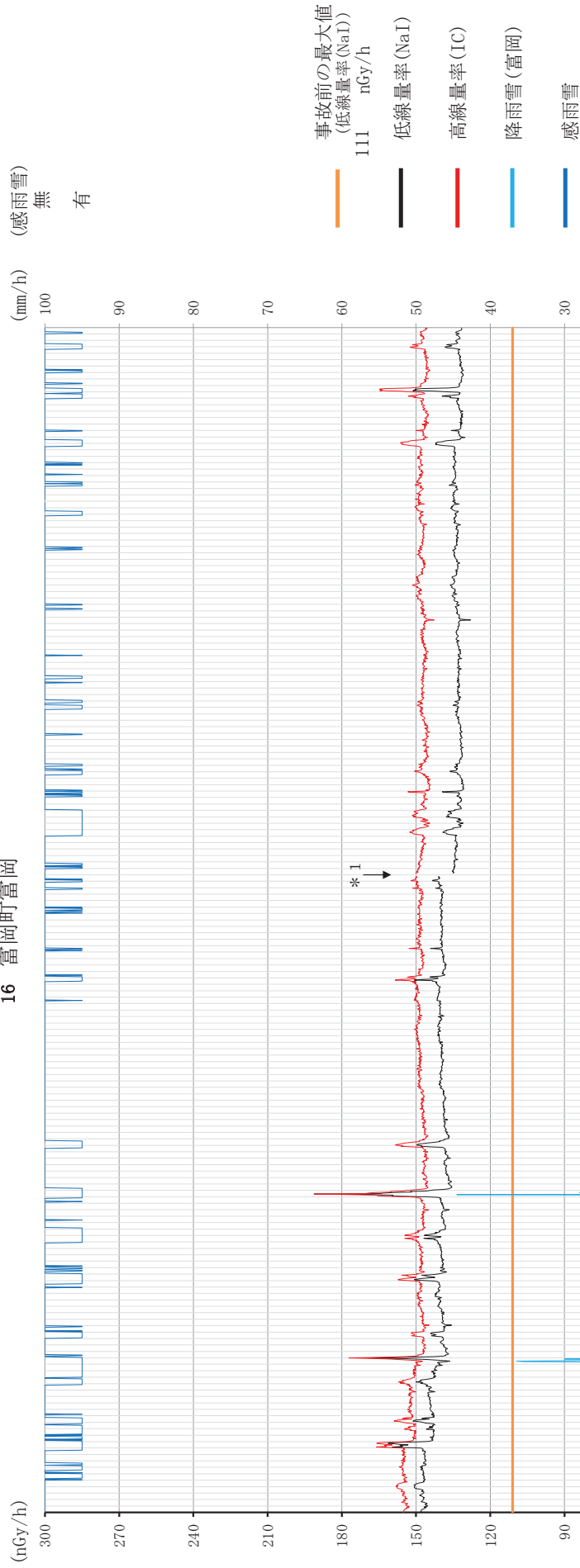
空間線量率の変動グラフ

15 深谷(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

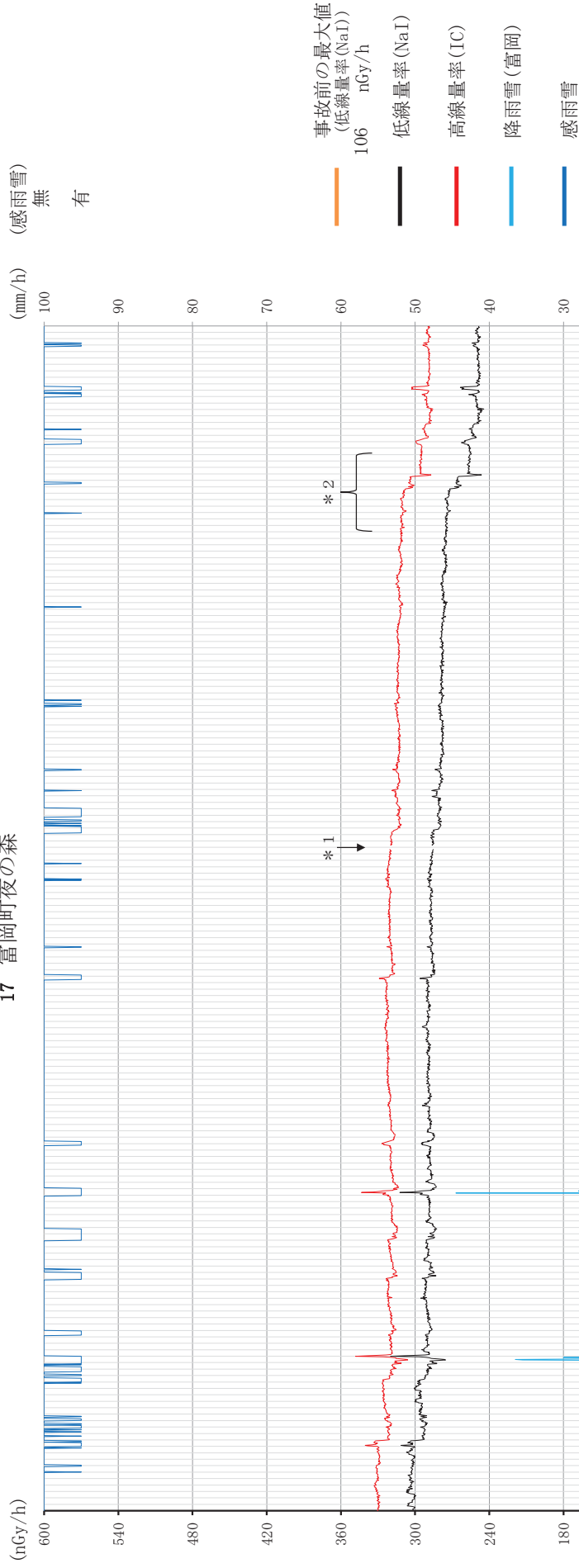
16 富岡町富岡



\*1 11月19日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

17 富岡町夜の森



10月

11月

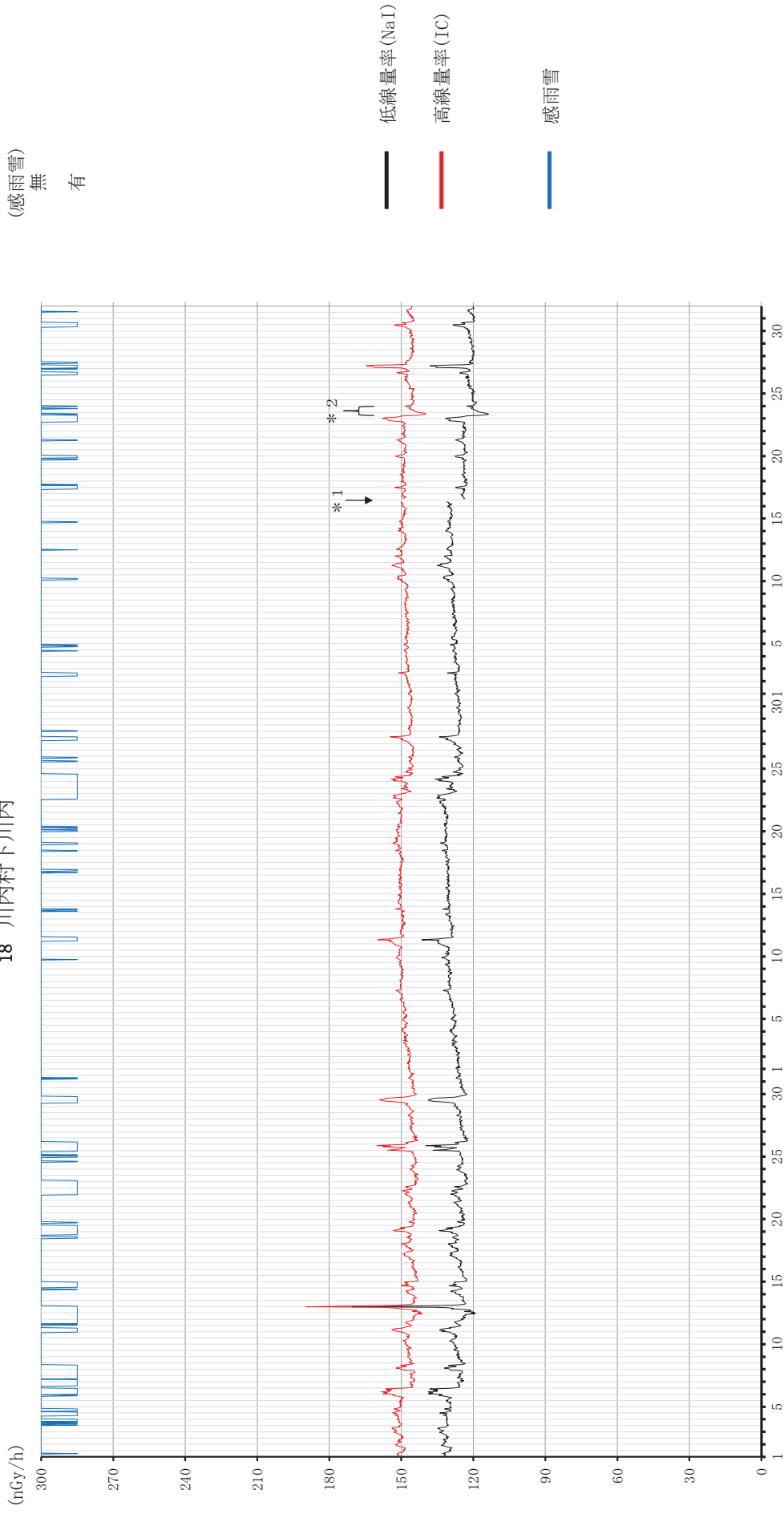
12月

\* 1 11月21日は点検のため欠測

\* 2 12月16～22日は局舎周辺の道路舗装工事による除染効果のため線量率低下

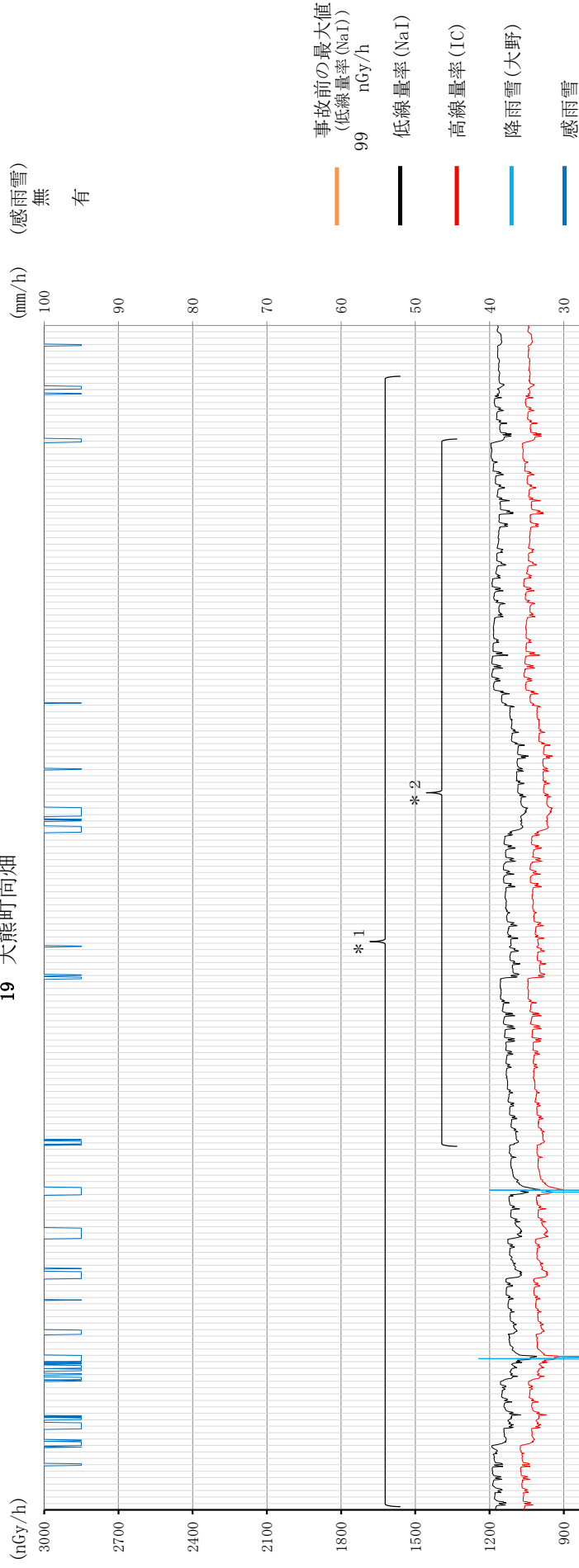
空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内



空間線量率の変動グラフ

19 大熊町向畑



10月

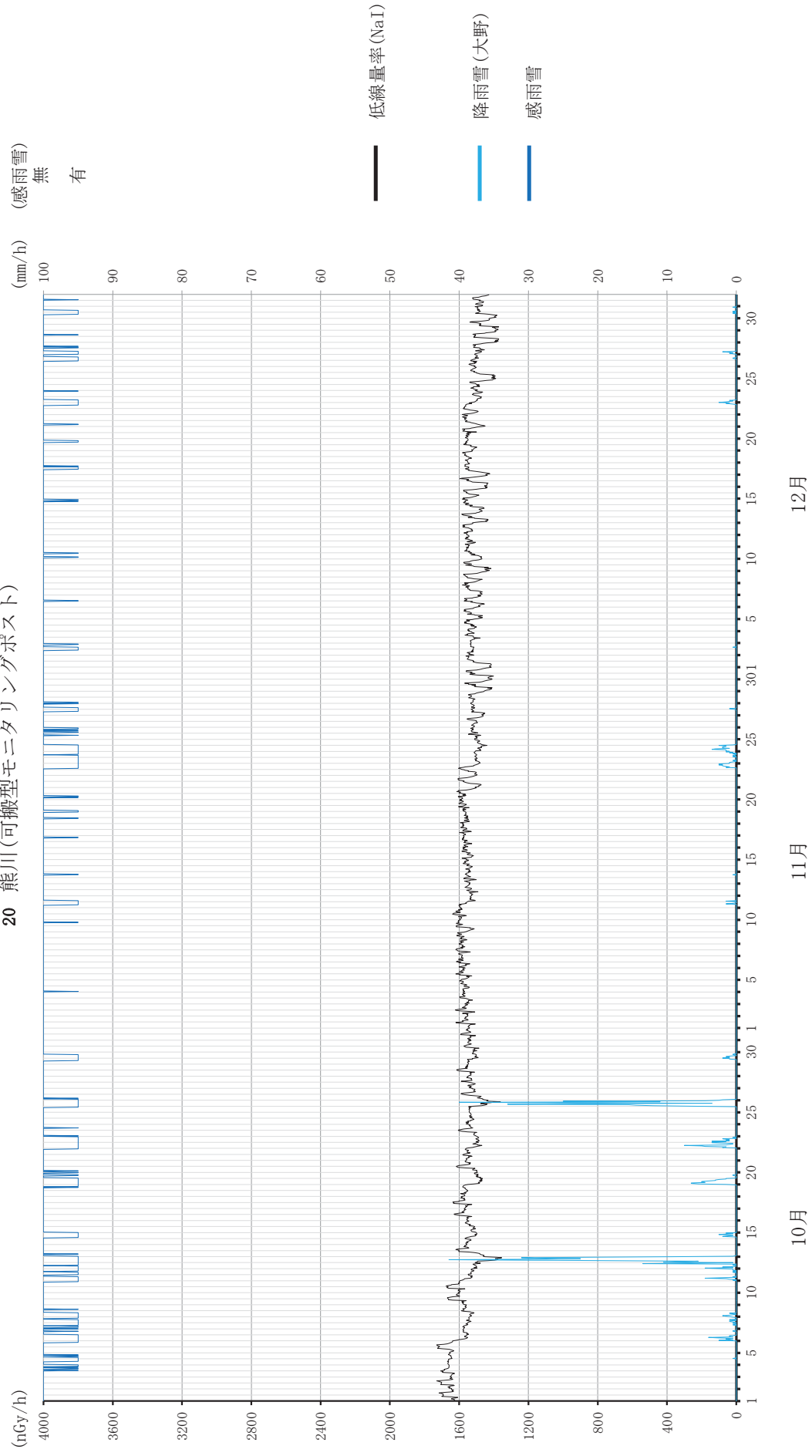
11月

12月

\* 1 扇金付近に船着困難区域域入退域ゲートがあり、朝夕の送迎時の車両の遅へい効果により、1～6%程度の線量率低下が発生  
\* 2 扇金周辺のガソリンスタンド解体工事（10月24日～12月23日）に伴う工事関係車両等の遅へい効果により、最大12%程度の線量率低下が発生

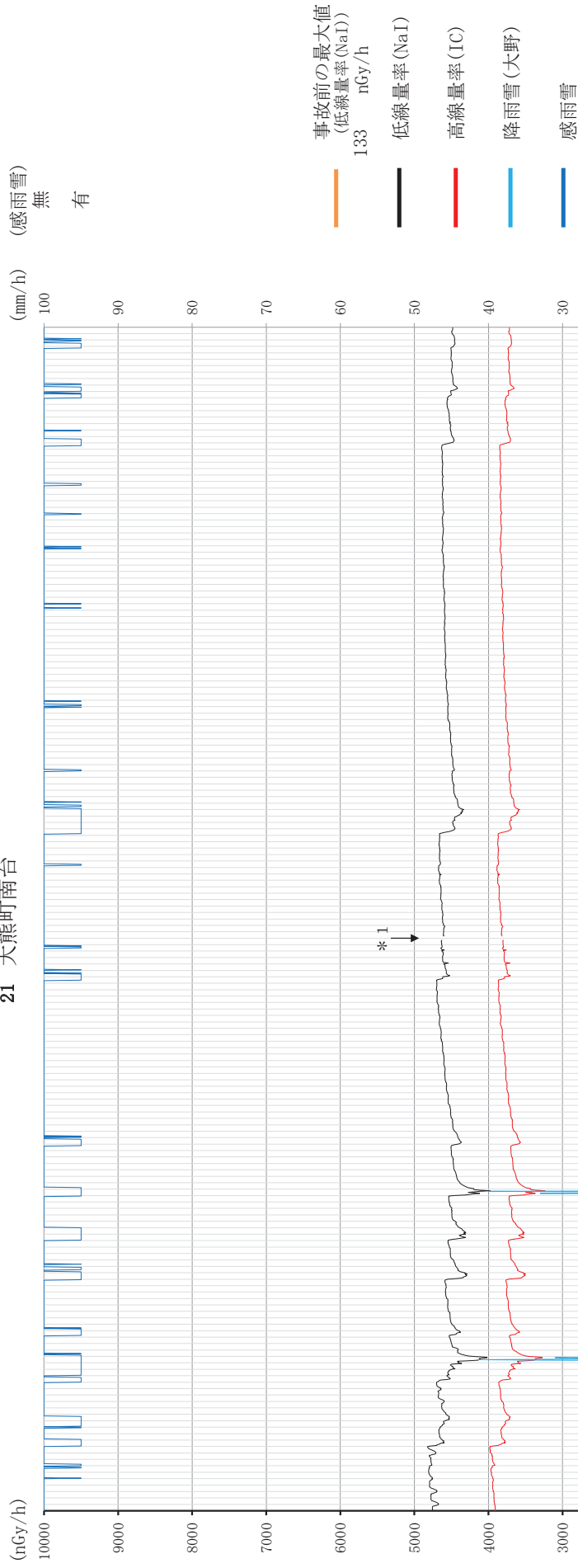
空間線量率の変動グラフ

20 熊川(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

21 大熊町南台



12月

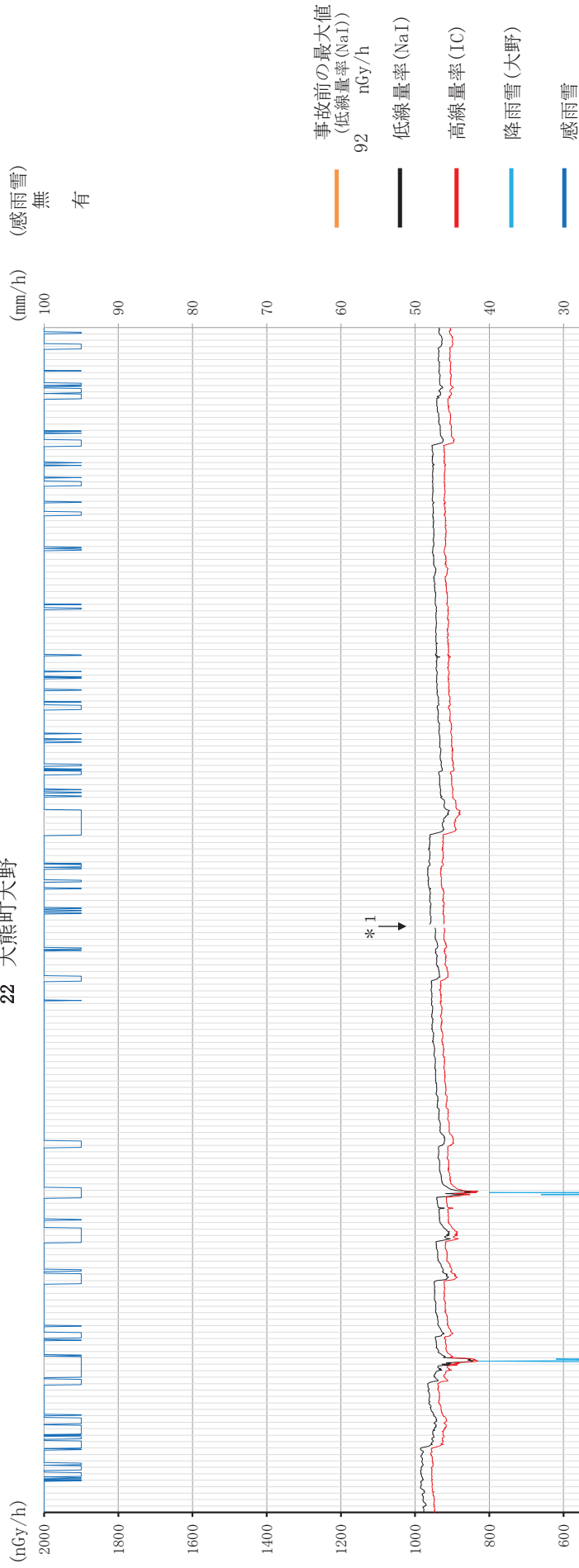
11月

10月

\*1 11月14日は点検のため欠測



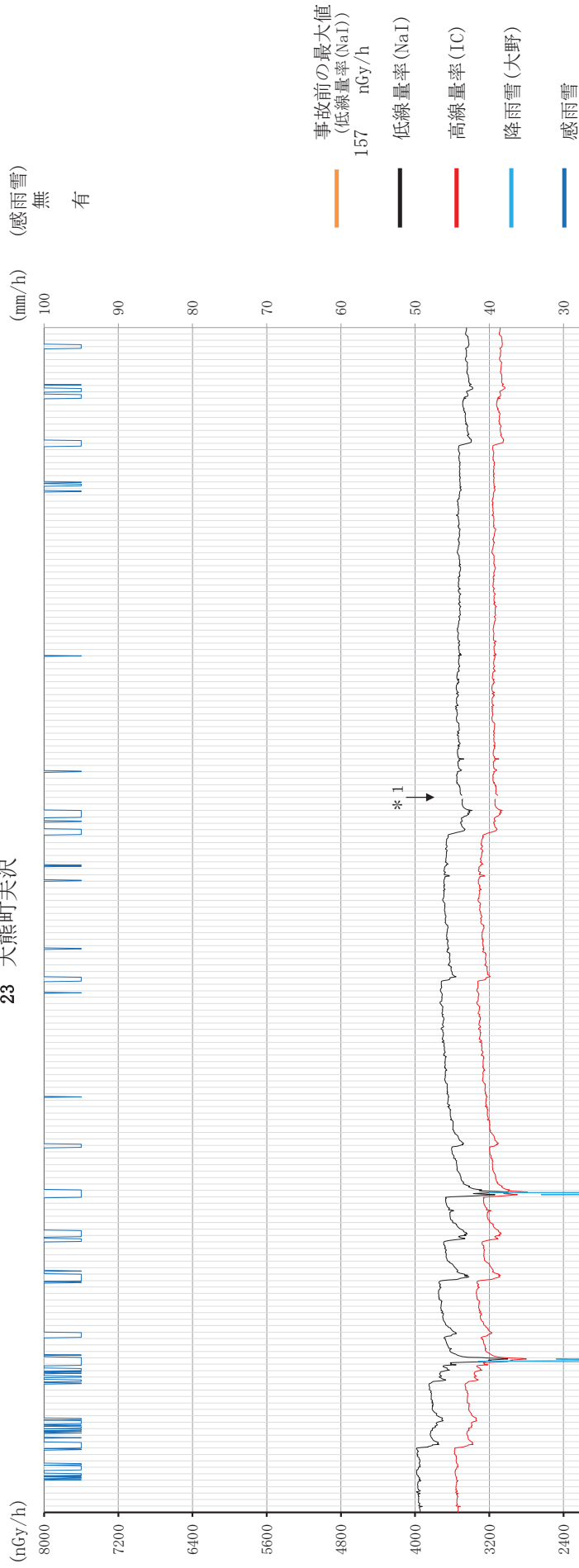
空間線量率の変動グラフ  
22 大熊町大野



\*1 11月15日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ

23 大熊町夫沢



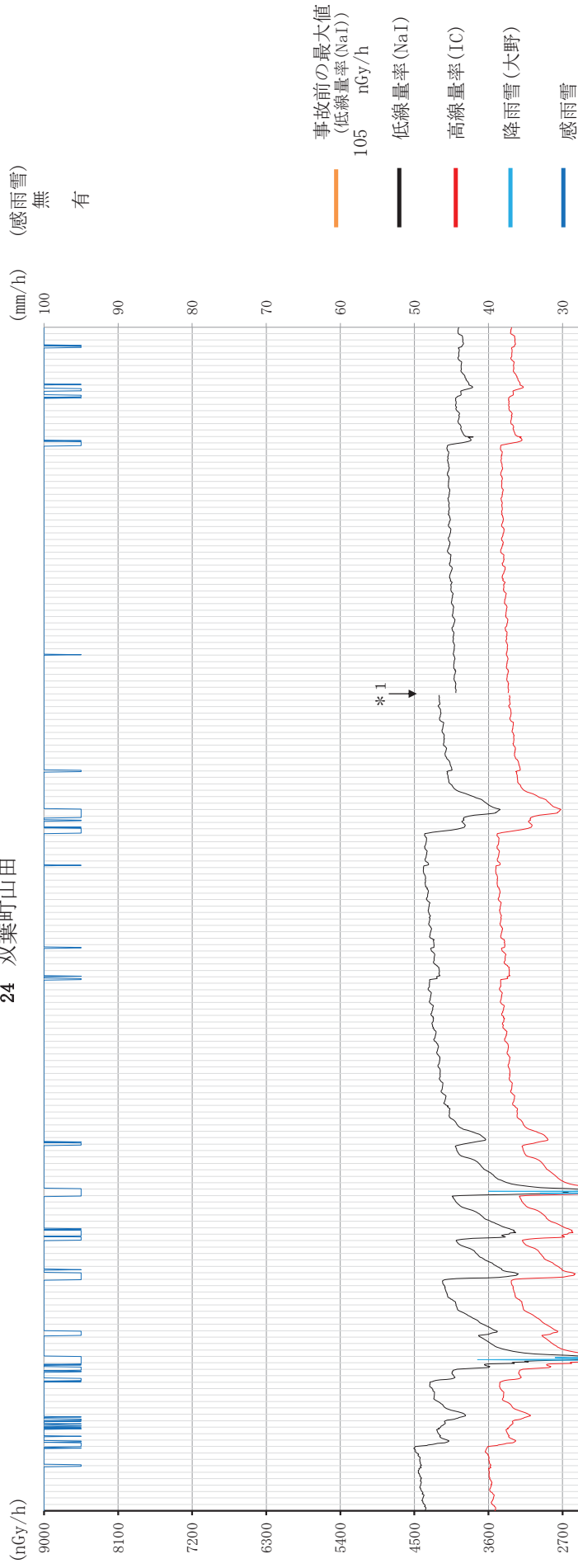
10月

11月

12月

\* 1 11月25日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
24 双葉町山田



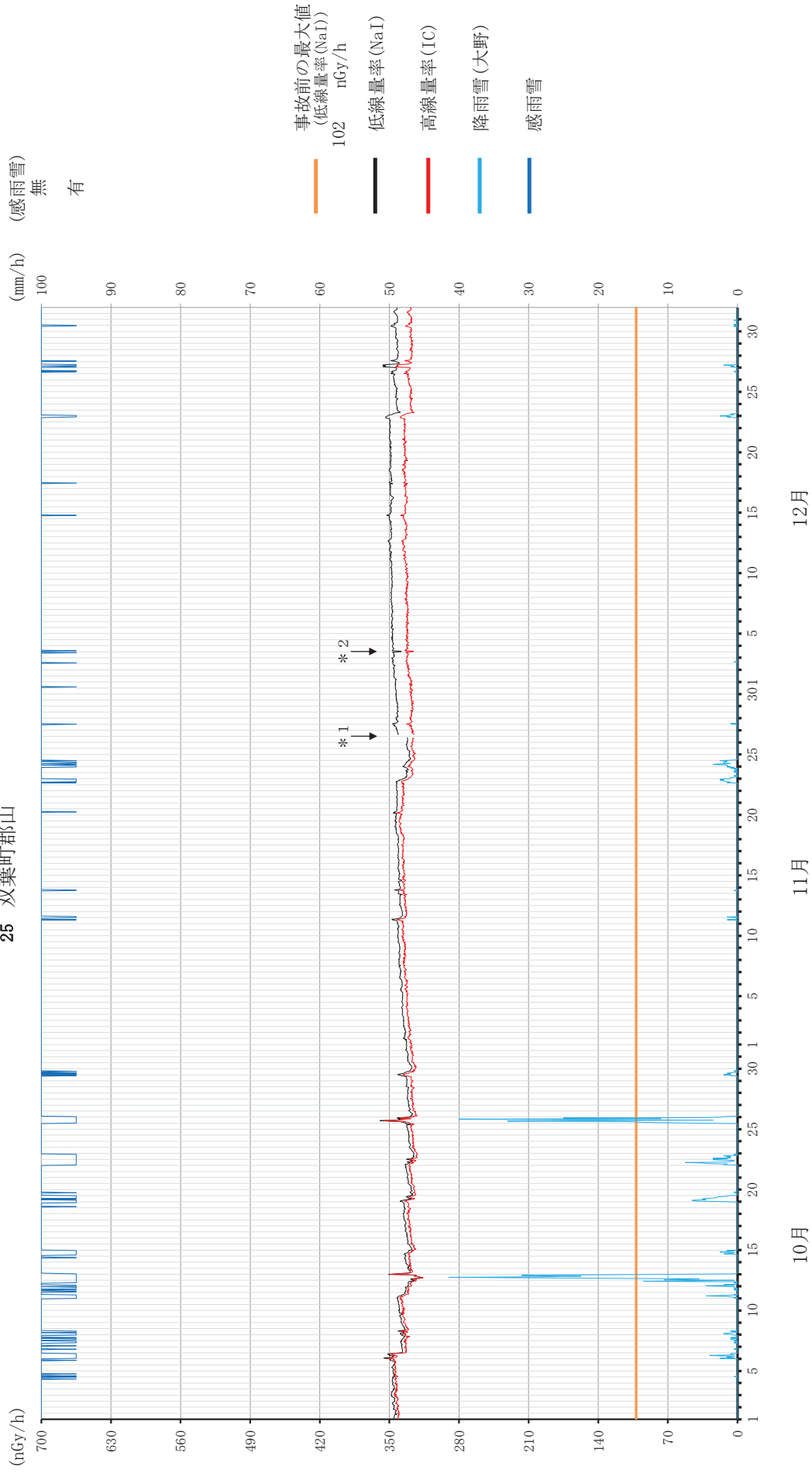
12月

11月

10月

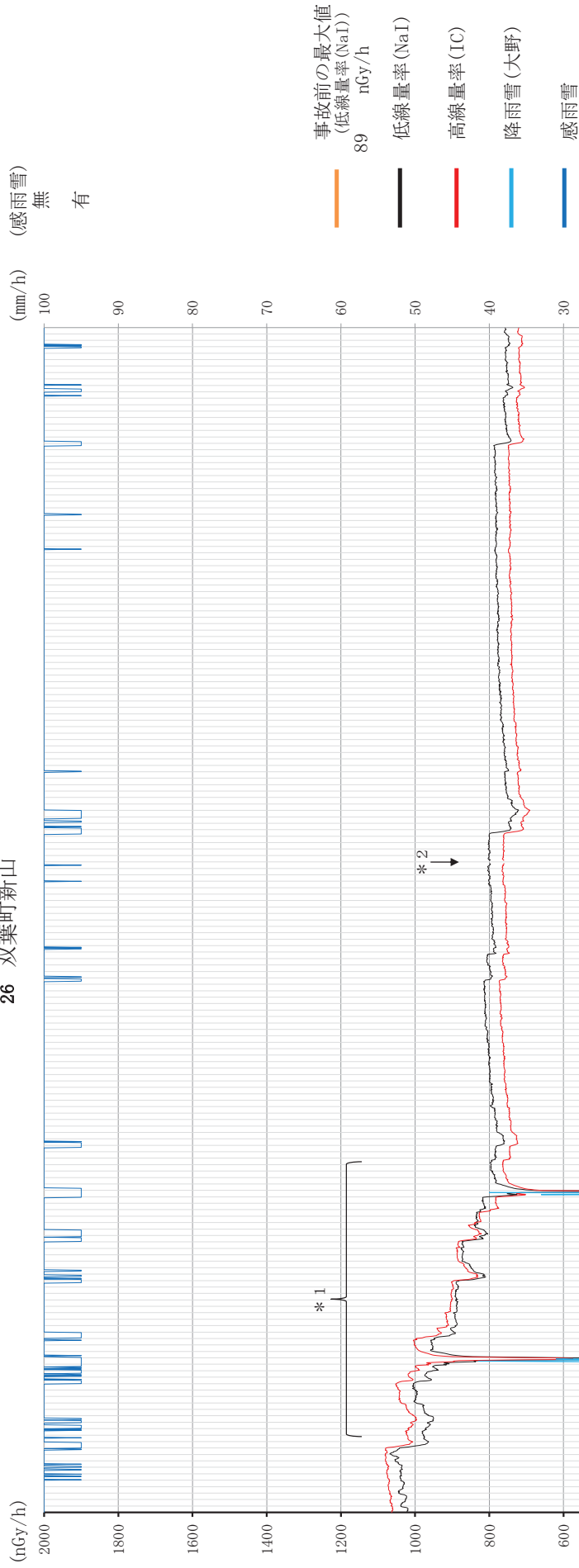
\* 1 12月3日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
25 双葉郡山



\* 1 11月26日は点検のため欠測  
\* 2 12月3日は馬舎周辺への駐車車両による遮へい効果により線量率低下

空間線量率の変動グラフ  
26 双葉町新山



12月

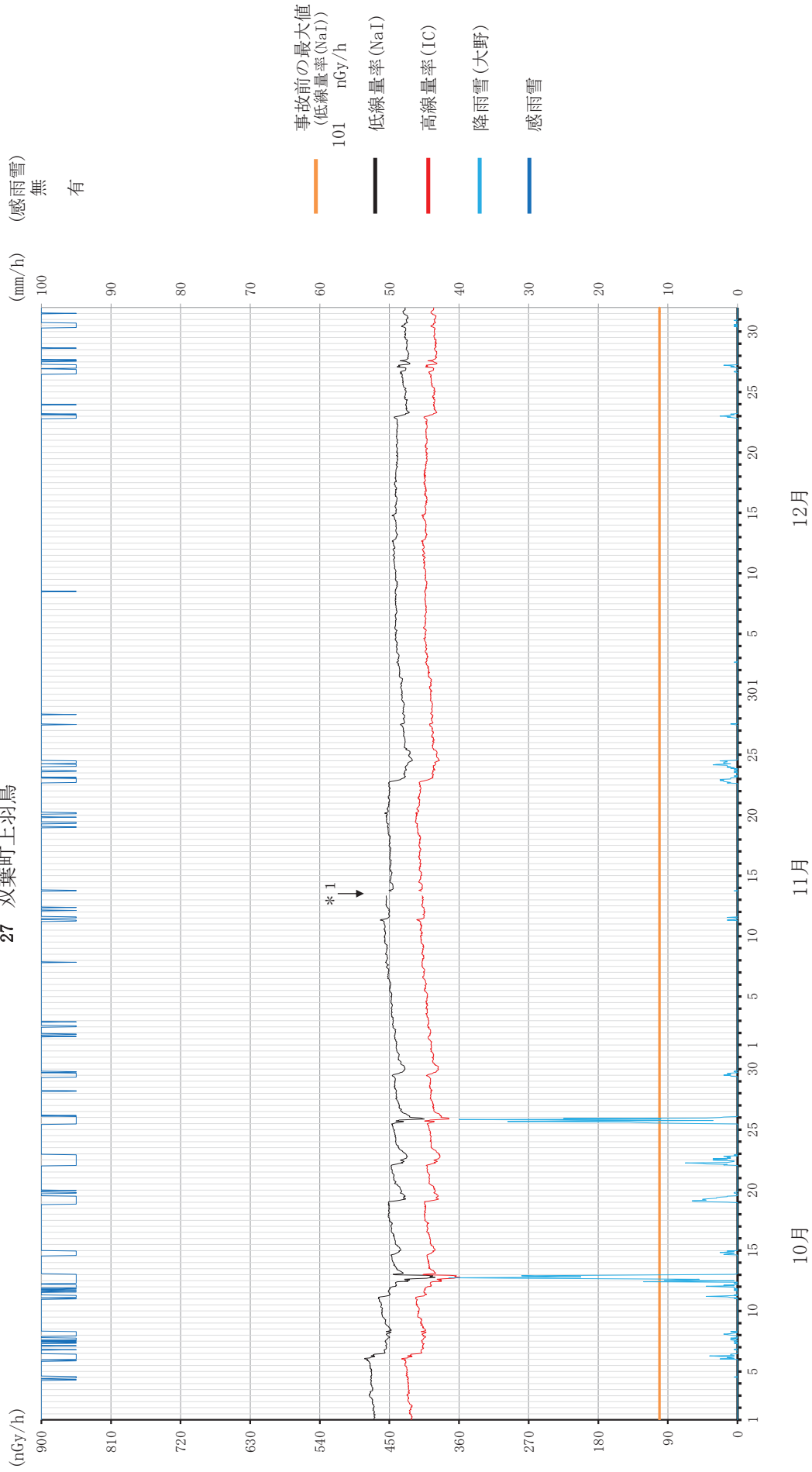
11月

10月

\* 1 10月7～28日は局舎周辺の除染のため線量率低下

\* 2 11月20日は点検のため欠測

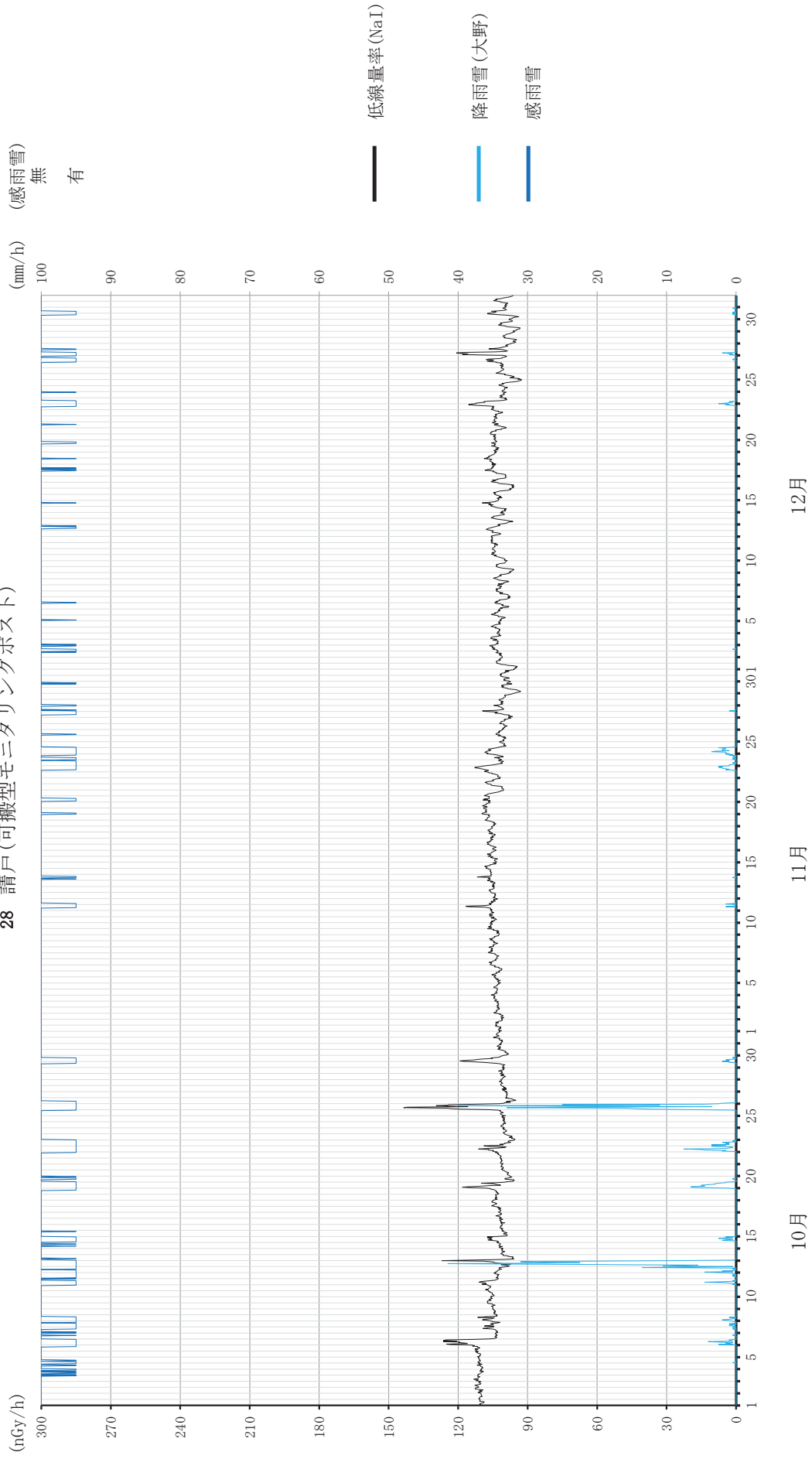
空間線量率の変動グラフ  
27 双葉町上羽鳥



\* 1 11月13日は点検のため欠測

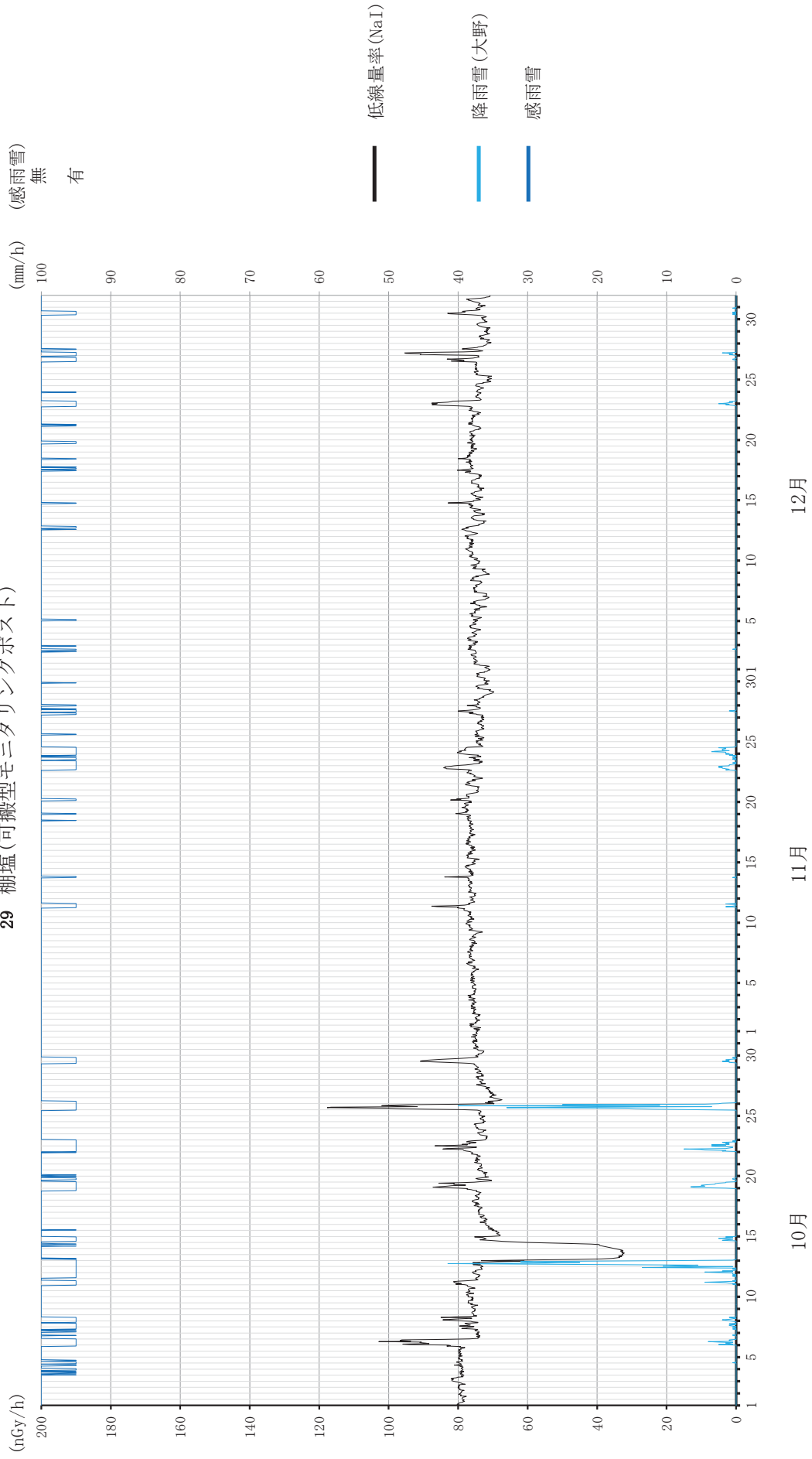
空間線量率の変動グラフ

28 請戸(可搬型モニタリングポスト)



空間線量率の変動グラフ

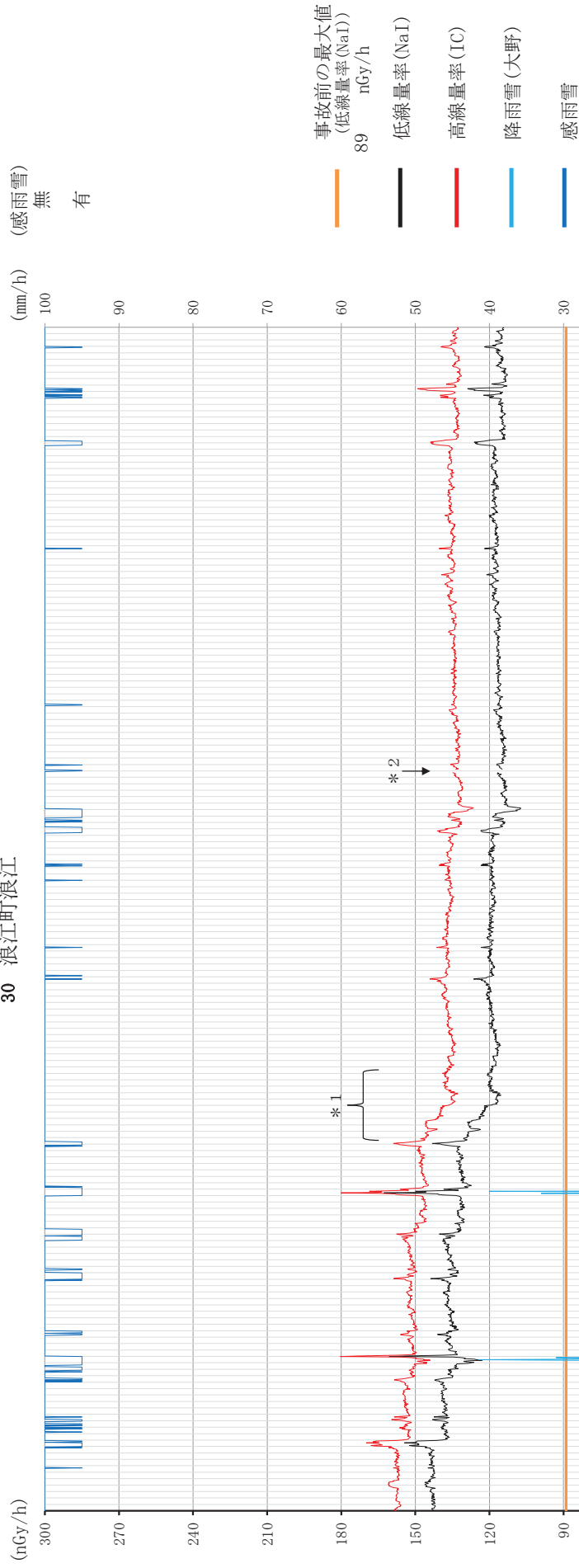
29 棚塩(可搬型モニタリングポスト)





空間線量率の変動グラフ

30 浪江町浪江



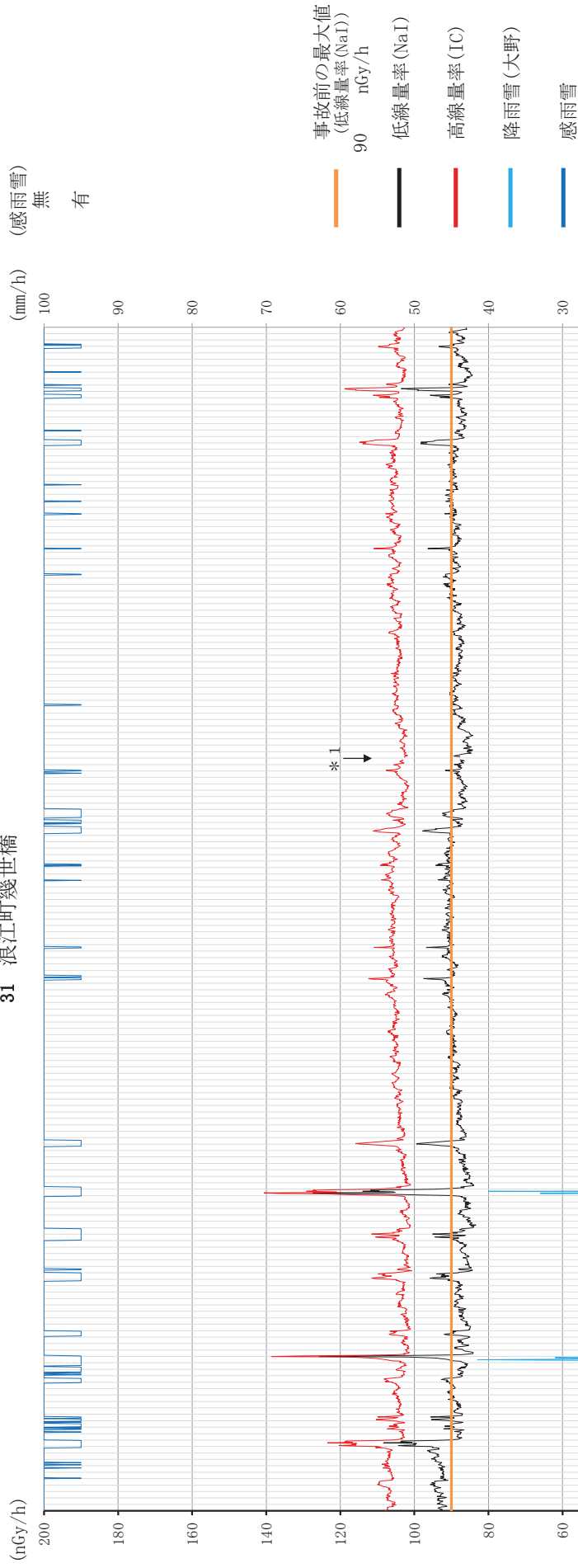
10月

11月

12月

\* 1 扇金周辺の家庭解体のため線量率低下  
 \* 2 11月27日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
31 浪江町幾世橋



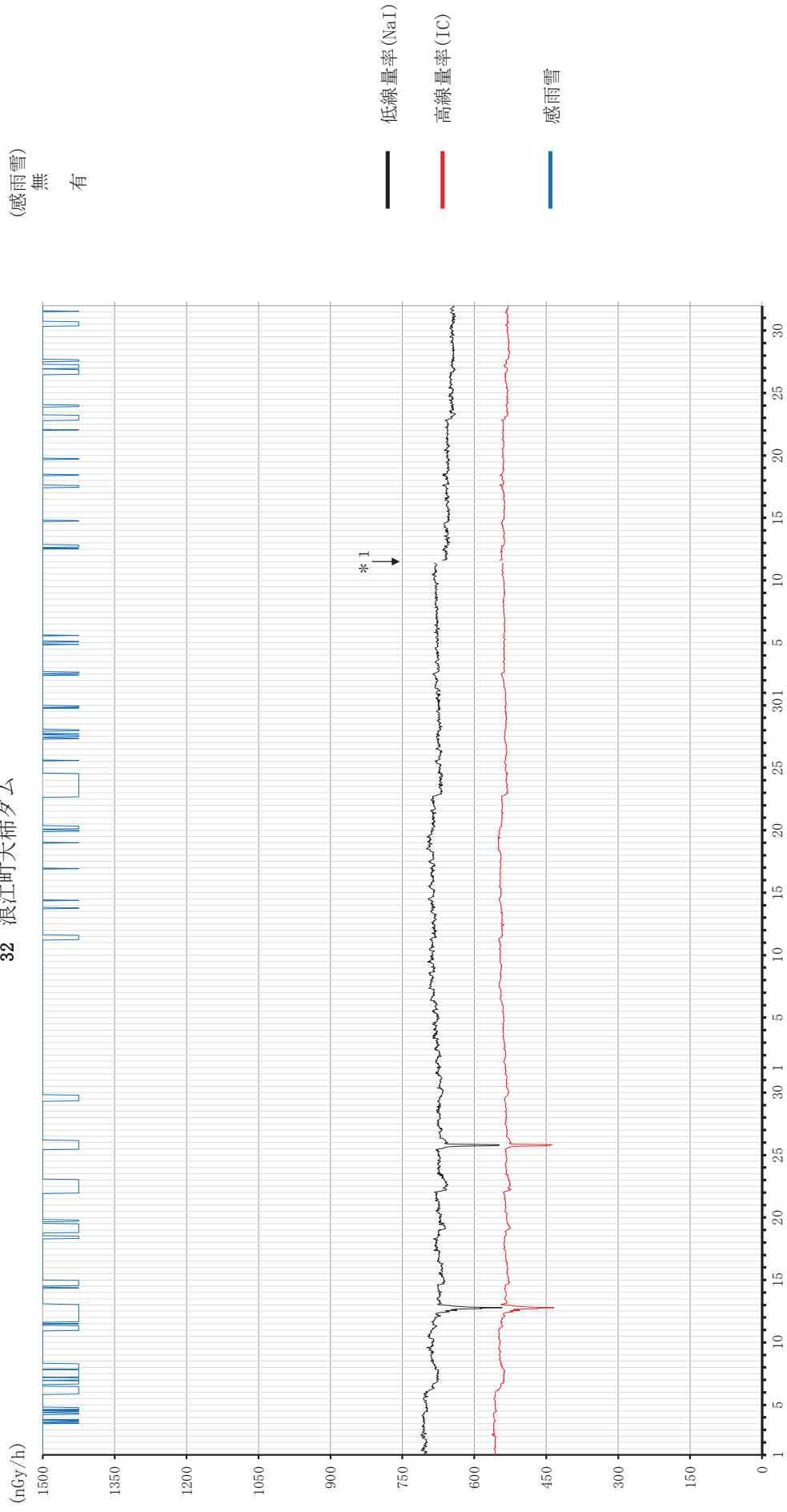
12月

11月

10月

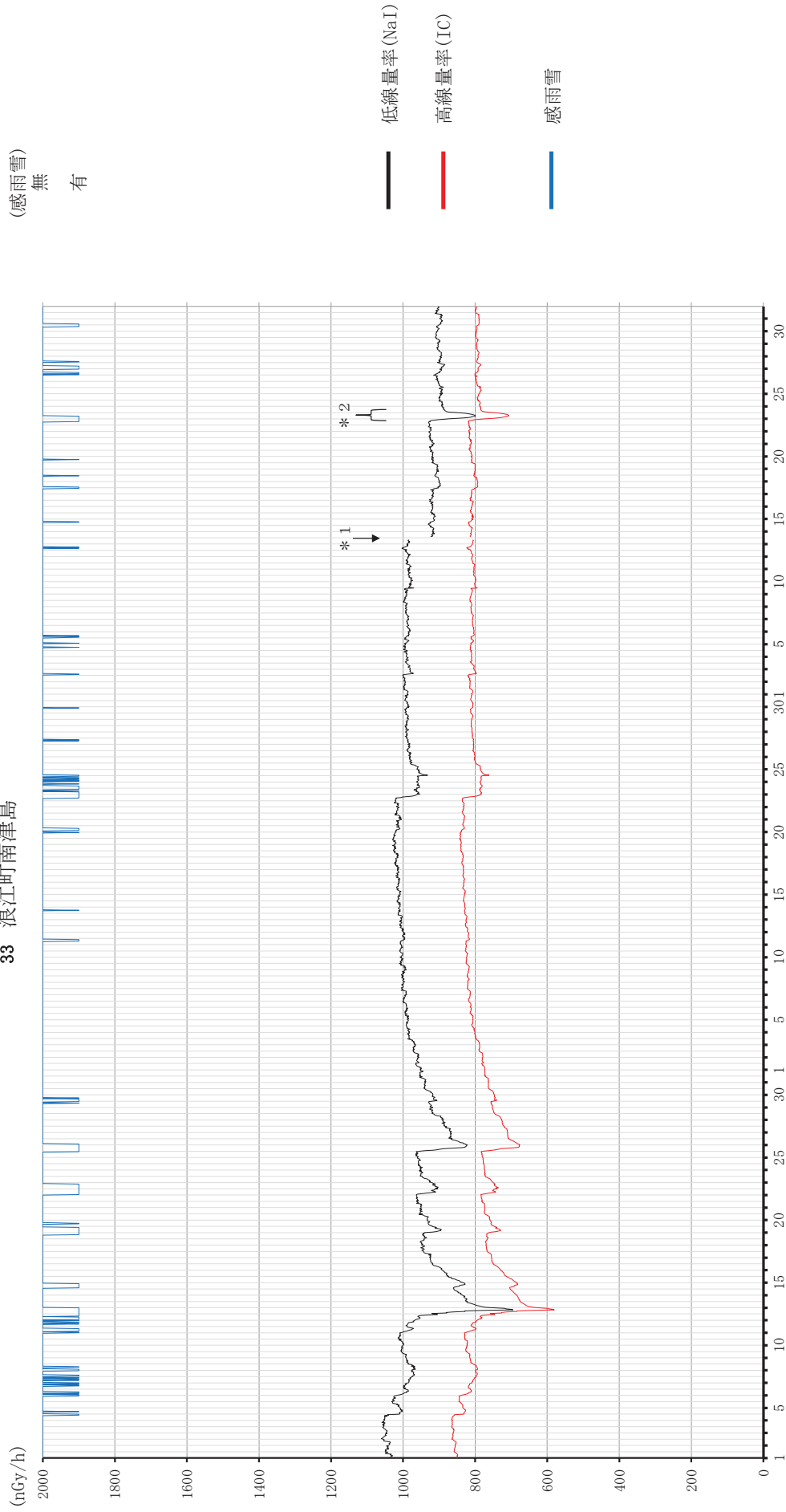
\*1 11月28日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
32 浪江町大柿ダム



\*1 12月11日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
33 浪江町南津島

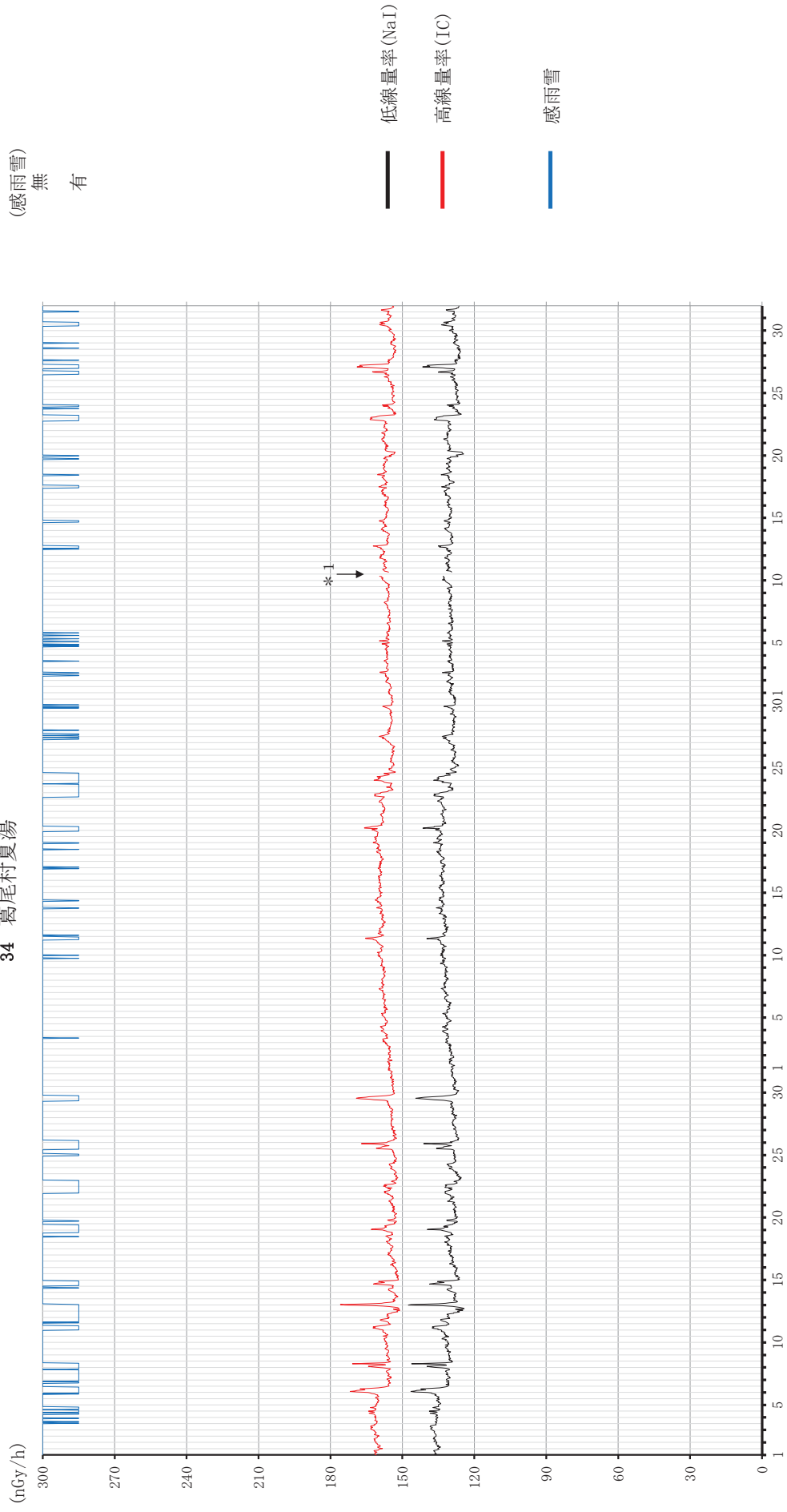


10月 11月 12月

\* 1 12月13日は点検のため欠測  
\* 2 12月23日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

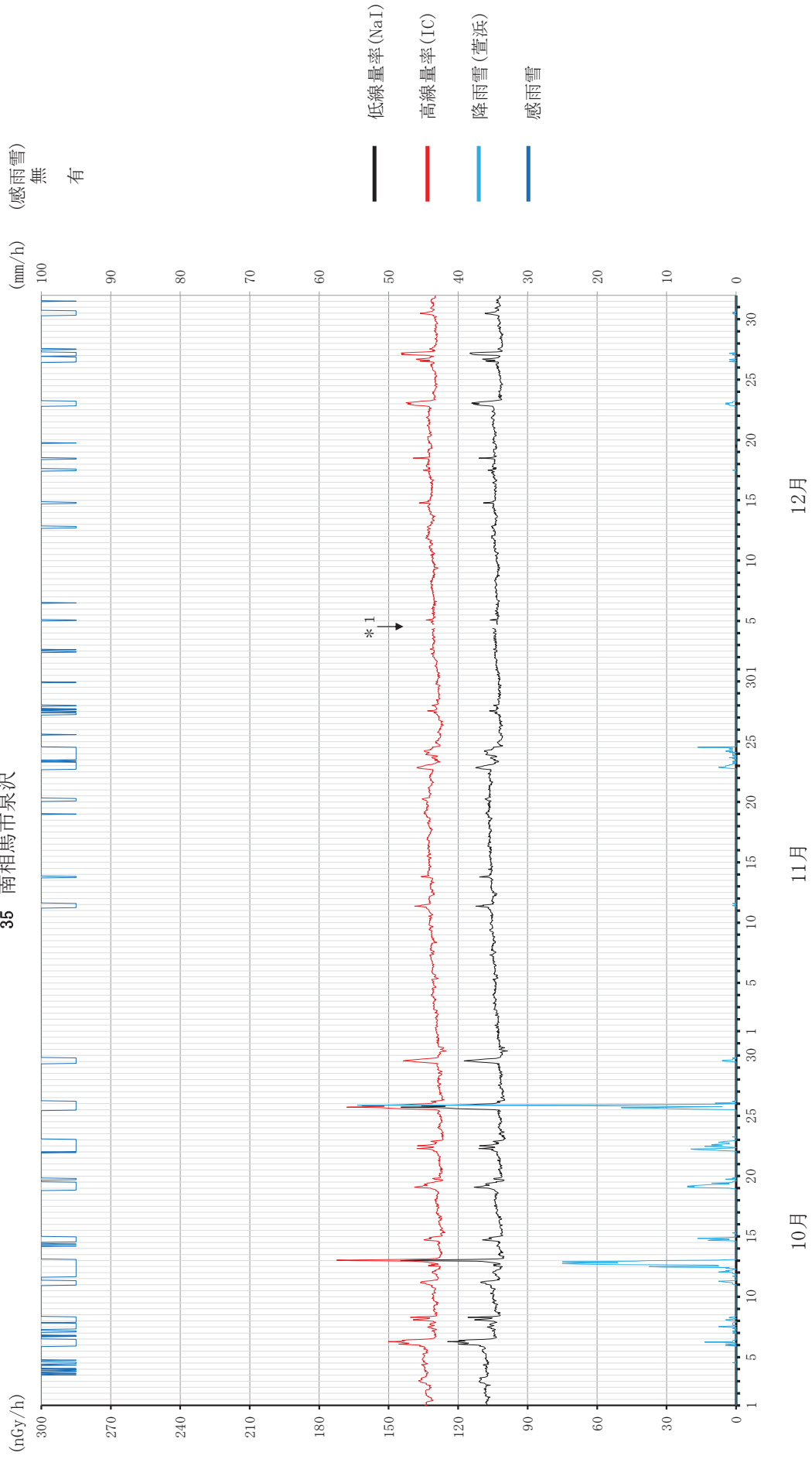
34 葛尾村夏湯



\*1 12月10日は点検のため欠測

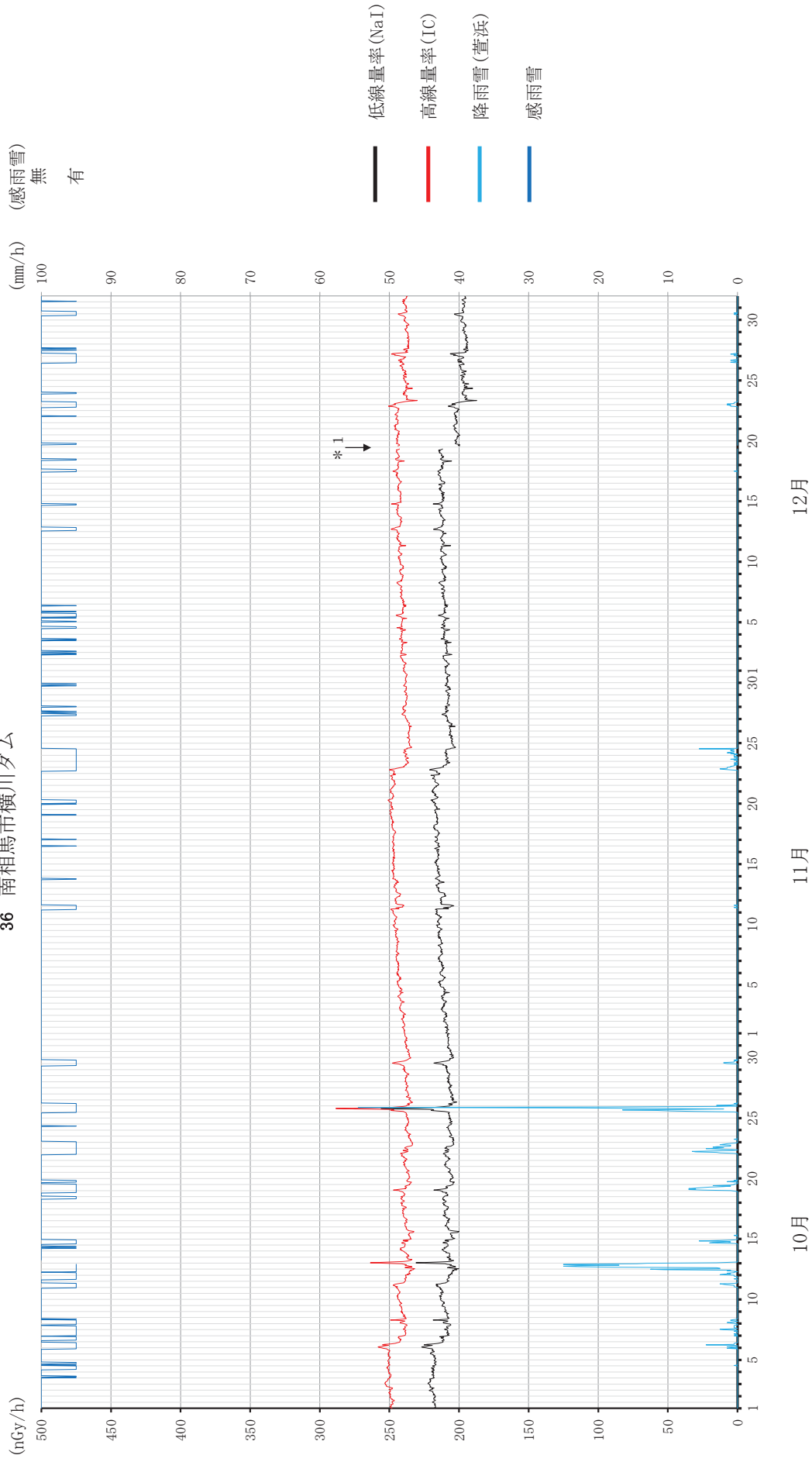
空間線量率の変動グラフ

35 南相馬市泉沢



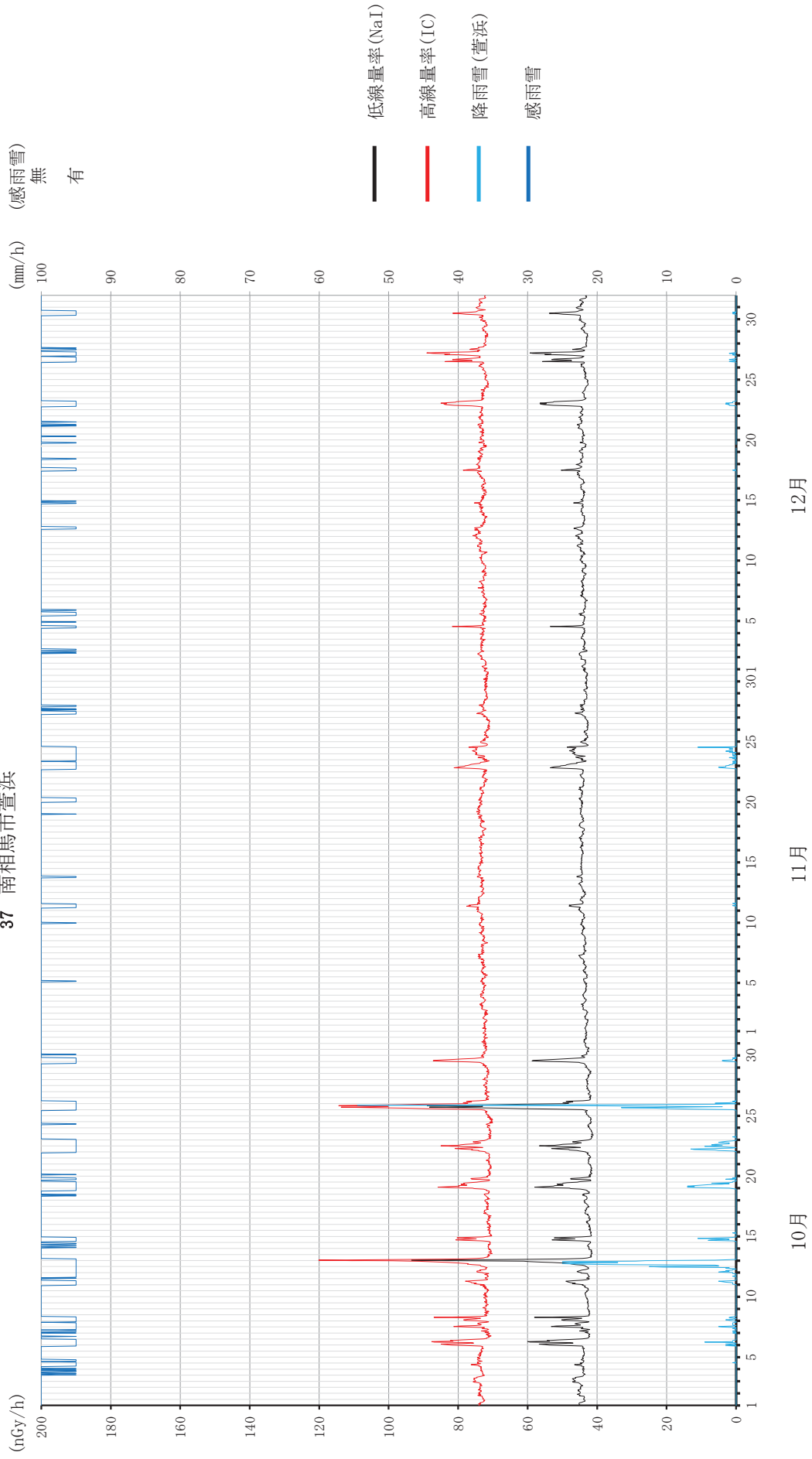
\* 1 12月 4日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
36 南相馬市横川ダム



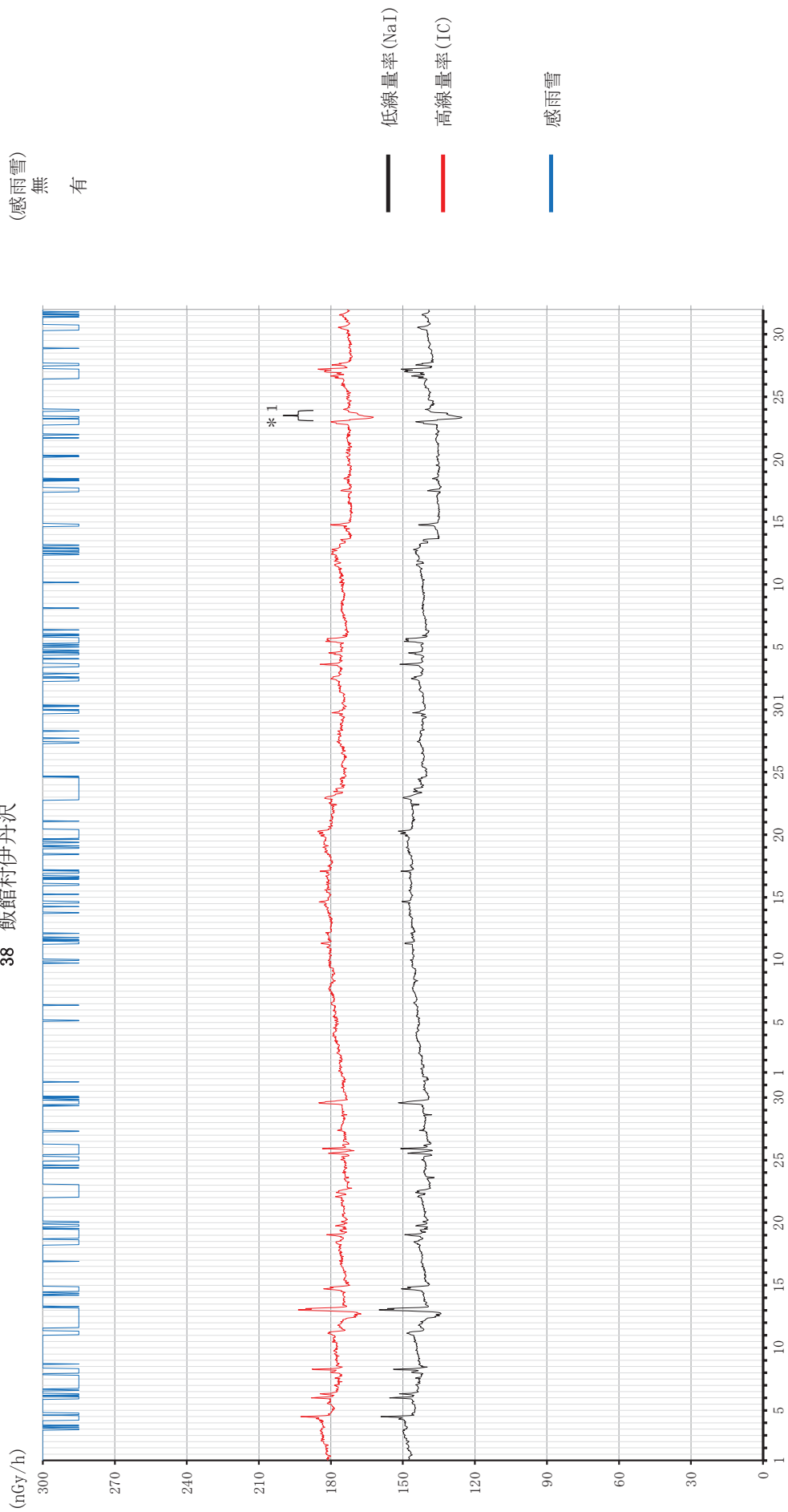
空間線量率の変動グラフ

37 南相馬市萱浜





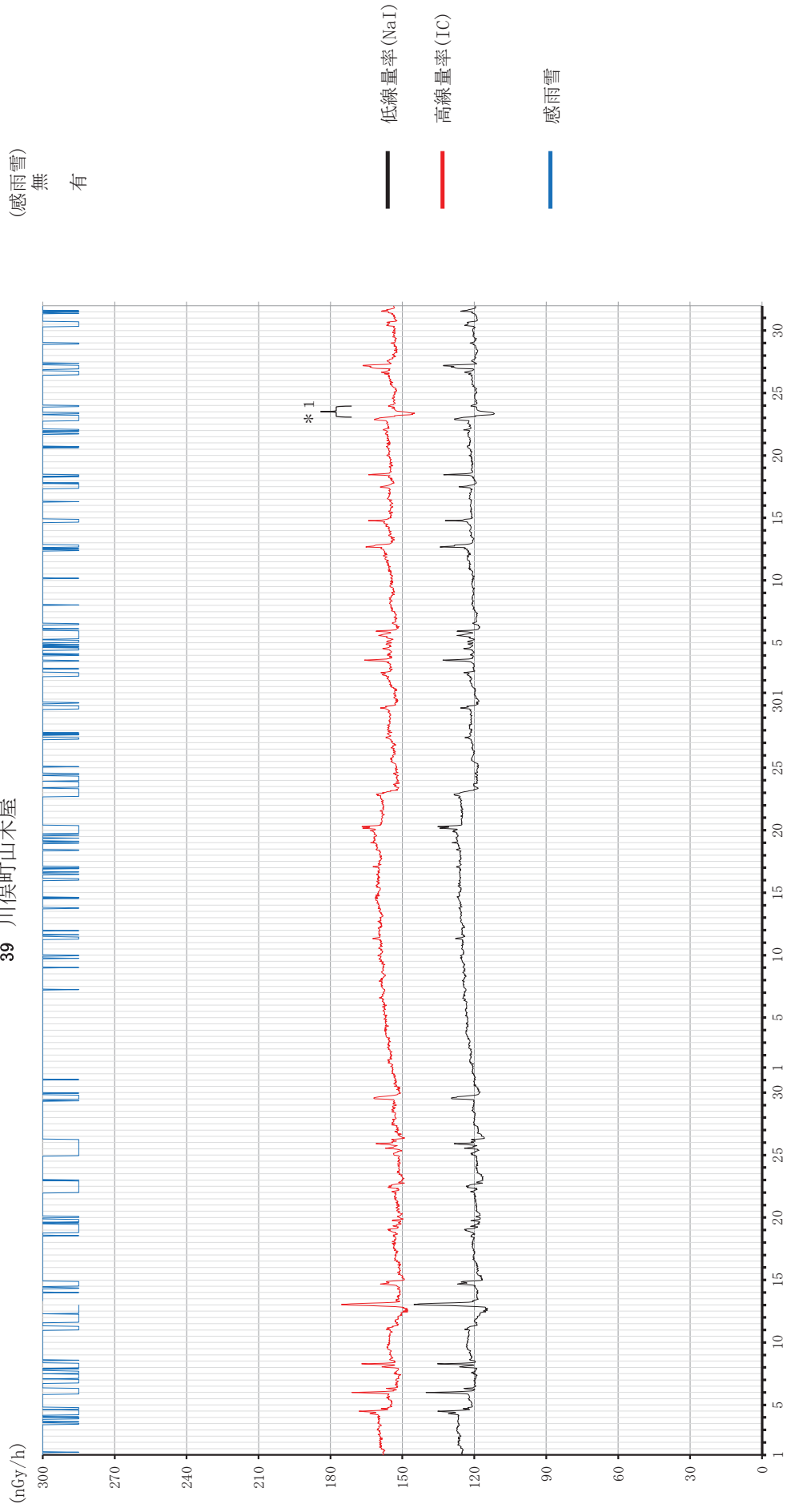
### 空間線量率の変動グラフ 38 飯館村伊丹沢



\*1 12月23日は積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ

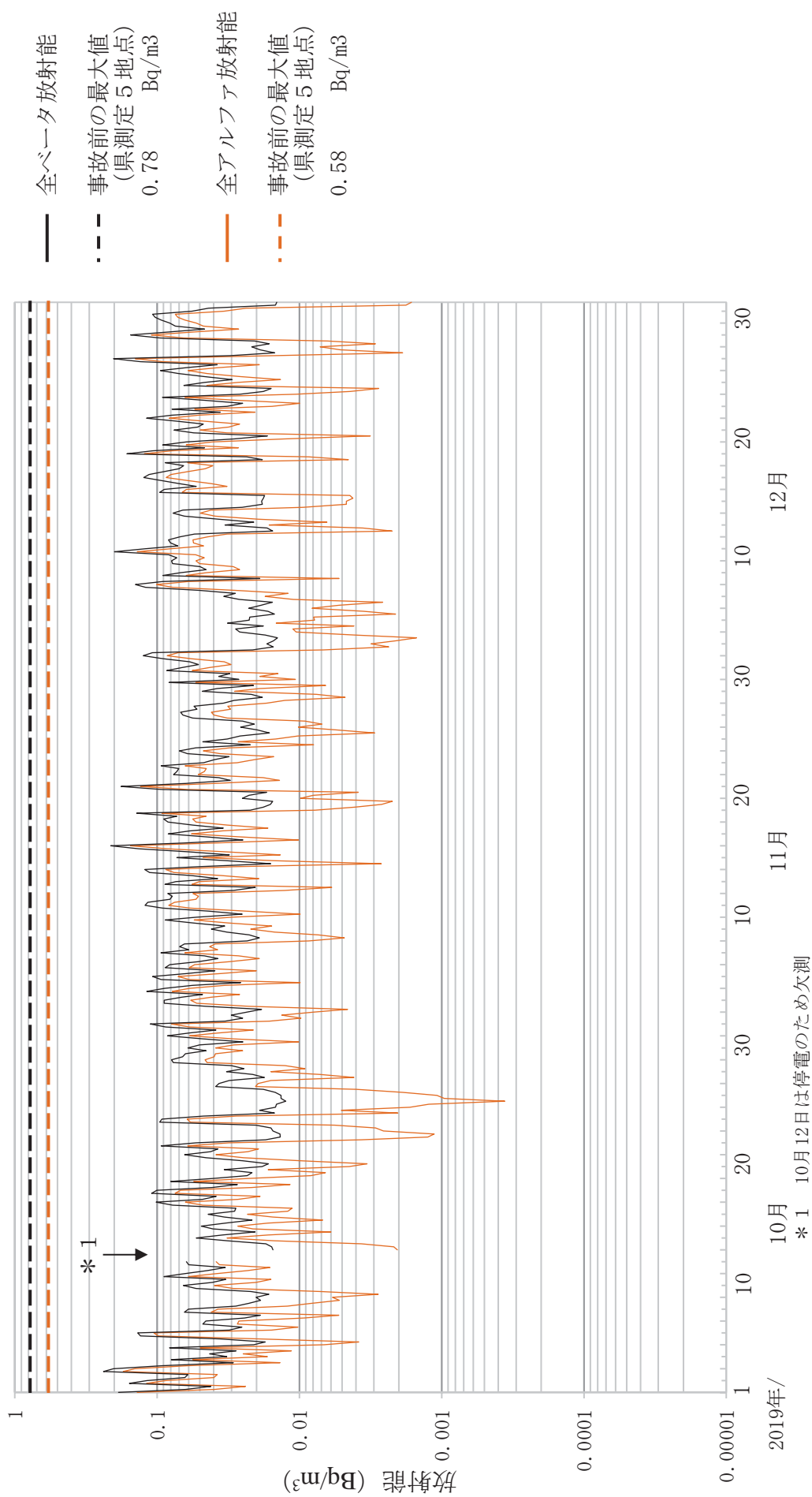
39 川俣町山木屋



\* 1 12月23日は積雪のため線量率低下

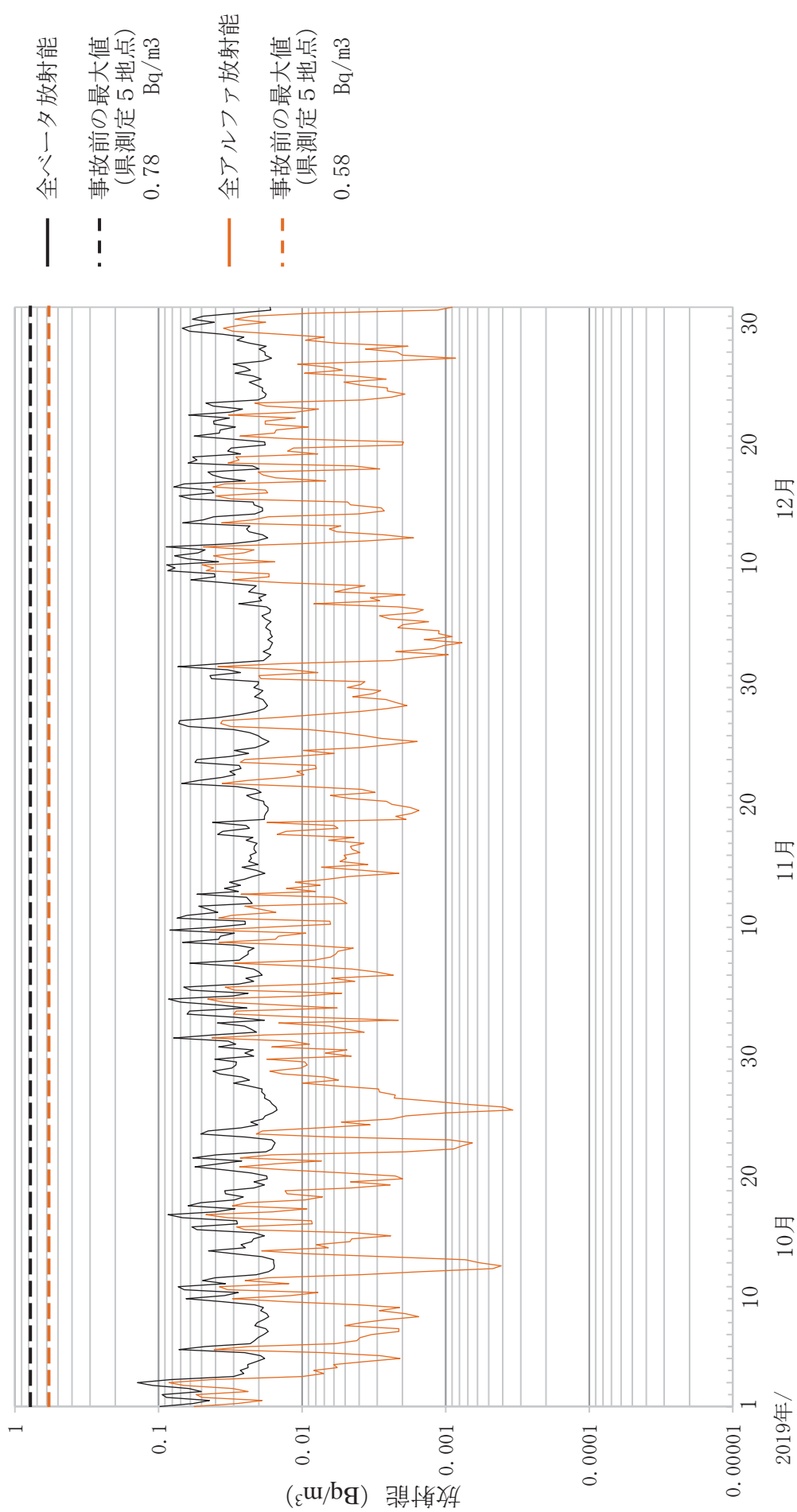
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川  
(令和1年10月1日～12月31日)



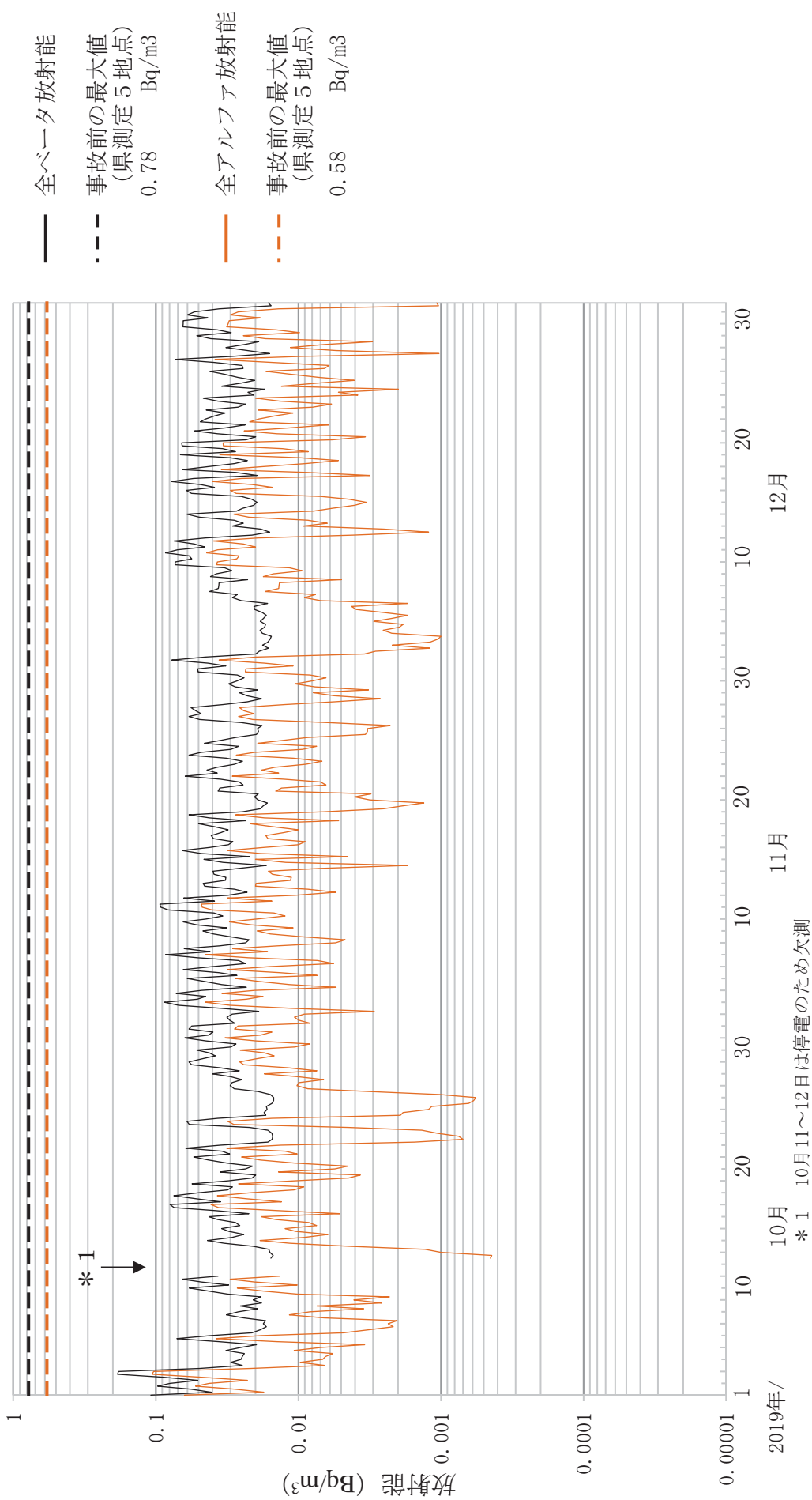
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸  
(令和1年10月1日～12月31日)



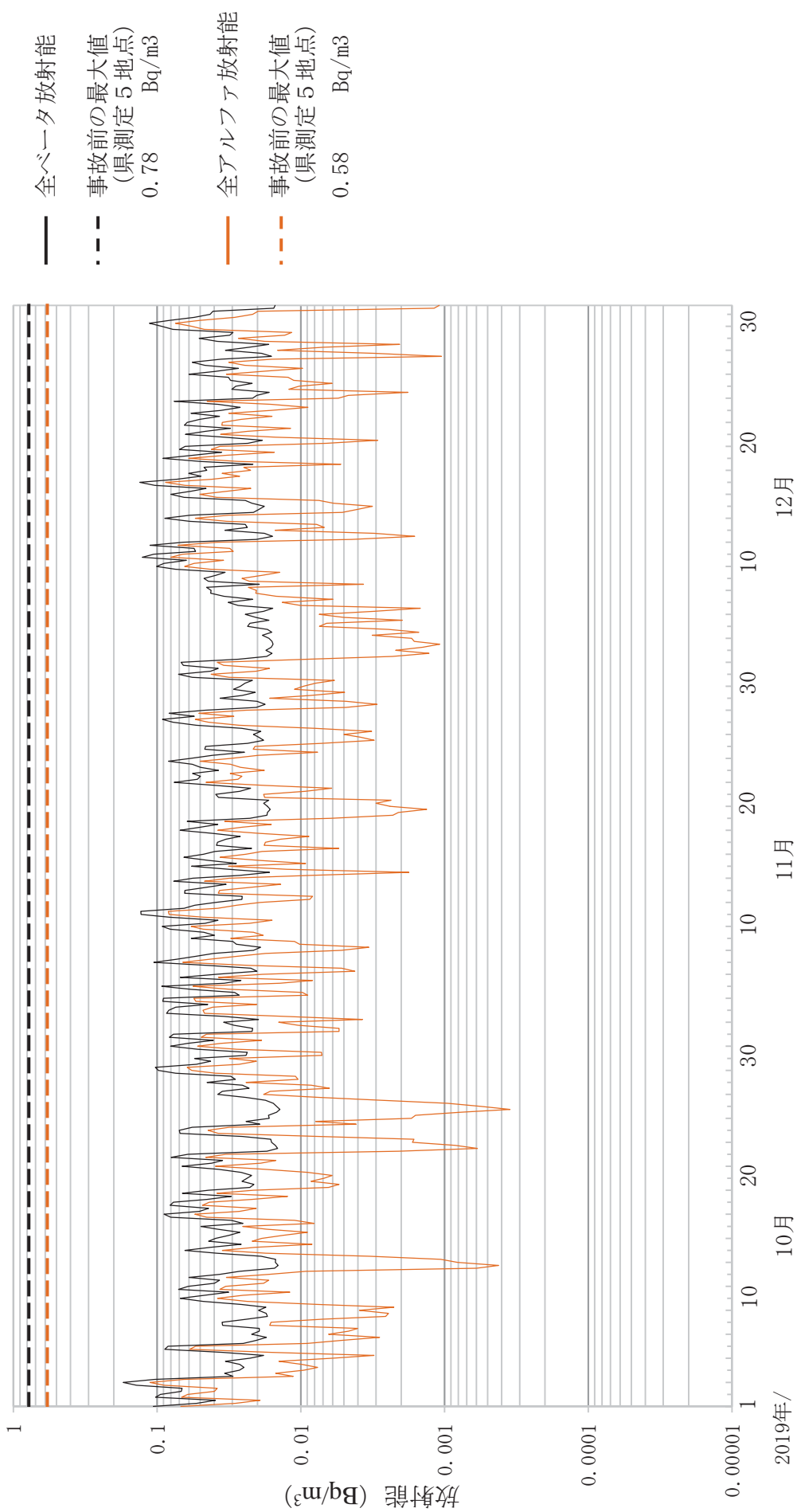
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平  
(令和1年10月1日～12月31日)



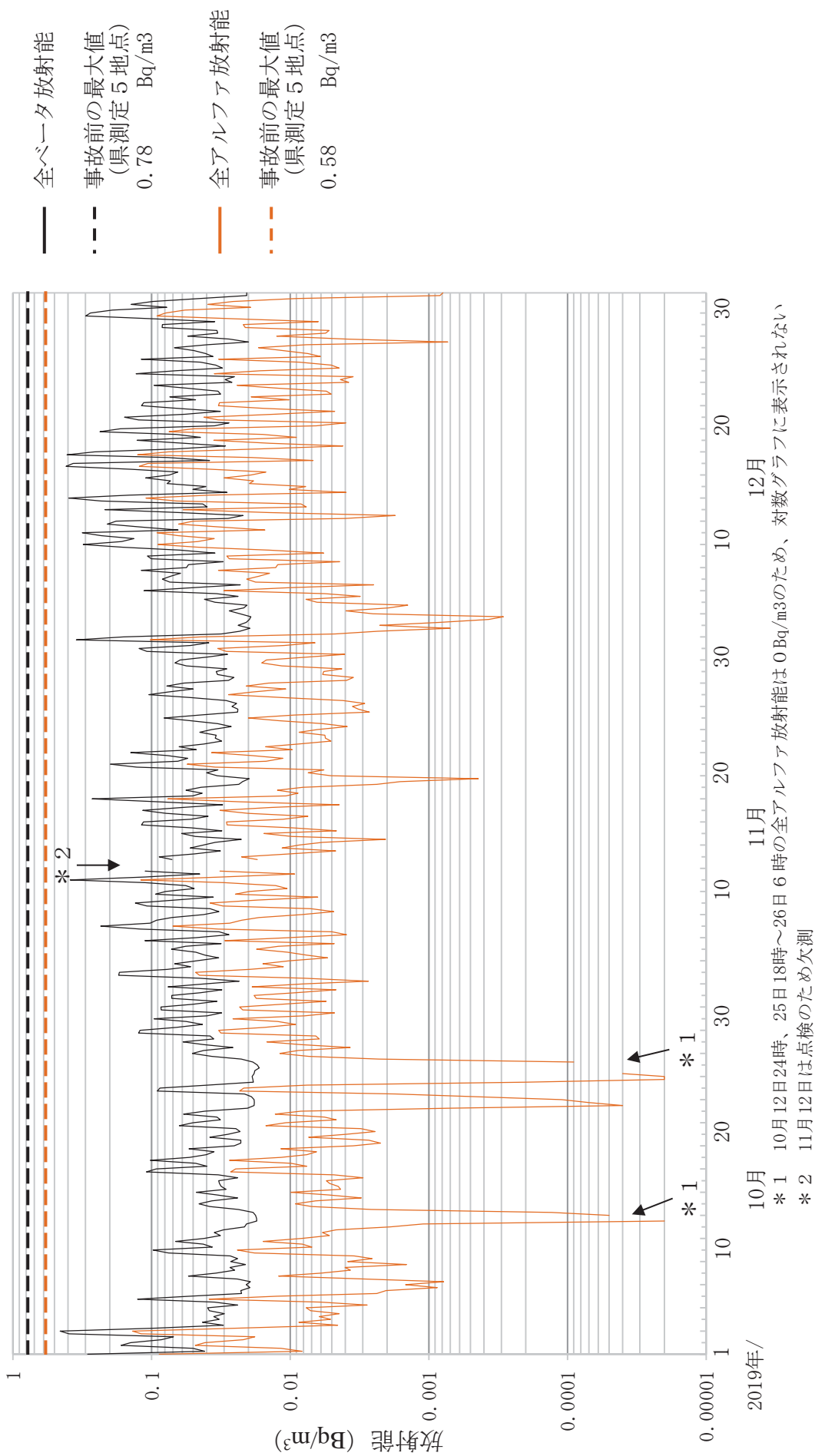
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

4 檜葉町木戸ダム  
(令和1年10月1日～12月31日)



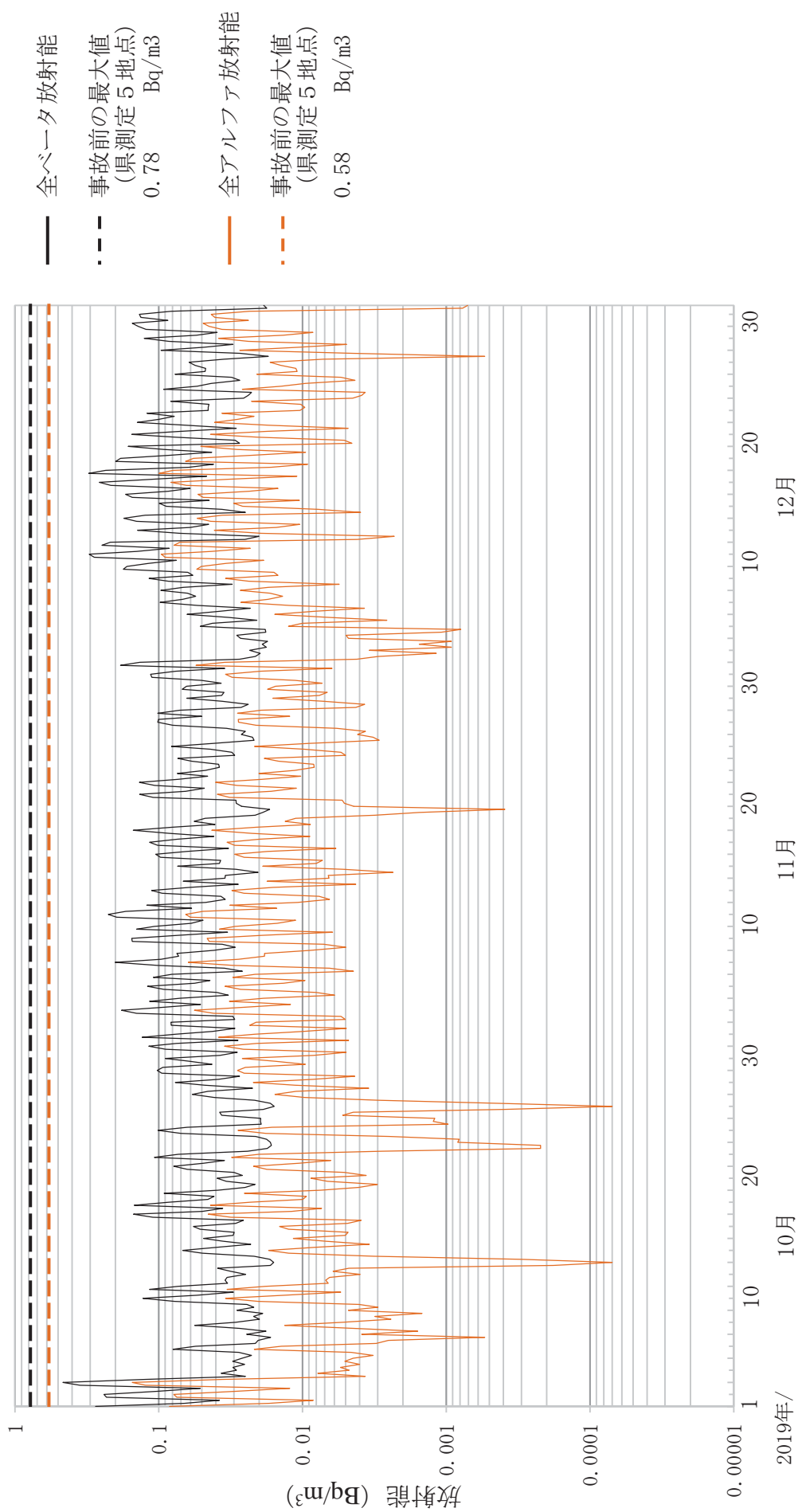
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

5 檜葉町繁岡  
(令和1年10月1日～12月31日)



# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

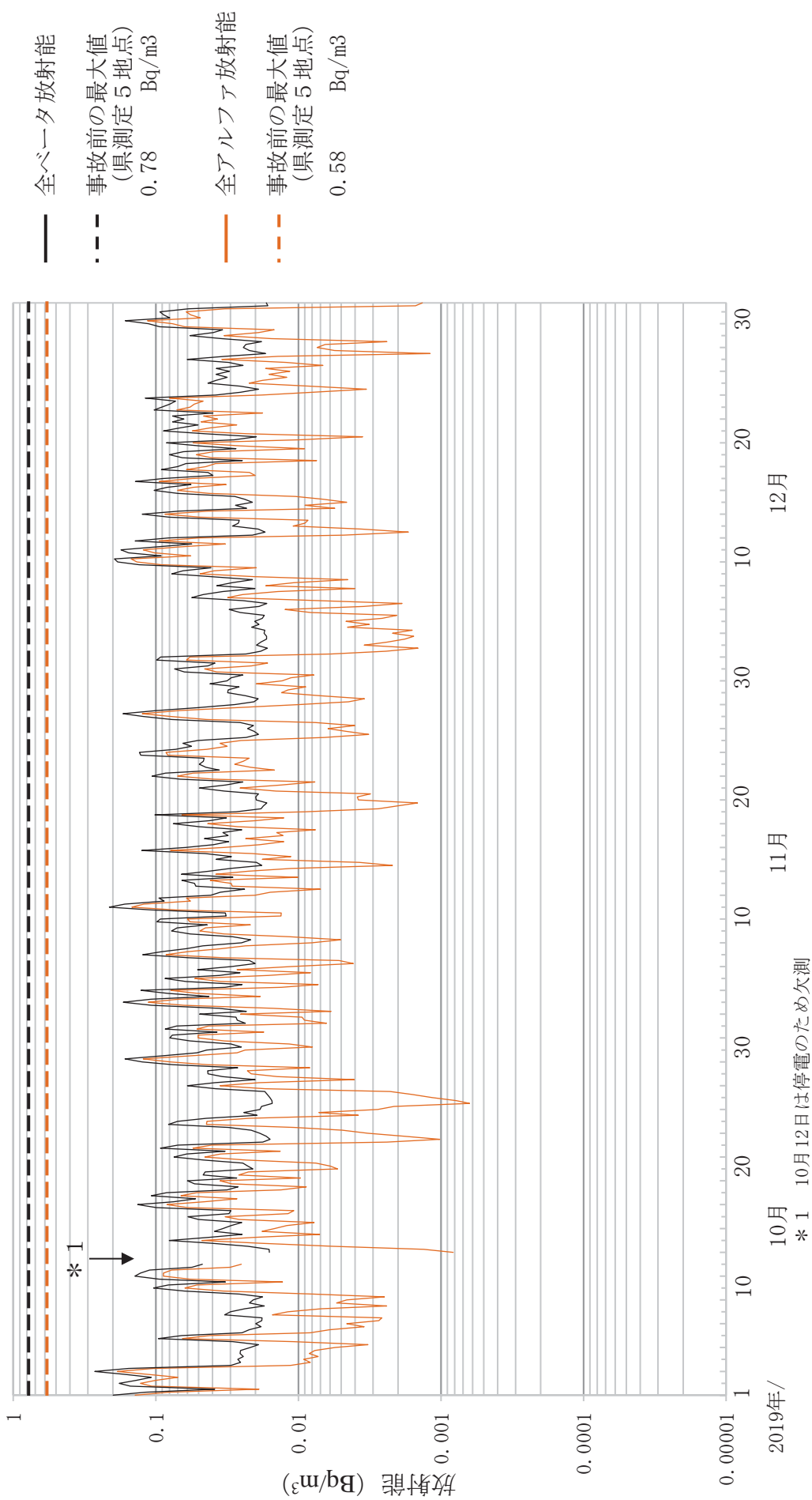
6 富岡町富岡  
(令和1年10月1日～12月31日)





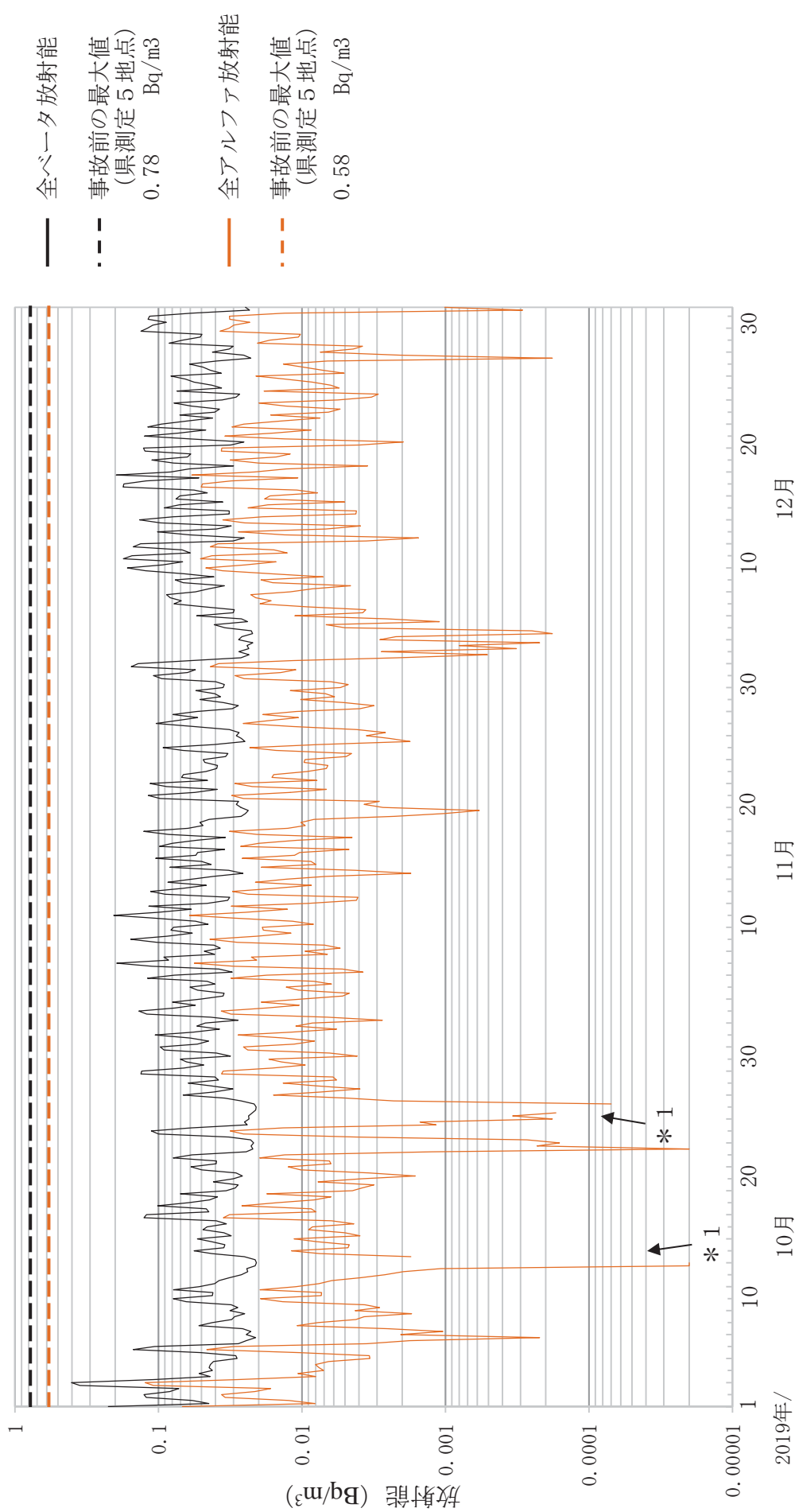
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内  
(令和1年10月1日～12月31日)



# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

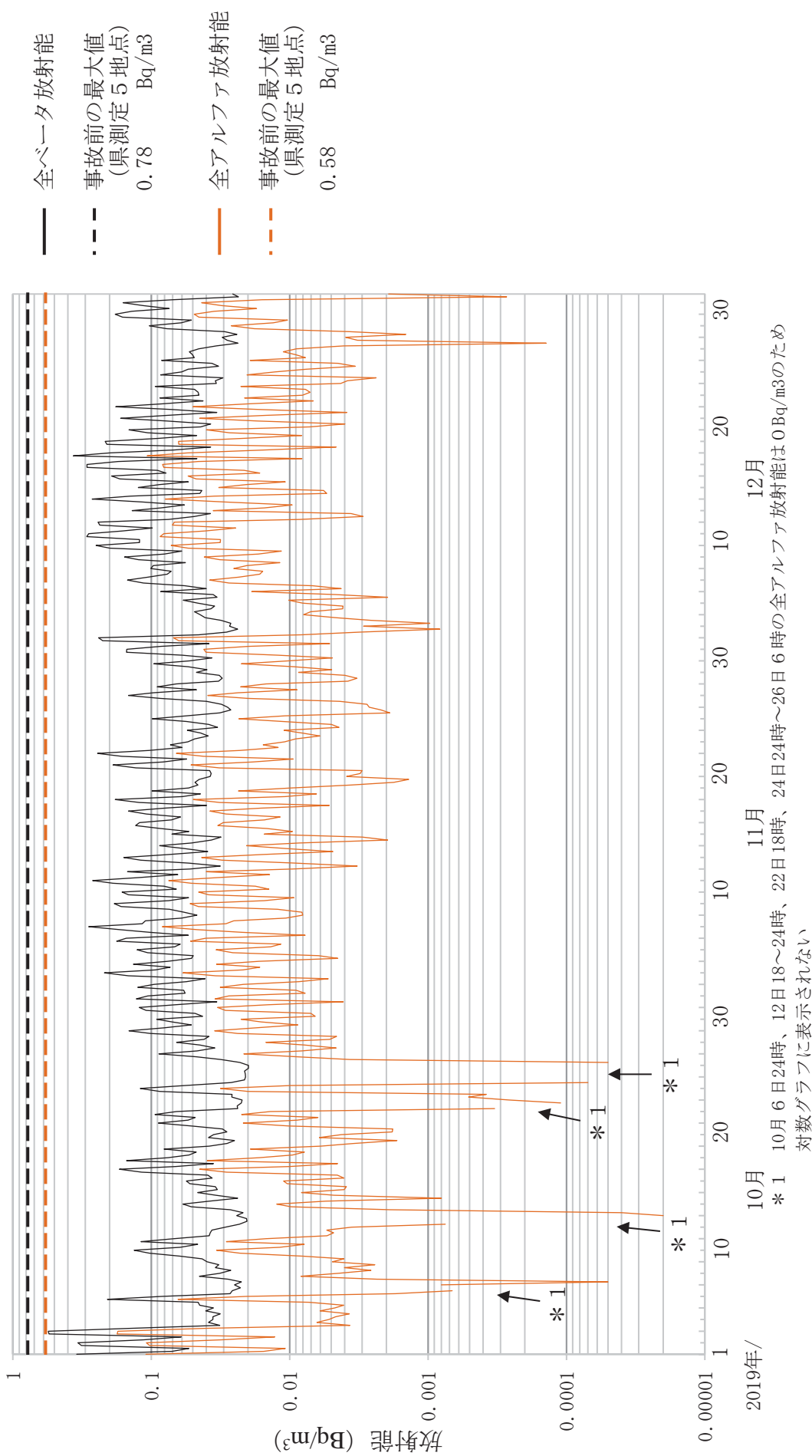
8 大熊町大野  
(令和1年10月1日～12月31日)



\* 1 10月13日12時、25日24時～26日6時の全アルファ放射能は0Bq/m<sup>3</sup>のため、対数グラフに表示されない

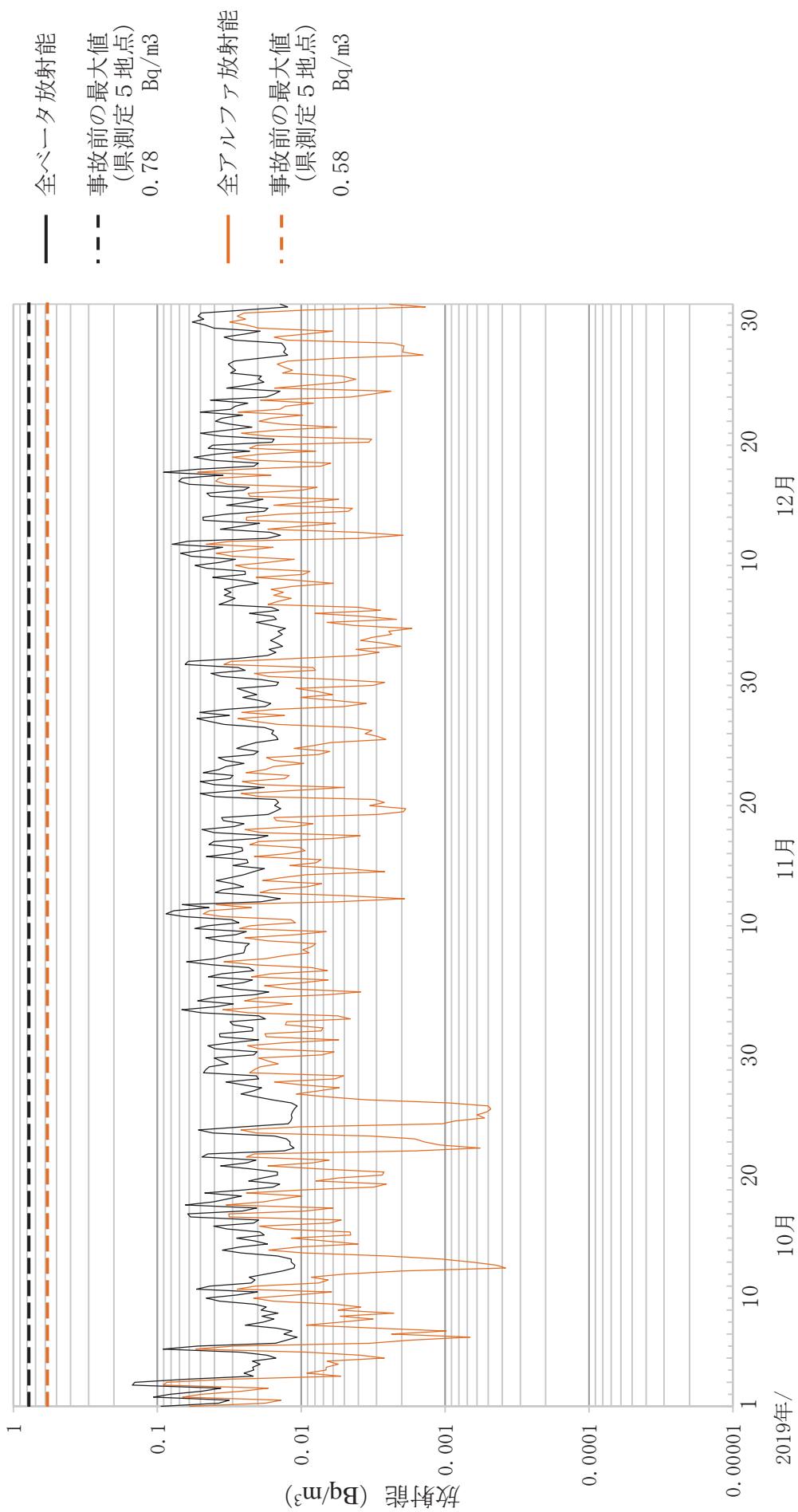
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

9 大熊町夫沢  
(令和1年10月1日～12月31日)



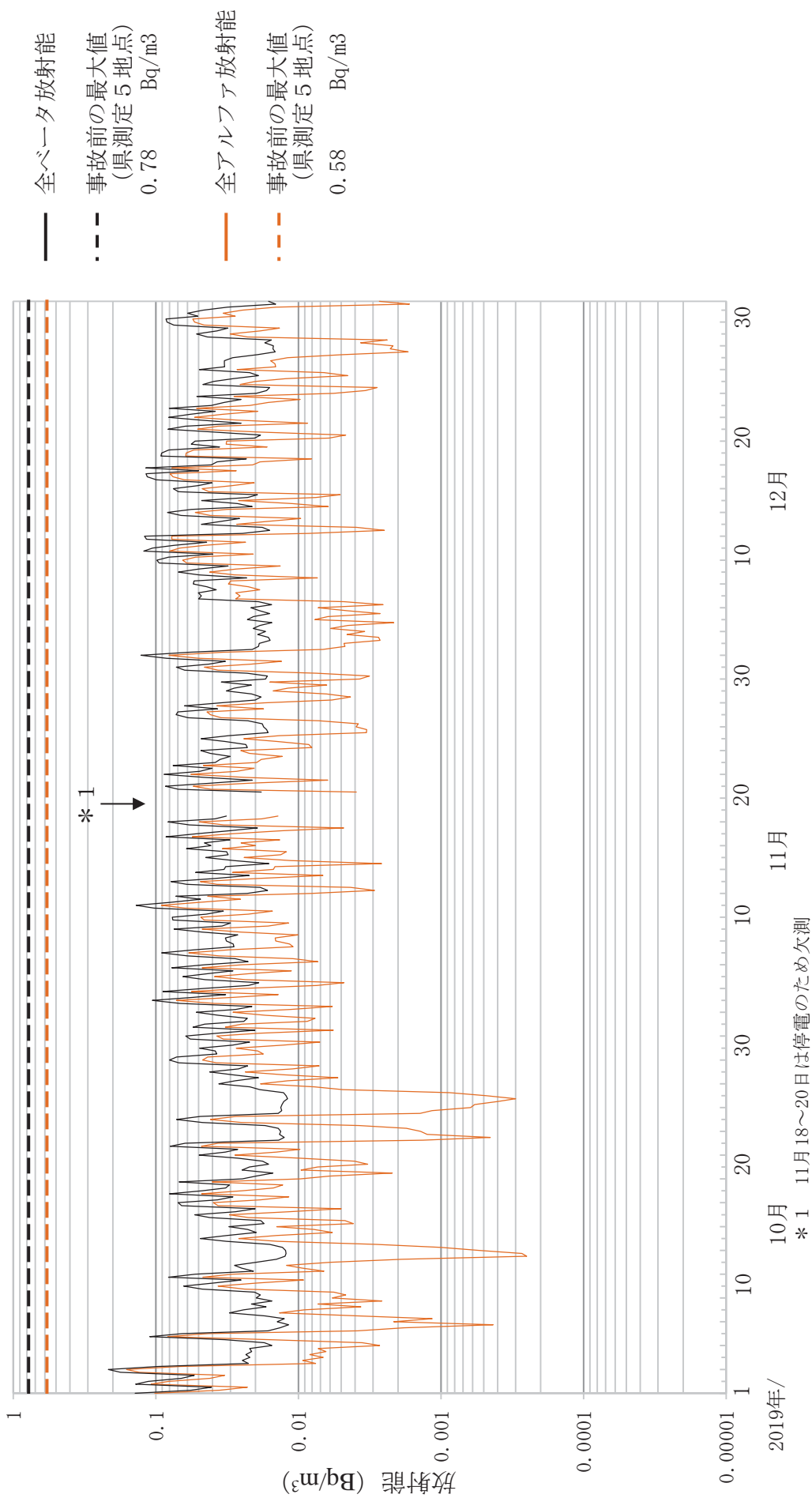
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山  
(令和1年10月1日～12月31日)



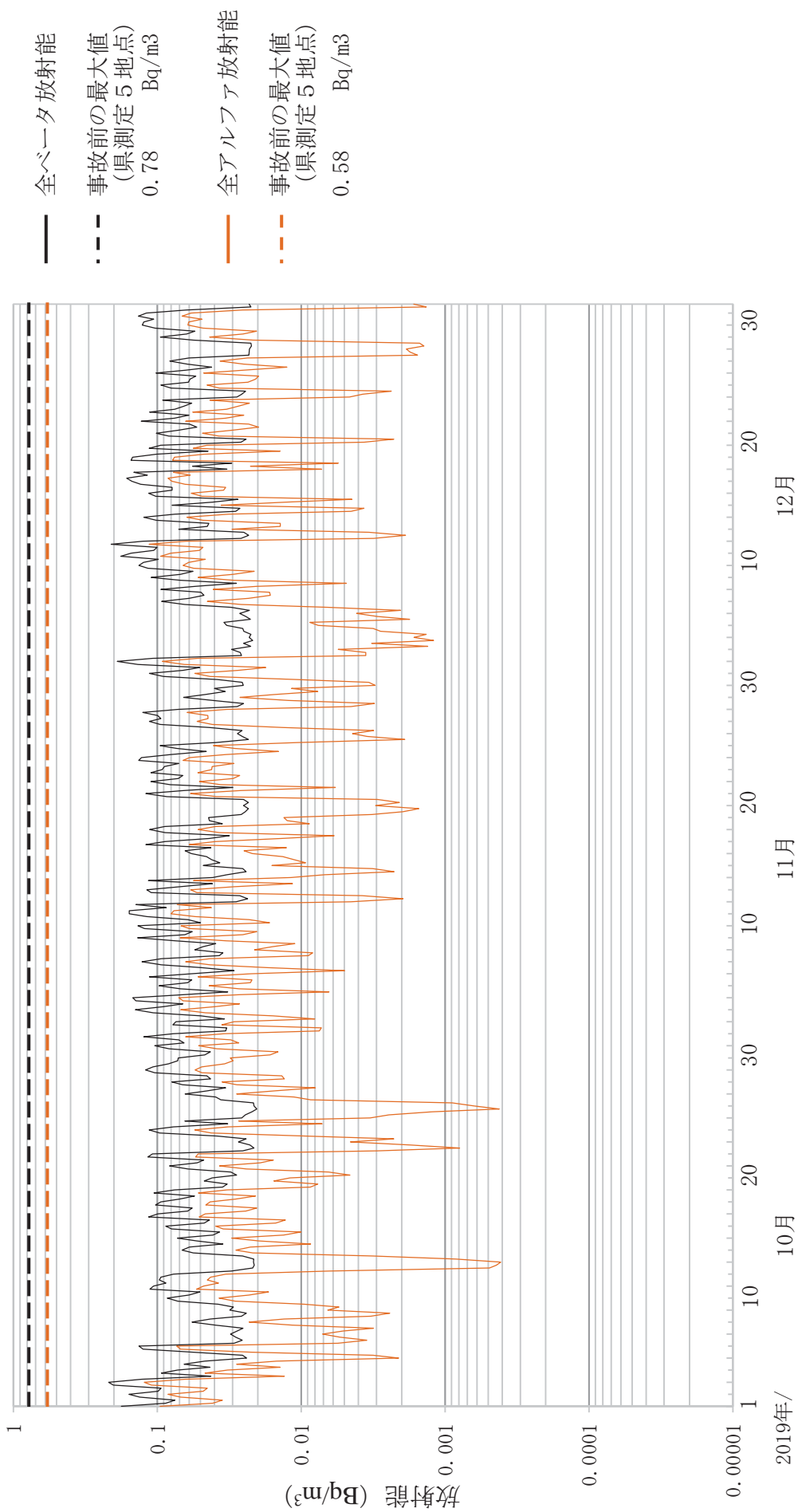
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋  
(令和1年10月1日～12月31日)



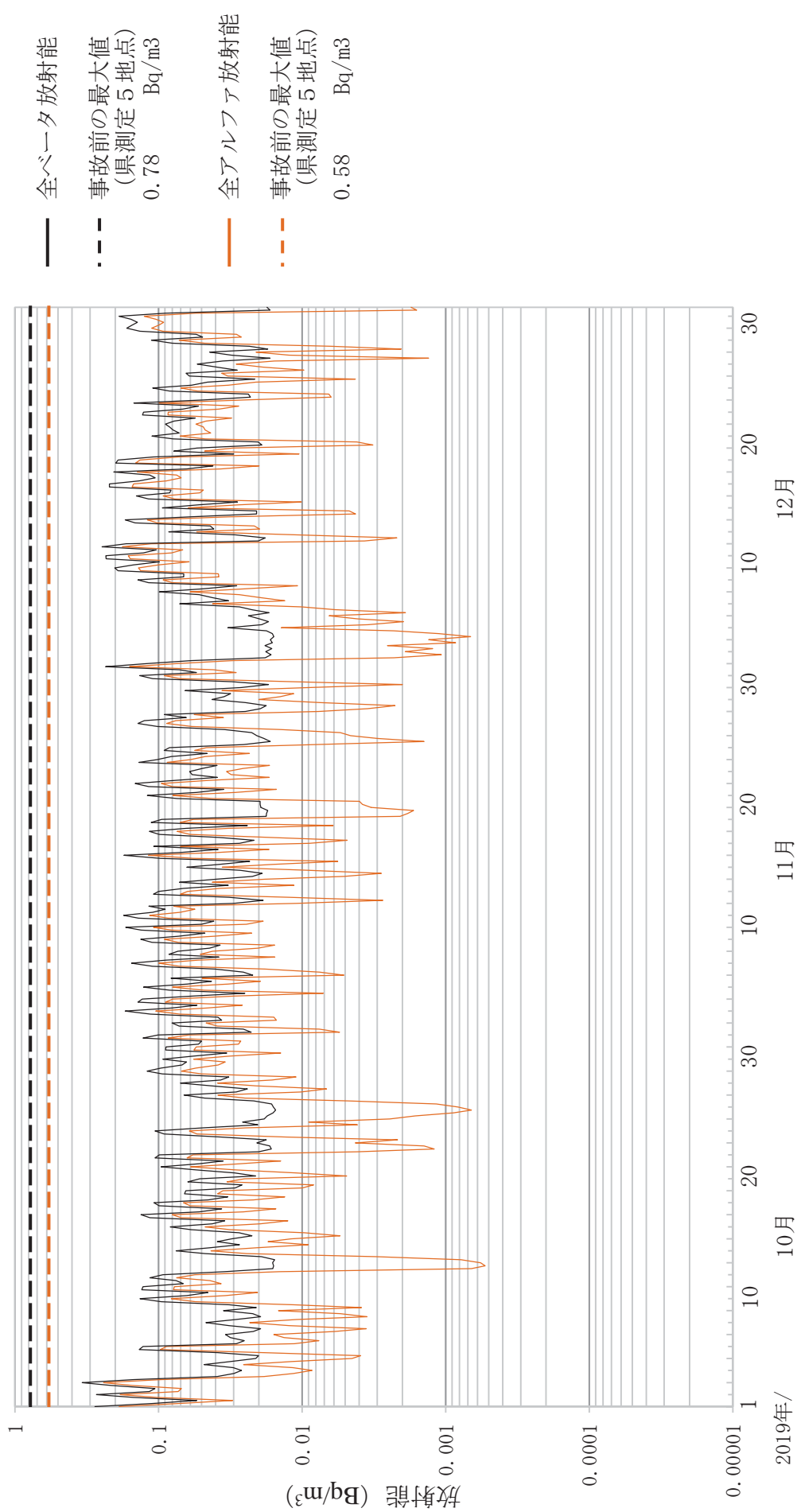
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム  
(令和1年10月1日～12月31日)



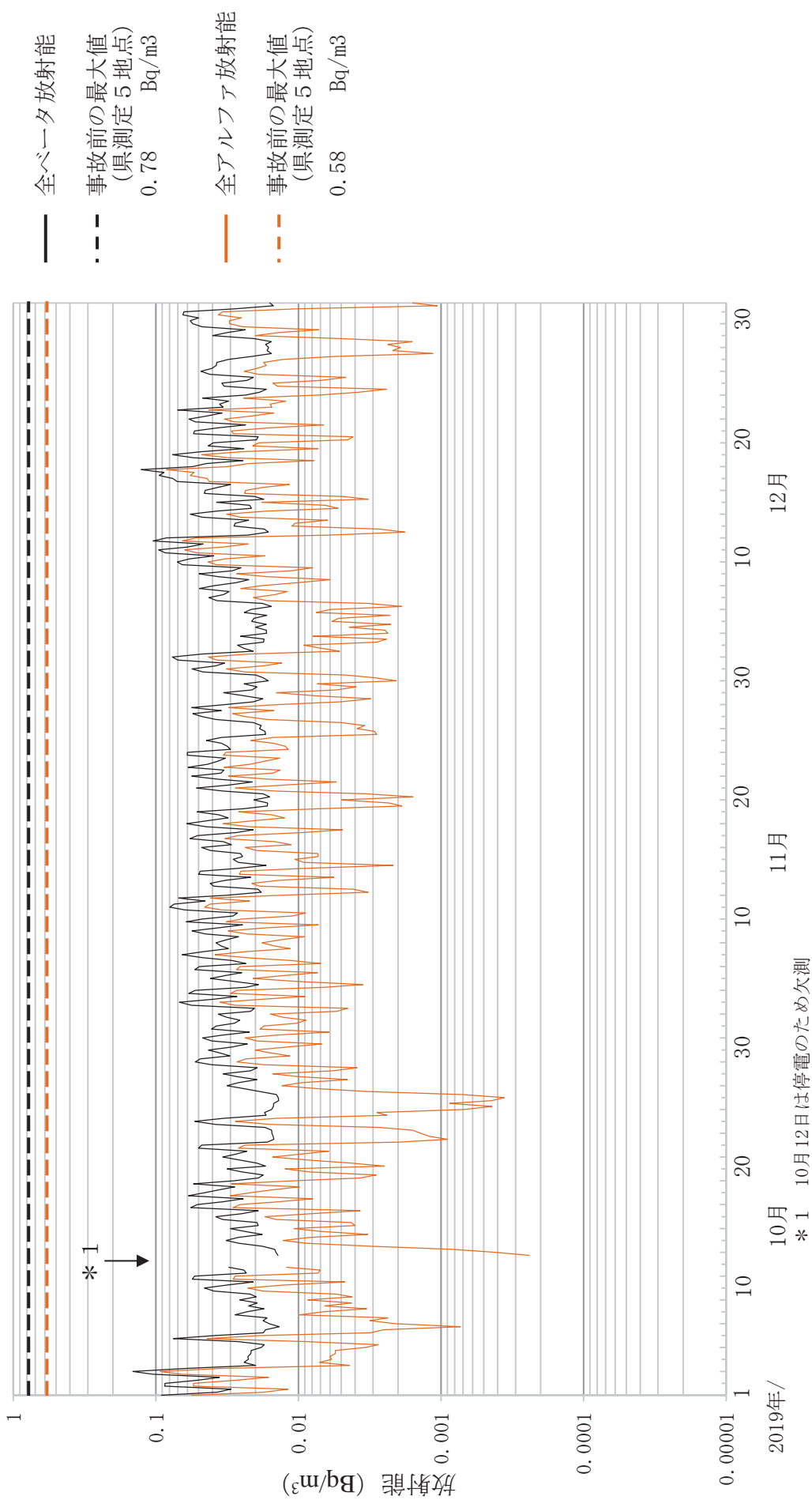
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯  
(令和1年10月1日～12月31日)



# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

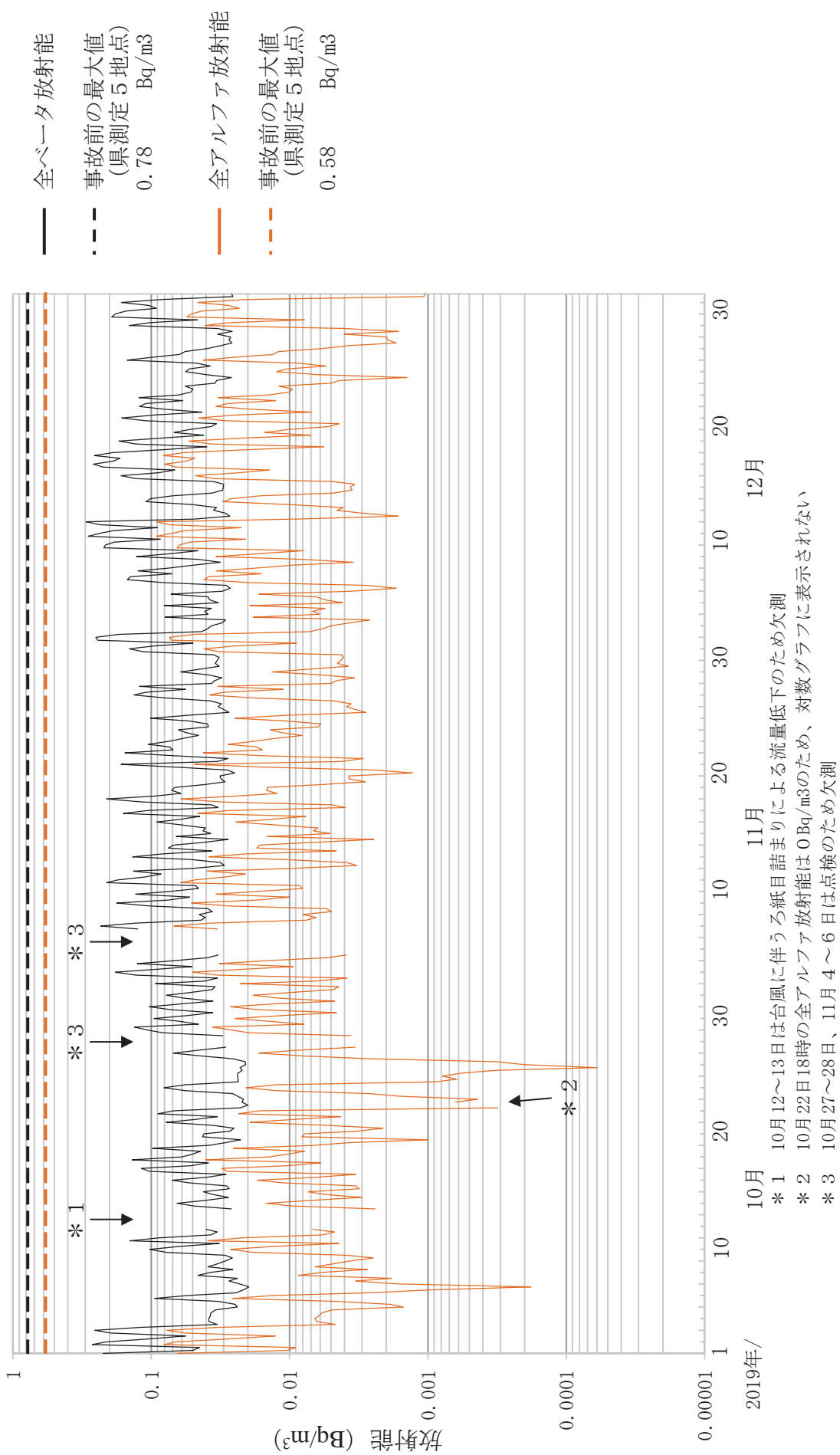
14 南相馬市泉沢  
(令和1年10月1日～12月31日)





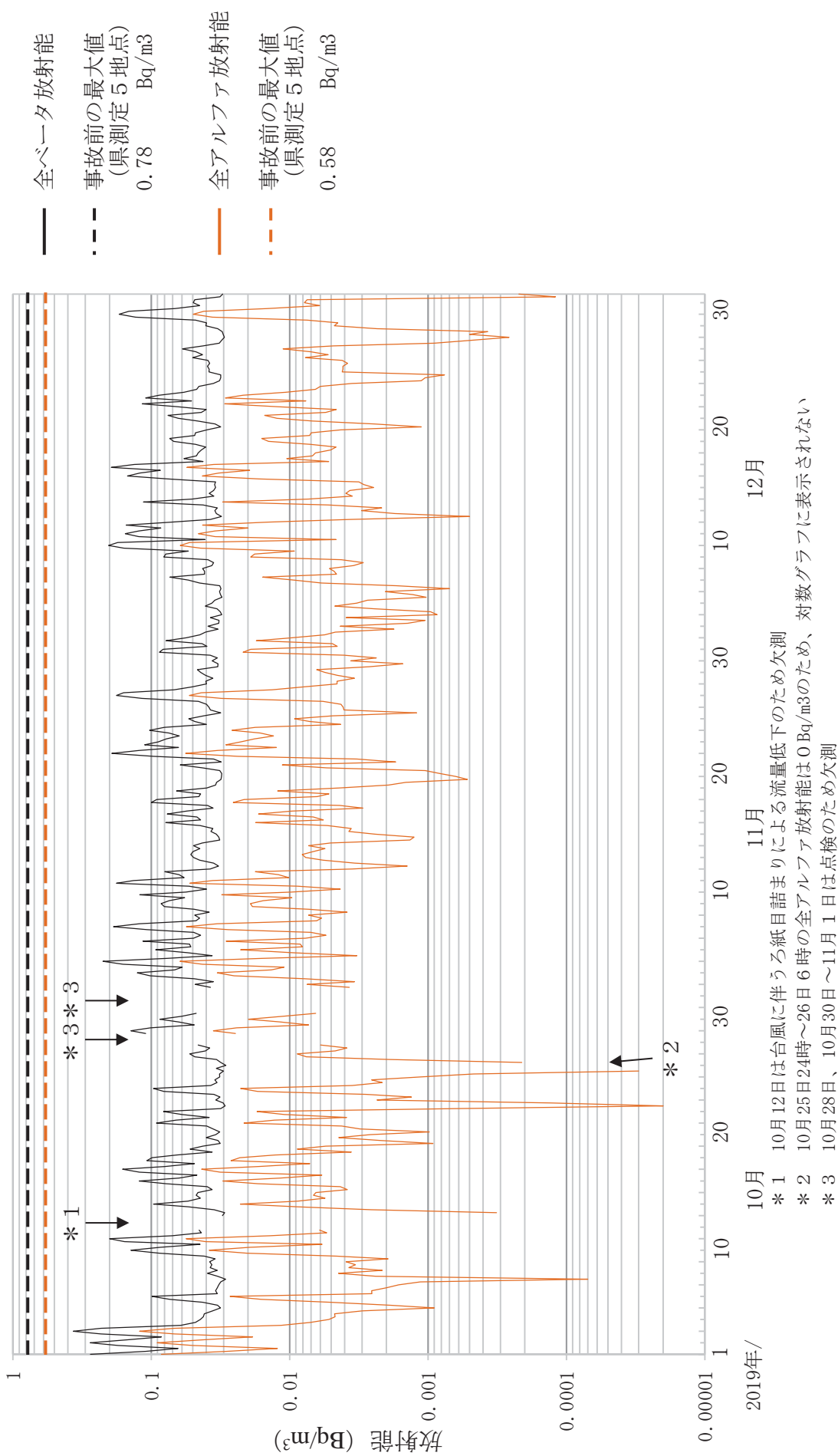
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

15 南相馬市萱浜  
(令和1年10月1日～12月31日)



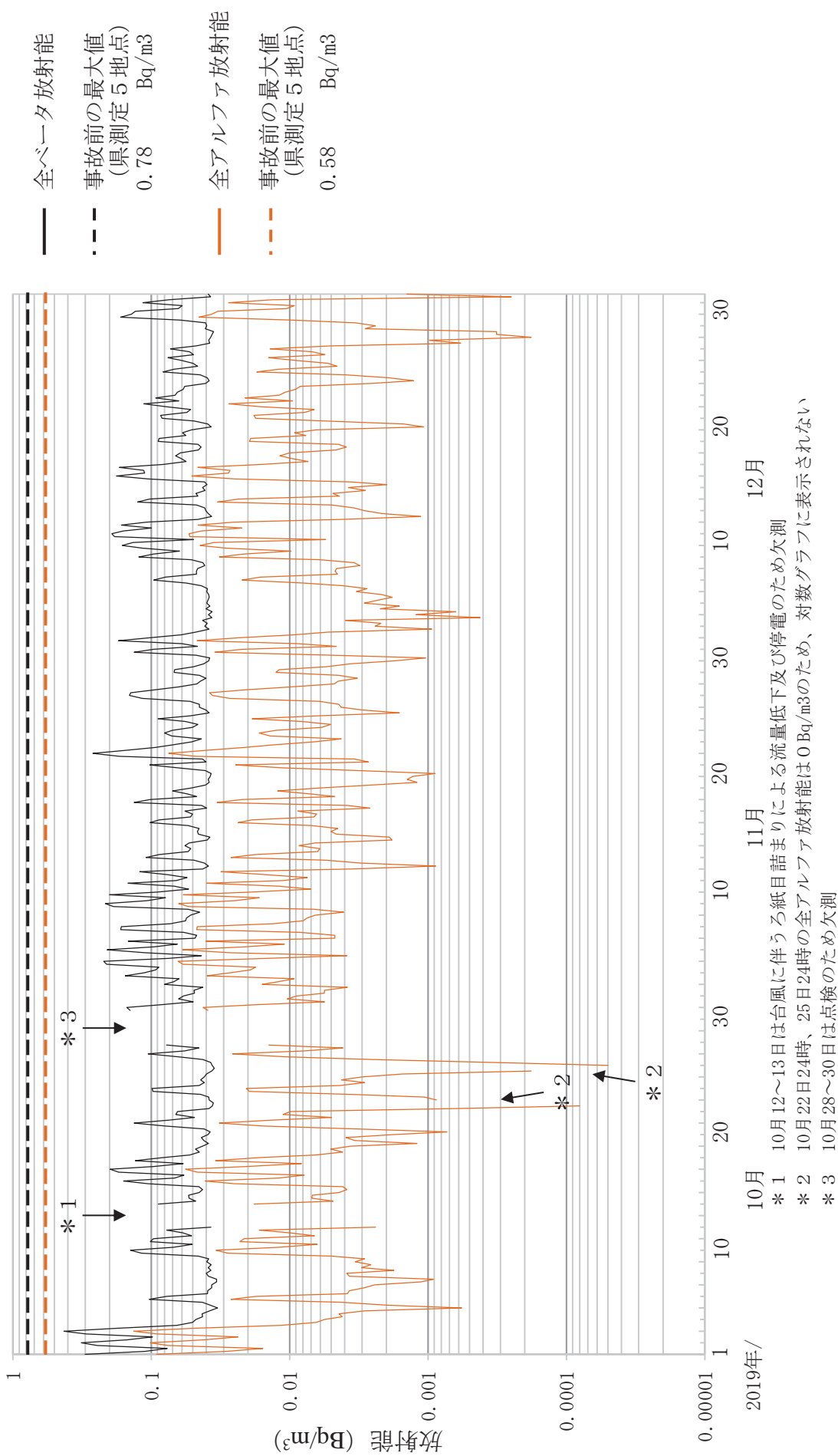
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

16 飯館村伊丹沢  
(令和1年10月1日～12月31日)



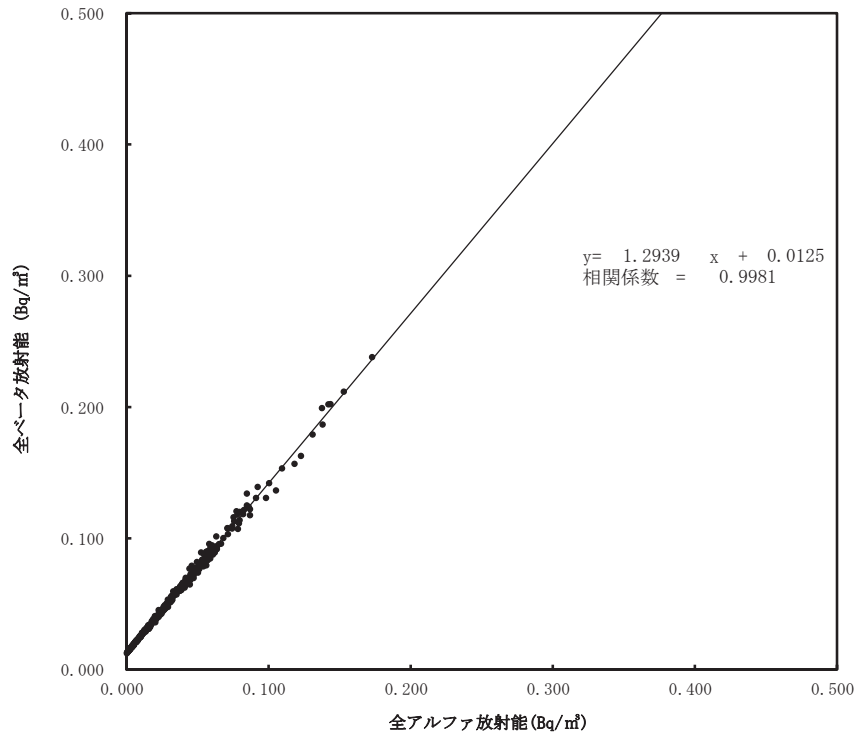
# 大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

17 川俣町山木屋  
(令和1年10月1日～12月31日)



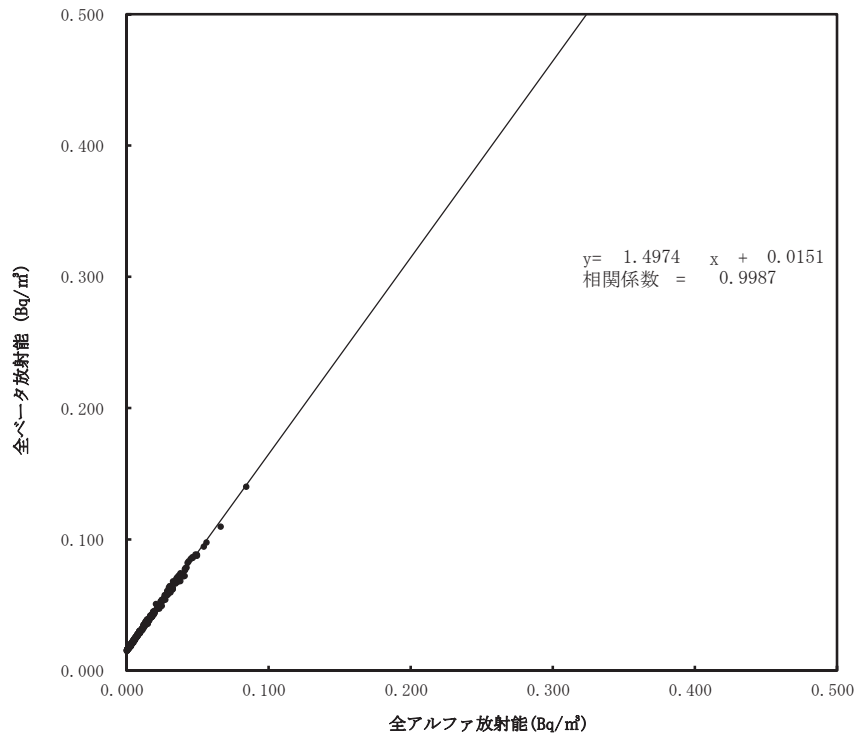
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(いわき市小川)



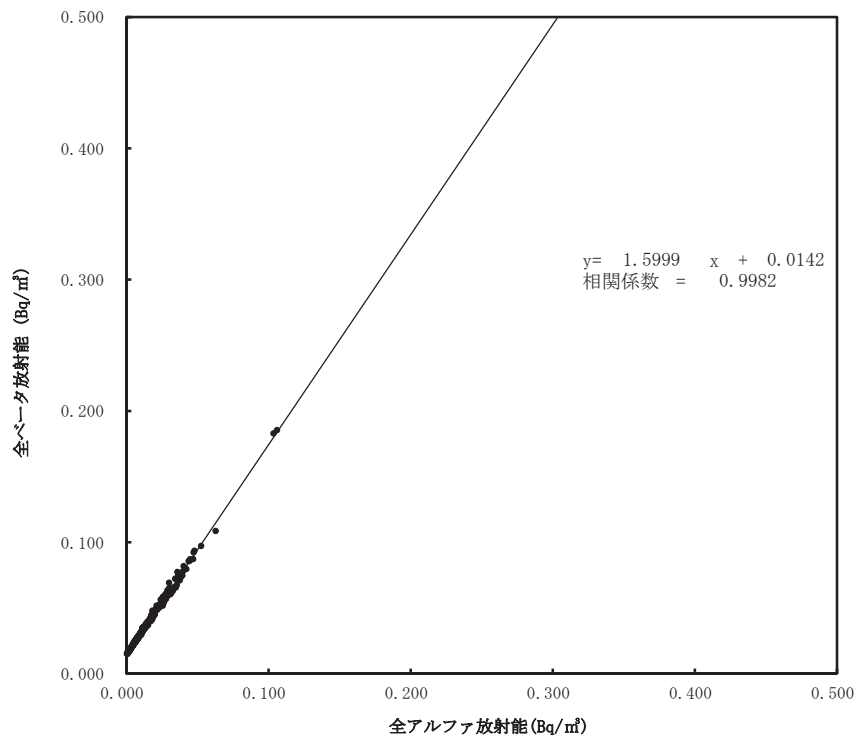
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(田村市都路馬洗戸)



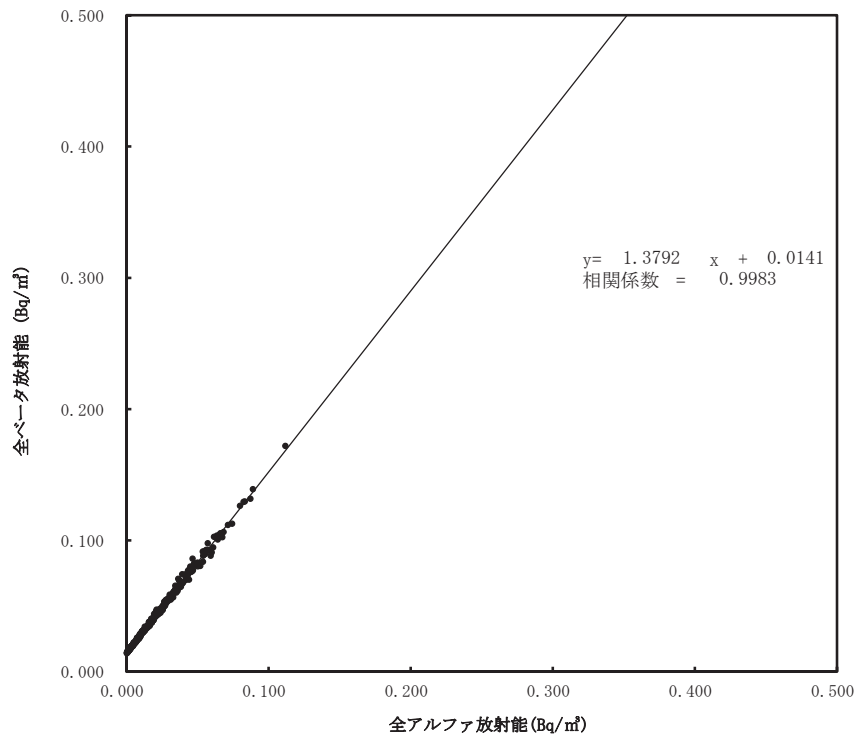
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(広野町小滝平)



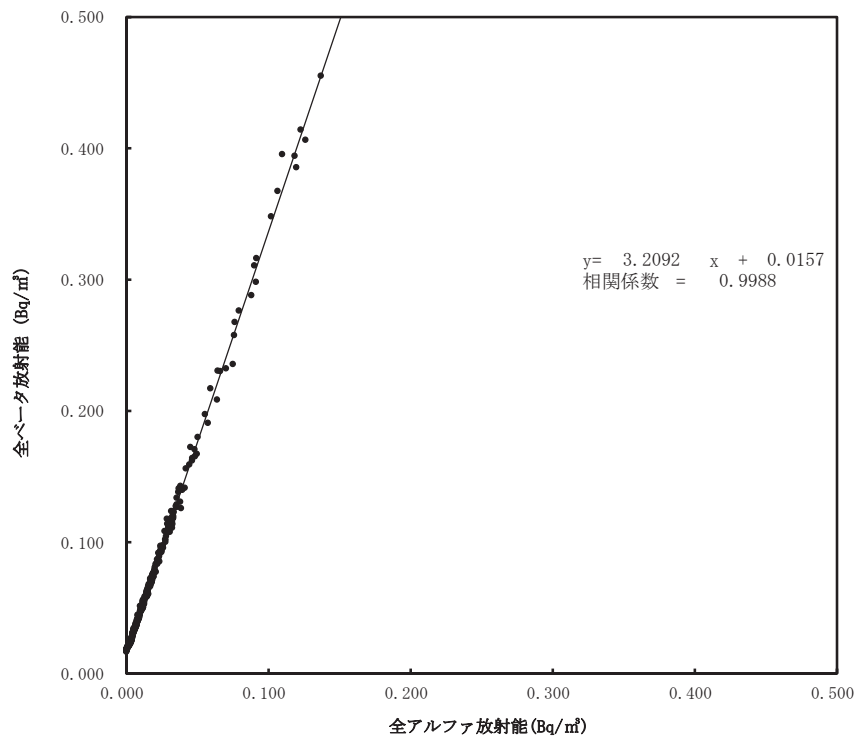
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(檜葉町木戸ダム)



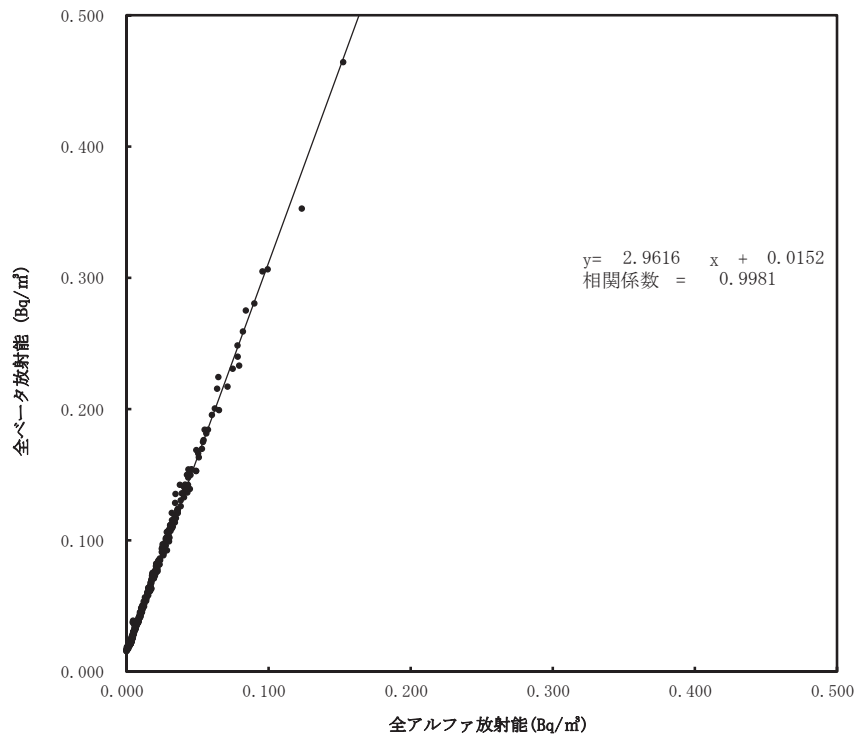
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(檜葉町繁岡)



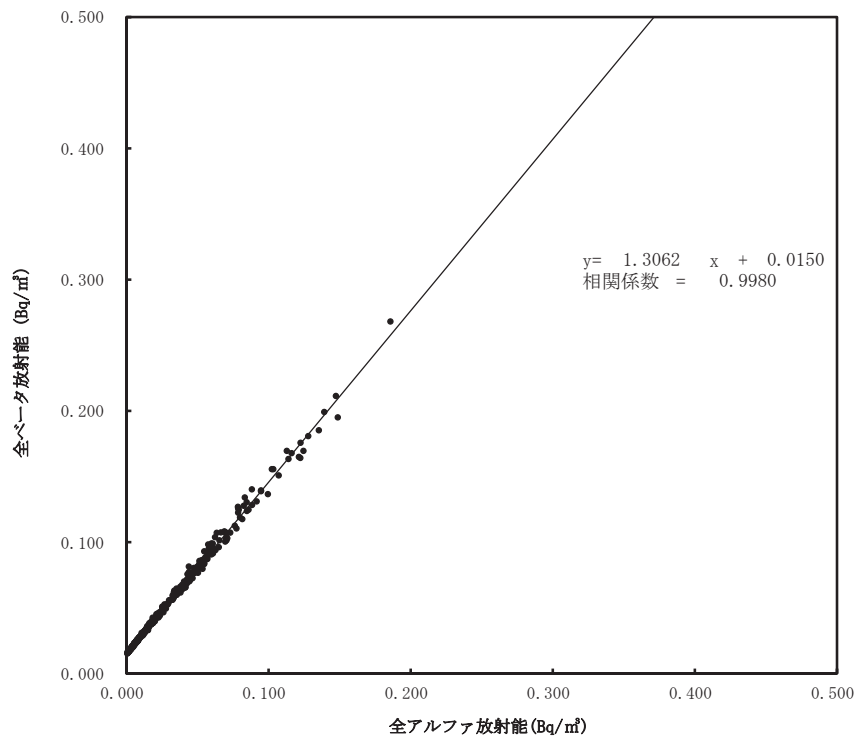
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(富岡町富岡)



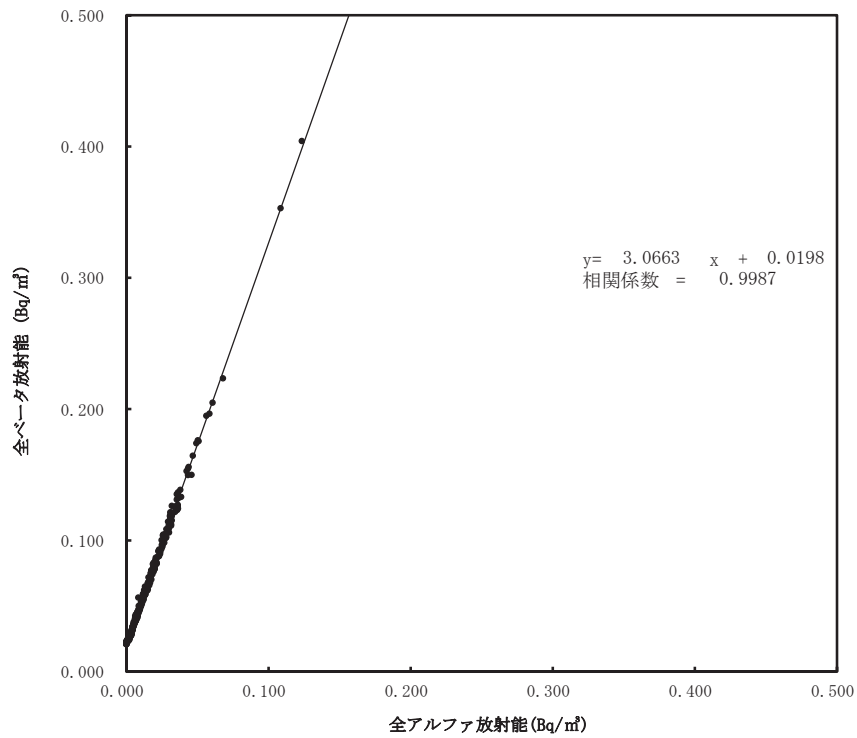
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(川内村下川内)



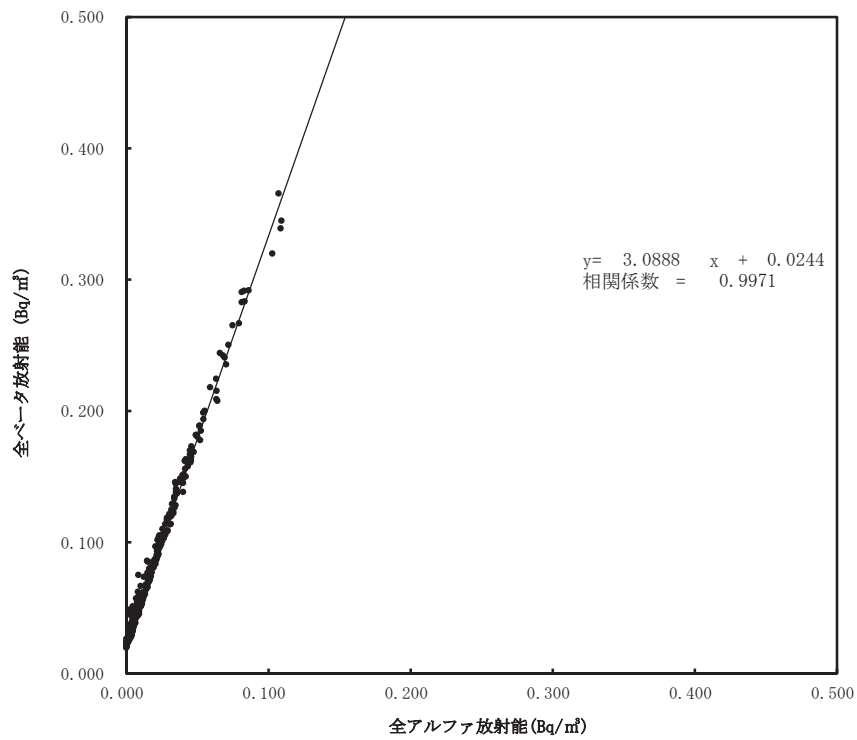
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(大熊町大野)



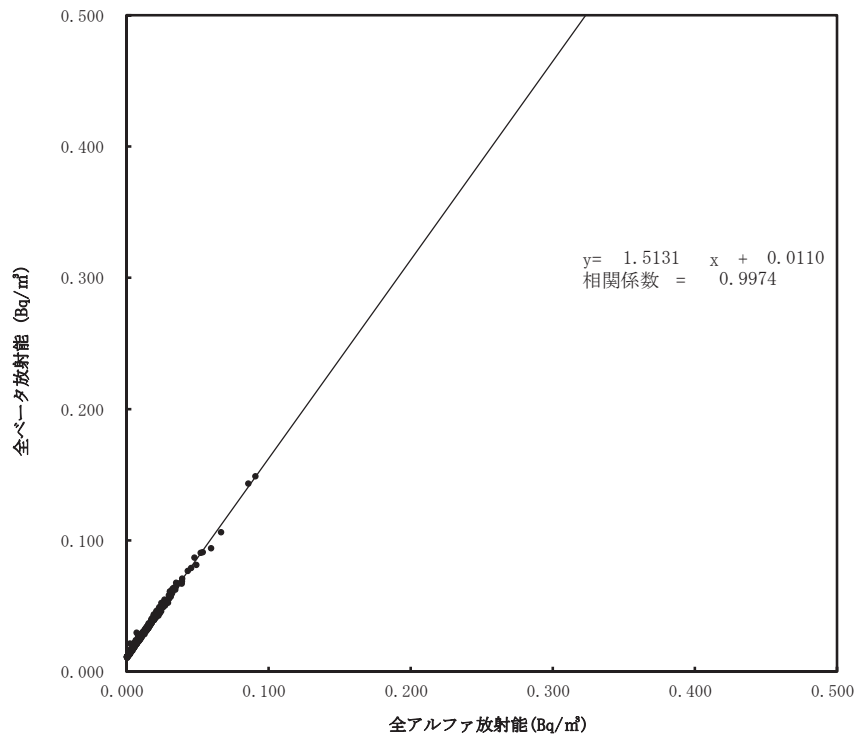
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(大熊町夫沢)



### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

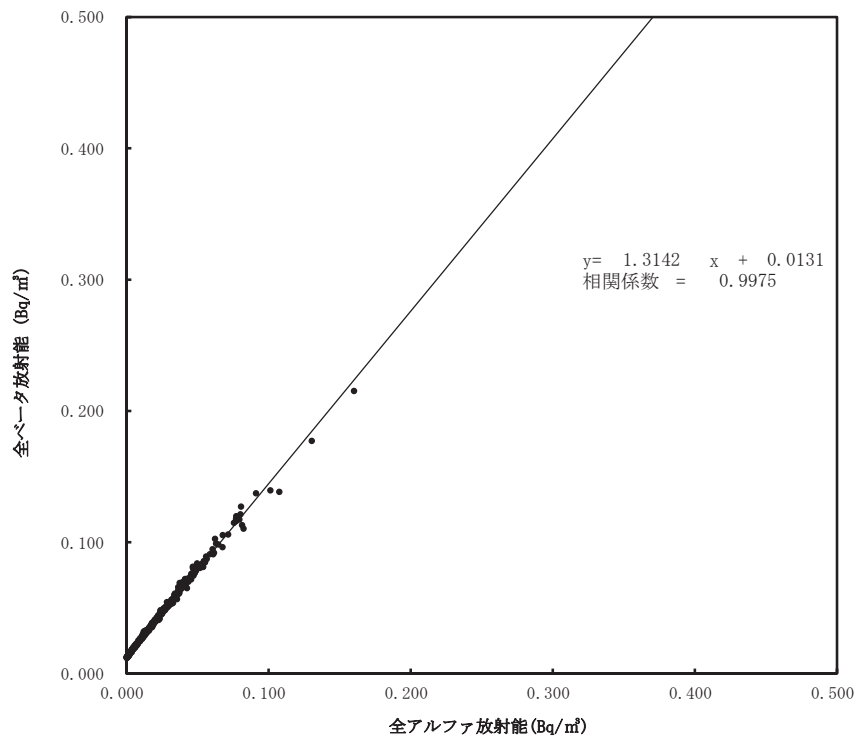
(令和01年10月～12月)  
(双葉町郡山)





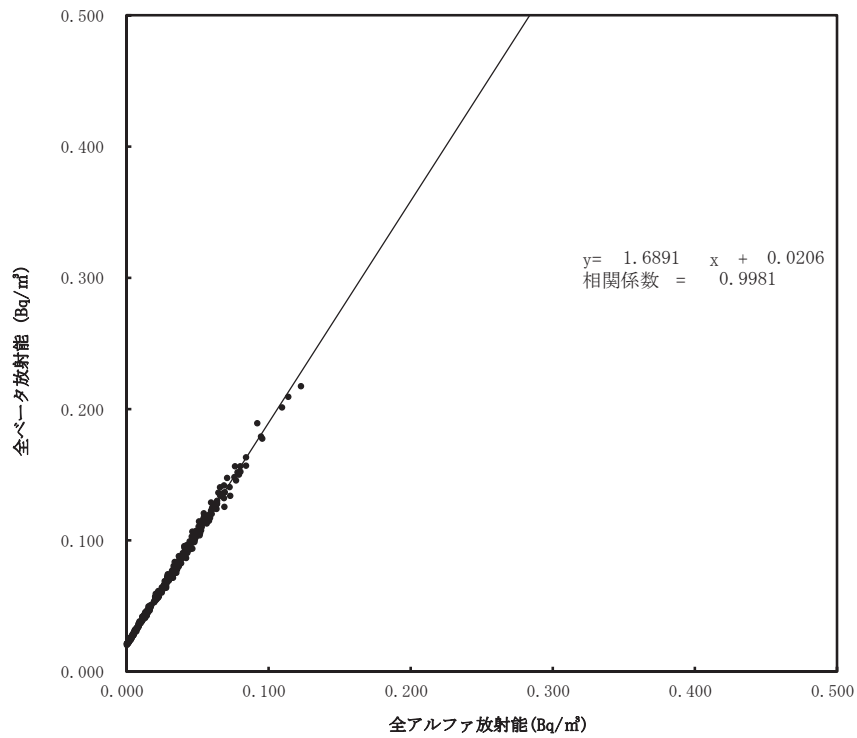
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(浪江町幾世橋)



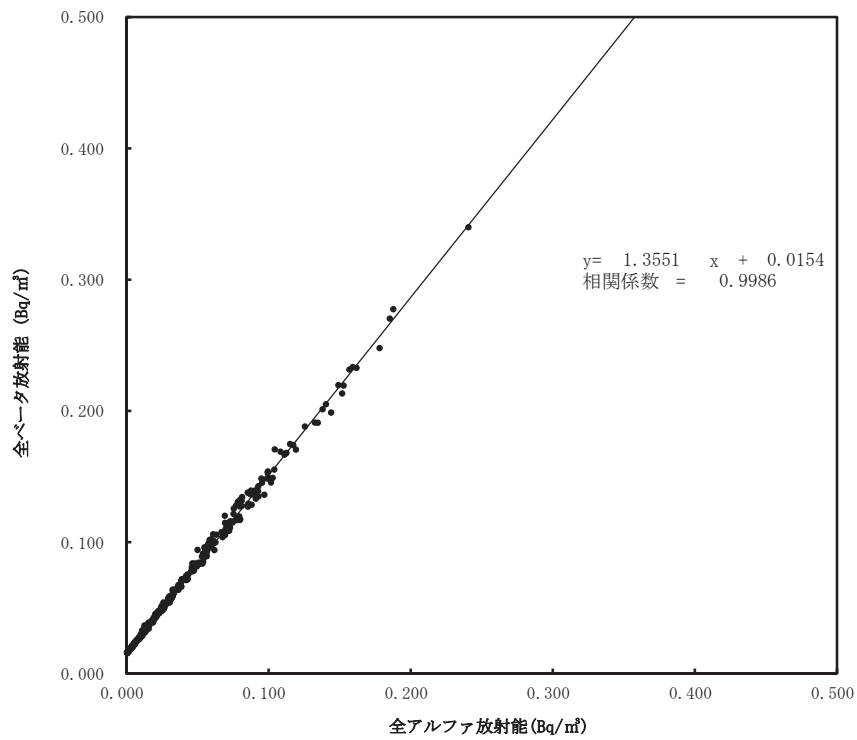
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(浪江町大柿ダム)



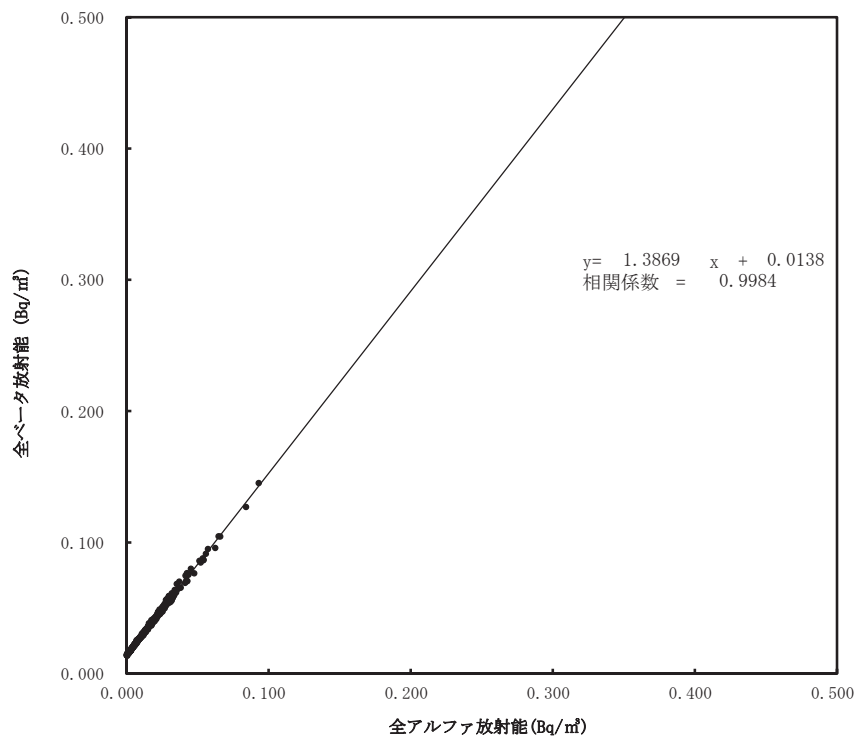
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(葛尾村夏湯)



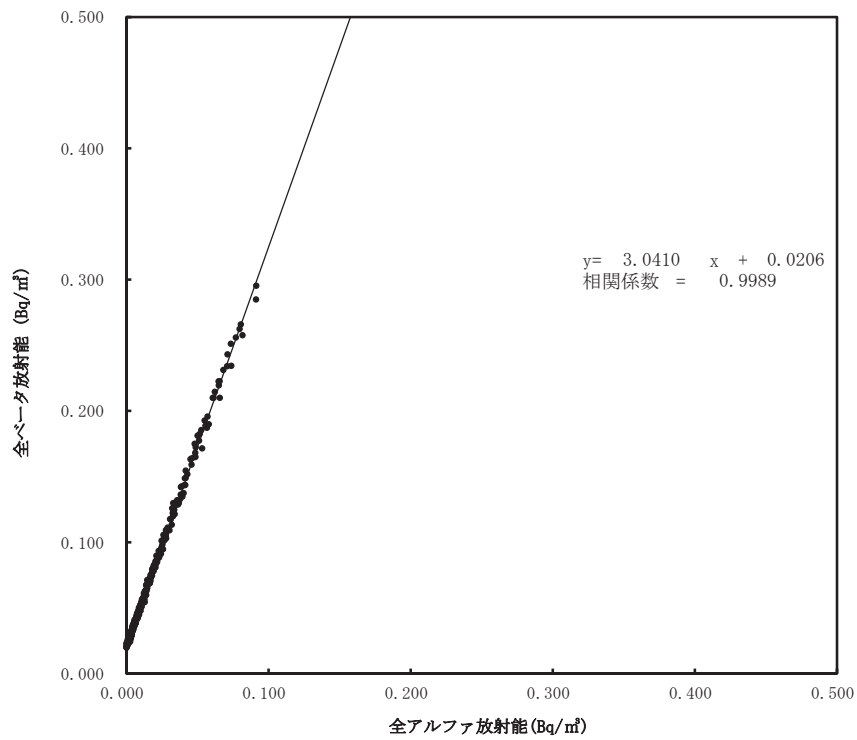
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(南相馬市泉沢)



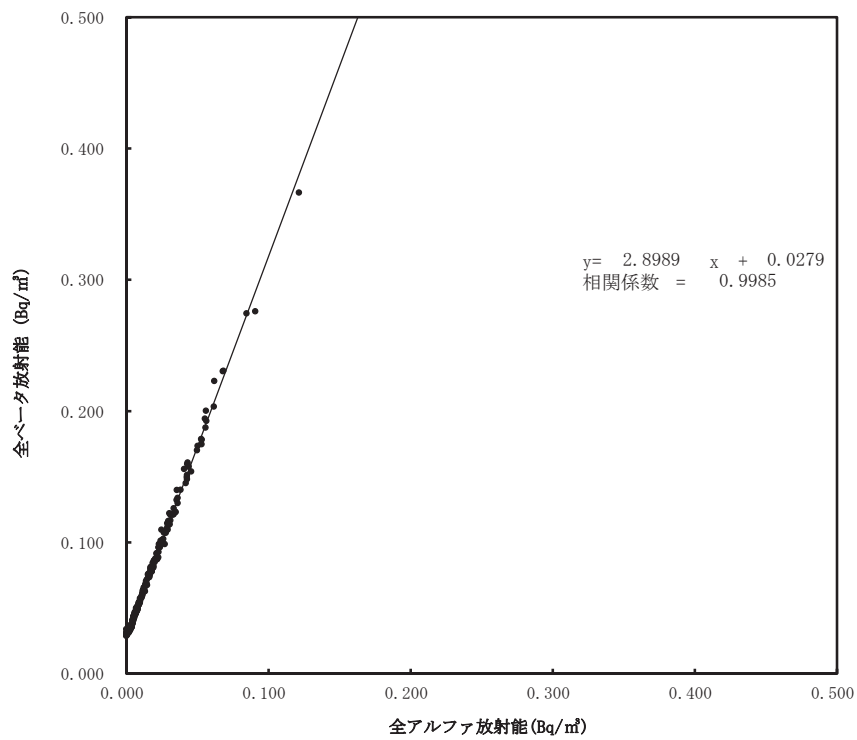
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(南相馬市萱浜)



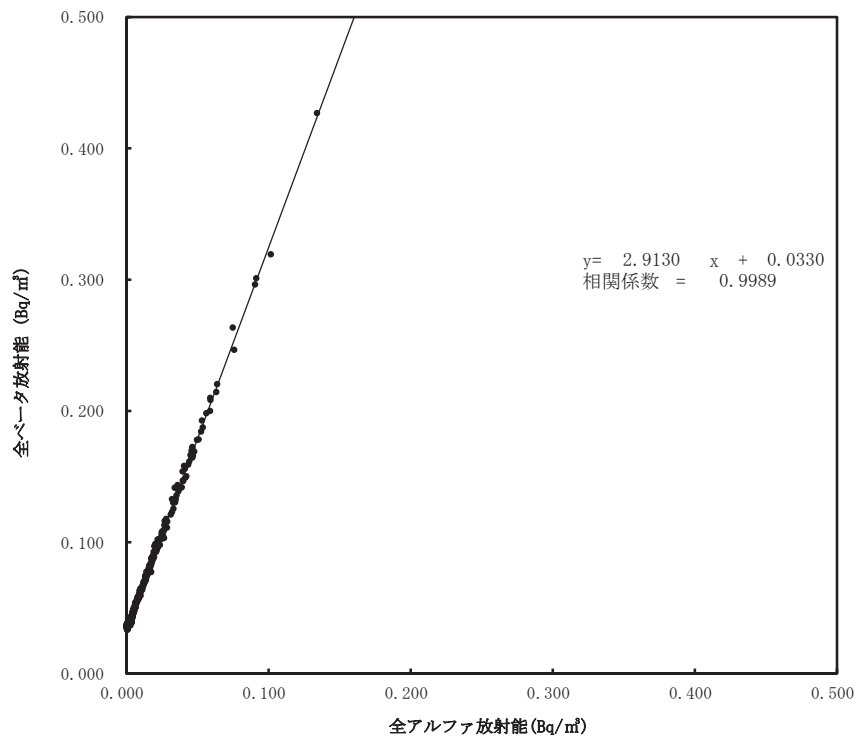
### 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(飯館村伊丹沢)

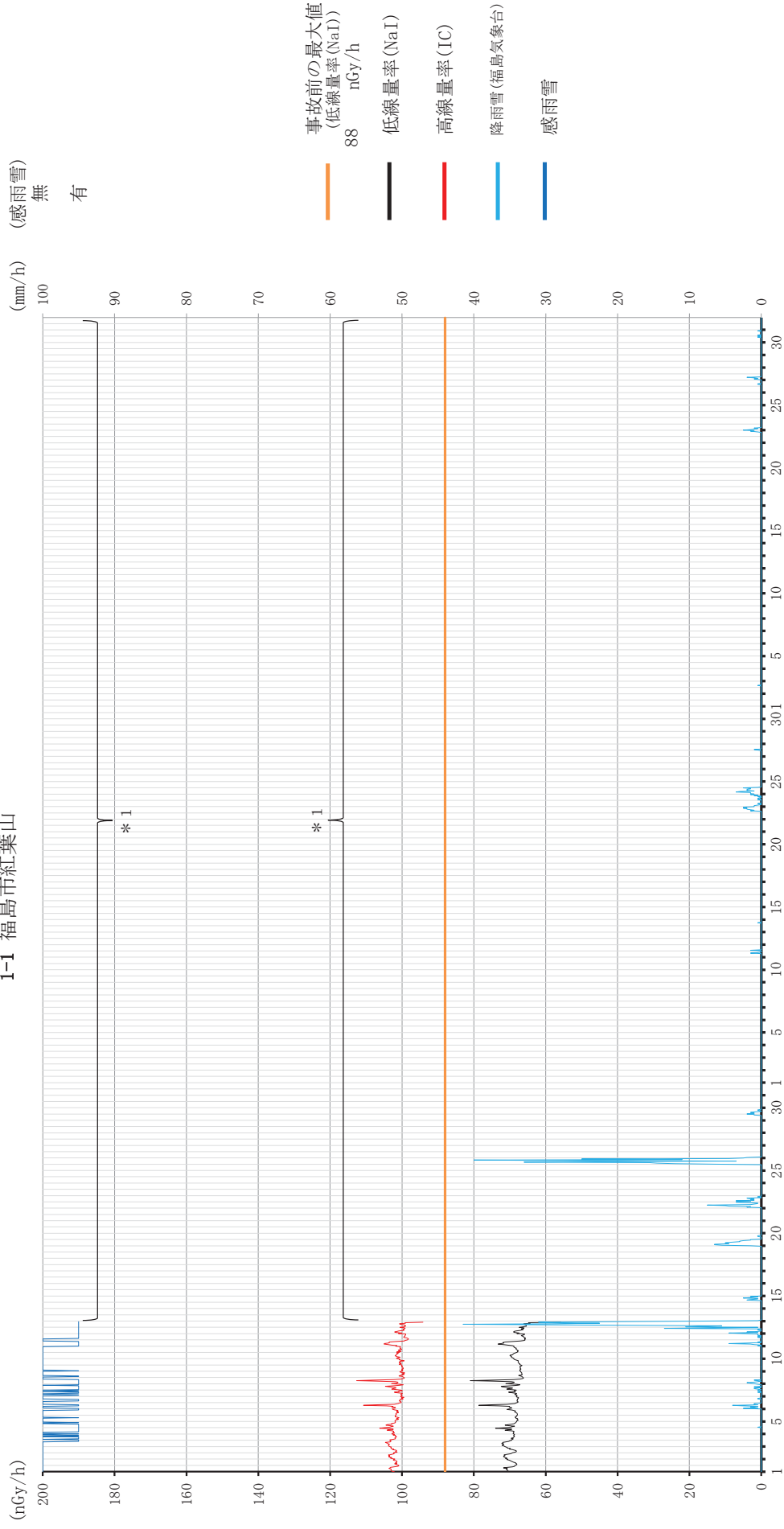


# 大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和01年10月～12月)  
(川俣町山木屋)



空間線量率の変動グラフ  
1-1 福島市紅葉山



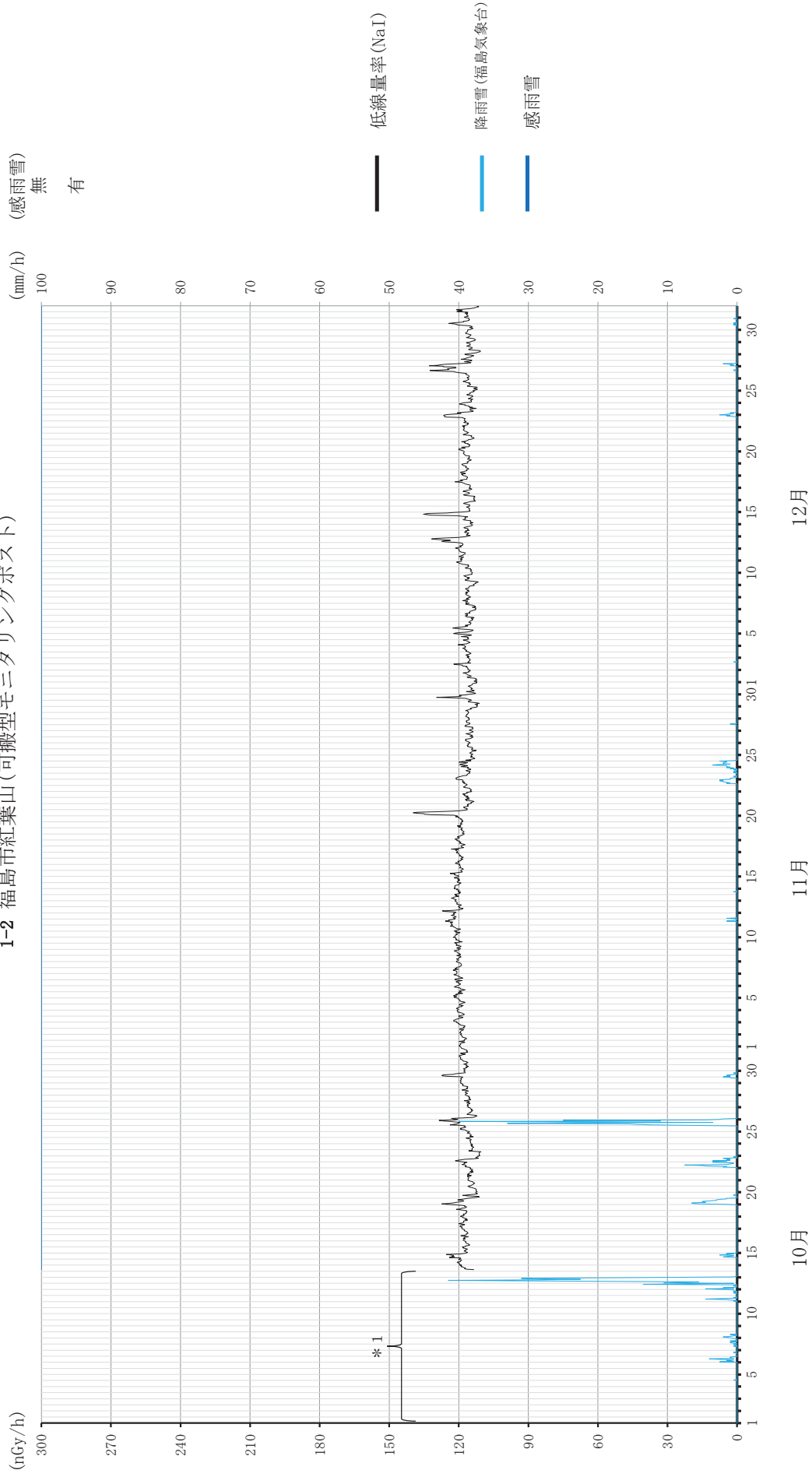
10月

11月

12月

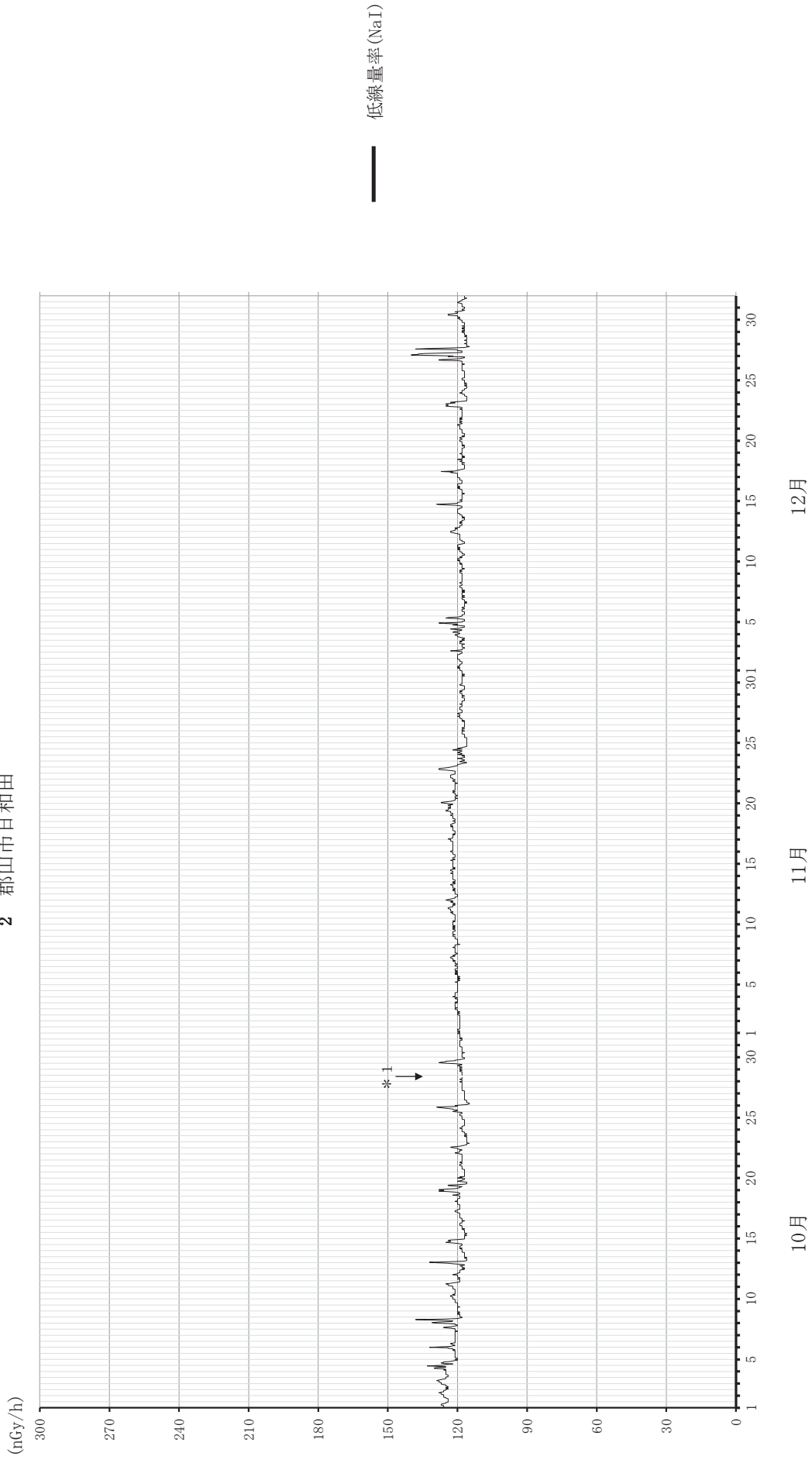
\* 1 10月12日以降は令和元年台風第19号に伴う河川増水による局舎浸水のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
 1-2 福島市紅葉山(可搬型モニタリングポスト)



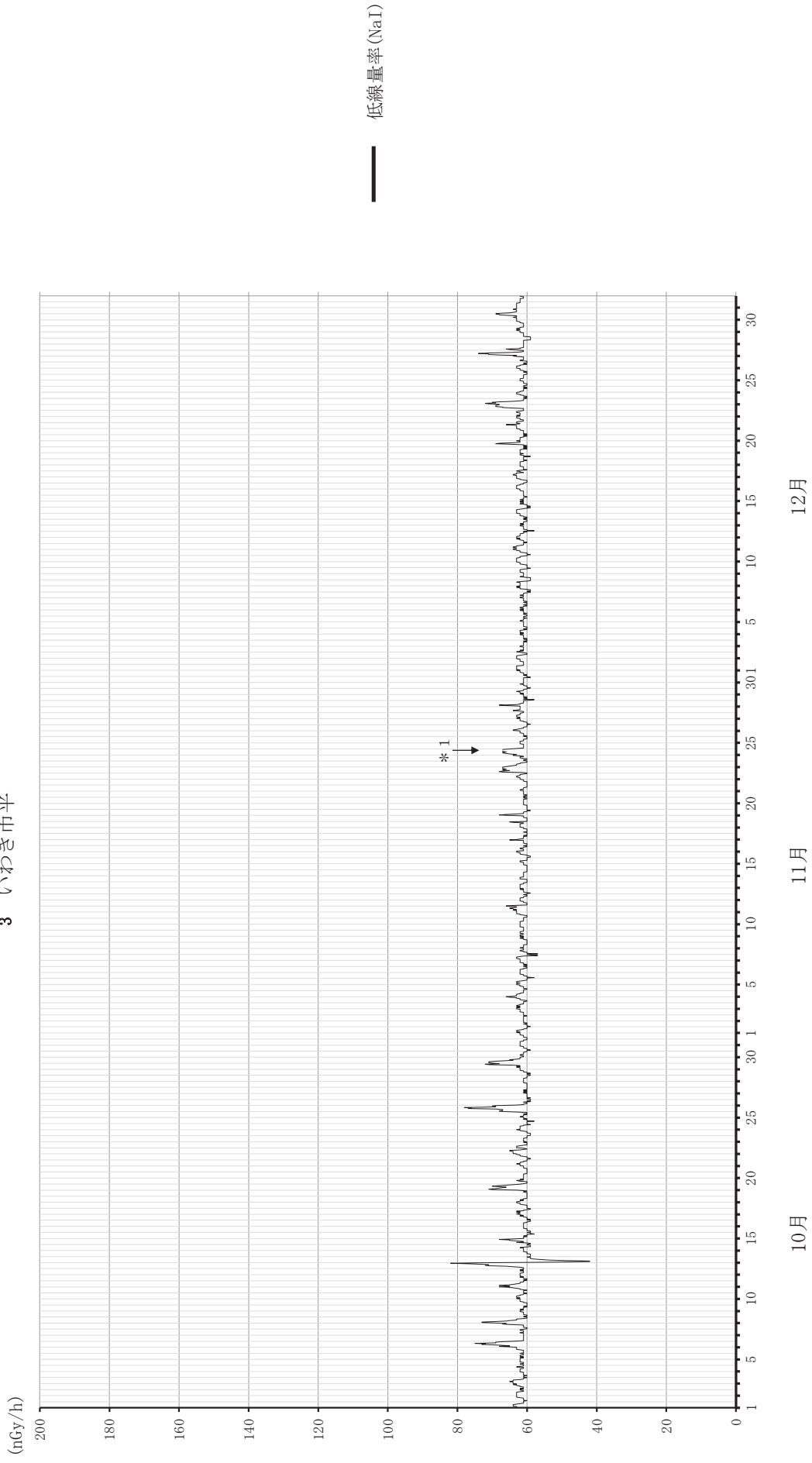
\* 1 測定局浸水後、10月13日より紅葉山局から南西に約200mの場所でも搬型モニタリングポストによる代替測定を開始したため、10月12日までは測定データなし

空間線量率の変動グラフ  
2 郡山市日和田



\* 1 10月28日は点検のため欠測

空間線量率の変動グラフ  
3 いわき市平



\* 1 11月24日は点検のため欠測